

日本生理誌・第41巻6号・昭和54年6月1日発行（毎月1日発行）
〔昭和27年5月6日 第3種郵便物認可〕

日本

生理学

雑誌

JOURNAL OF THE PHYSIOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN

41巻 6号 1979

第57回日本生理学会大会ご案内（第2報）

短 報

SUGANO, Y. and NAGASAKA, T.: Effect of huddling on heat losses in
infant dogs145

昭和53年度生理学論文表題集(2)148

学会案内 “The satellite symposium on thermal physiology”197

学術情報システムシンポジウム197

お知らせ 日本学術会議第12期会員選挙について197

第11回（昭和54年度）内藤記念科学振興賞受賞候補者の推薦要領198

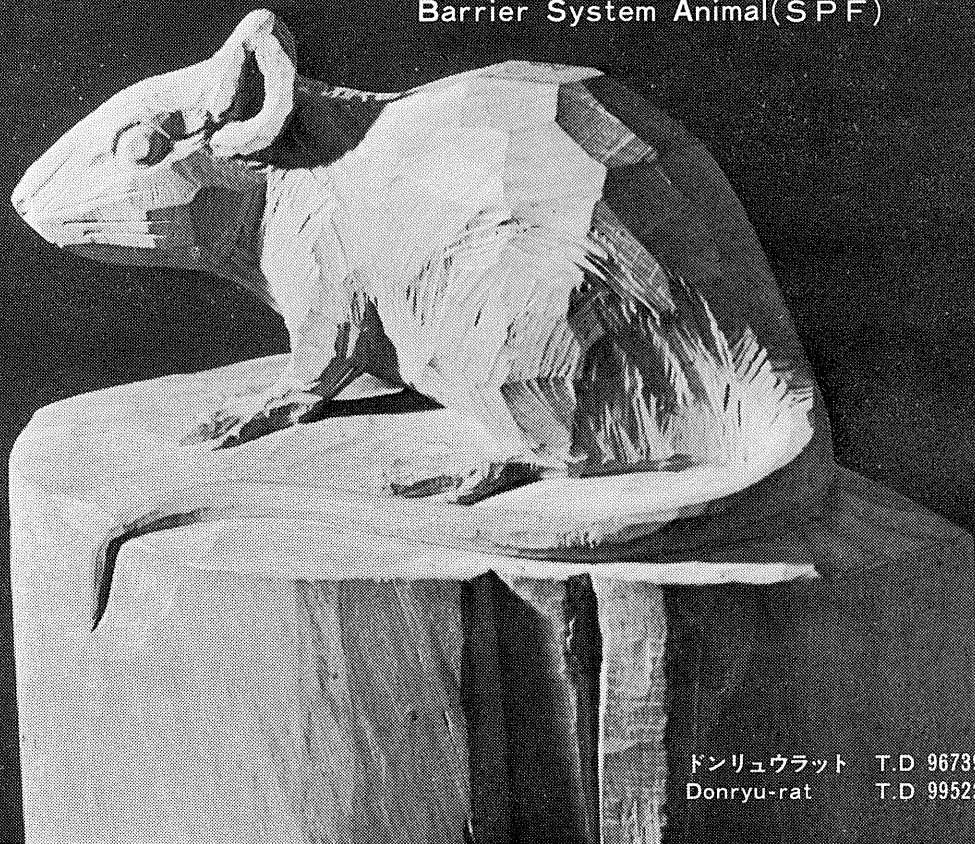
大会号抜刷りについて199

日本生理誌
J. Physiol. Soc. Japan

日本生理学会

NRC:Donryu[®]

Barrier System Animal(SPF)



ドンリュウラット T.D 967394
Donryu-rat T.D 995227

Donryu-rat を開発した日本最大のラット専門ブリーダー、
日本ラットは BS(Barrier System)Donryu[®] を発売いたしました。

特 長

- 吉田肉腫に対して高感受性を有す。
- 性周期 4 日で安定。Skin Graft 高率。
- 温順、発育良好、飼育容易。
- 毒性、栄養、薬理、内分泌その他、
広く用いられます。

〈生産品目〉

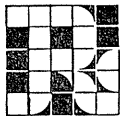
Barrier System Animal(SPF)

Conventional Animals

NRC : Donryu[®]

Donryu[®] Wistar

Buffalo S H R



日本ラット株式会社

〒336 埼玉県浦和市根岸608-3
TEL (0488) 61-6850・6401

第57回日本生理学会大会案内（第2報）

第57回日本生理学会大会を次の通り開催します。多数ご参加下さい。

会 期 昭和55年3月27日（木）、28日（金）、29日（土）

会 場 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学六甲台学舎
(法学部、経済学部、経営学部)

申込み締切期限

参加・発表の申込み締切期限は、共に昭和54年11月15日（木）必着です。

(A) 大会参加申込み

- 1) 参加申込みの書類として、(A-1) 参加申込書（郵便振替用紙）、(A-2) 受取通知書、および (A-3) 予稿集郵送用ラベルが本号に綴込まれています。必要事項をご記入の上、なるべく研究単位でとりまとめて手続きをして下さい。ただし、郵送用ラベルは参加者各人宛のものをお送り下さい。綴込みの郵送用ラベルが不足の場合は同形式のものをおつくり下さい。
- 2) 参加費は 5,000 円 です。綴込みの振替用紙が大会参加申込書を兼ねています。郵便局で振替送金をして下さい。

(B) 発表申込み

- 1) 演題申込みは、会員の主な所属講座、または講座に準ずる研究単位につき2題以内とします。発表申込み演題の中から、約10課題のポスターシンポジウムを組みます。
- 2) 発表は、日本生理学会会員に限ります。連名で発表の方も会員であることが必要です。会員でない方は、申込みと同時に日本生理学会事務局に、入会の手続きをして下さい。
- 3) 綴込みの (B-1) 発表申込書、(B-2) 予稿集抄録用紙、(B-3) 索引用カード、および (B-4) 連絡書に別掲の「発表申込書類記入上の注意」を参照して必要事項を記入し、大会係宛郵送して下さい。

(C) 発表の要領

- 1) 発表の形式は、口演およびポスターシンポジウムとします。
- 2) 口演は、1題当たり15分（口演12分、討論3分）、スライドプロジェクターは1台、スライドは35mmライカ版10枚以内に制限します。
- 3) ポスターシンポジウムは、展示されているポスターを中心とした総合討議の形式をとります。発表者は、発表当日の定刻までに、指定された展示板にポスターを展示し

て下さい。シンポジストは、シンポジウム開始10分前に、ポスターが展示されているシンポジウム会場に集まり、座長の指示に従って下さい。

展示板の大きさは縦 135 cm, 横 180 cm です。

図、表、写真、説明文等を、会場に用意されている押ピンまたはセロテープではりつけて下さい。

なお、ポスター作製上の注意事項については、予稿集でお知らせします。

4) 口演、ポスターシンポジウムの日本生理学雑誌掲載用抄録等について

今大会の口演、ポスターシンポジウムの抄録は、日本生理学雑誌大会号にすべて英文で掲載します。

別掲の「発表当日提出書類記入要領」を参照して、本号綴込みの(C-1)日本生理学雑誌大会号英文抄録用紙、(C-2)索引用氏名カード、(C-3)和文題名、氏名、所属(日本生理学雑誌大会号目次用)、(C-4)英文題名、氏名、所属(Jpn. J. Physiol. 用)に必要な事項を記入の上、発表当日それぞれの会場受付に提出して下さい。

(D) 懇親会参加申込み

1) 懇親会は、生理学会員相互の懇親を図るため、以下の要領で行います。

日 時 昭和55年3月29日(土)午後1.00~4.00

会 場 「こはく丸」(関西汽船)(貸切)

午後1時 神戸港・中突堤出港

瀬戸内海遊覧(昼食と飲物等つき)

午後4時 神戸港・中突堤帰港

参加費 3,500円

2) 懇親会参加希望者は、綴込みの(D-1)懇親会参加申込書に必要な事項を記入の上、前述の(A)参加申込書類、(B)発表申込書類等と共に郵送して下さい。

なお、船の定員と食事を用意する関係上、当日の申込みはお断りすることがありますので御承知下さい。参加取消しは3月22日までに大会係に申出て下さい。

3) 懇親会参加費は、(A-1)の振替用紙で送金して下さい。

(E) 写真申込み

1) 記念写真代は1,000円です。(A-1)の振替用紙で送金して下さい。

2) 綴込みの(E-1)記念写真郵送用ラベルに必要な事項を記入して、前述の書類(A)、(B)、(D)と共に郵送して下さい。

(F) 宿泊、交通などについて

宿泊のお世話は、神戸・京町 JTB を通じて行います。綴込みの案内をごらん下さい。

なお、大会会場およびその付近には駐車場がありませんので、自動車で会場へ来られないようお願いします。

<綴込書類, 提出期限, 提出方法の一覧表>

	書 類 名	提 出 期 限	提 出 方 法
A 大会参加申込み	A-1 参加申込書 (郵便振替用紙)	昭和54年 11月15日 (必着)	払込
	A-2 受取通知書	昭和54年 11月15日 (必着)	郵送
	A-3 予稿集郵送用ラベル		
B 発表申込み	B-1 発表申込書 B-2 予稿集抄録用紙 B-3 索引用カード B-4 連絡書	昭和54年 11月15日 (必着)	郵送
C 発表当日提出書類	C-1 英文抄録用紙 C-2 索引用氏名カード C-3 和文題名, 氏名, 所属 C-4 英文題名, 氏名, 所属	発 表 当 日	会場 受付 係へ
D 懇親会申込み	D-1 懇親会参加申込書	昭和54年 11月15日 (必着)	郵送
E 記念写真申込み	E-1 記念写真郵送用ラベル	昭和54年 11月15日 (必着)	郵送

郵送の宛先

〒650 神戸市生田区楠町6丁目
神戸大学医学部第2生理
第57回日本生理学会大会係

発表申込書類記入上の注意

発表申込書類として (B-1) 発表申込書, (B-2) 予稿集抄録用紙, (B-3) 索引用カード, および (B-4) 連絡書が綴られています。

(B-1) 発表申込書

(B-2) 予稿集抄録用紙

1) (B-1) の分類記号欄には, 下表より 2 つ選んで順位をつけて記入して下さい。

1. 研 究 方 法	11. 筋運動とその制御	21. 自律神経系
2. 分 子 生 理	12. 脳波・誘発電位	22. 循 環 環
3. 細 胞 生 理	13. 行 動・表 現 ^(注)	23. 血液・腎・体液調節
4. 能 動 輸 送	14. 神 經 化 学	24. 呼 吸
5. 興 奮 性 膜	15. 視 覚	25. 消 化 吸 収
6. シナプス・終板	16. 聴 覚	26. 内 分 泌・生 殖
7. 脊 髄・末 梢 神 經	17. そ の 他 の 感 覚	27. 運 動・体 力・疲 労
8. 脳 幹・間 脳	18. 骨 格 筋	28. 環 境・エ ネ ル ギ ー 代 謝
9. 小 脳	19. 平 滑 筋	29. 体 温 調 節・発 汗
10. 終 脳	20. 心 筋	30. そ の 他

(注) 睡眠, 条件反射, 学習, 音声などを含む

2) 発表題名, 発表者所属氏名および発表内容の要約を, (B-1) 発表申込書と (B-2) 予稿集抄録用紙の 2 つに同文で 5 号活字カーボンリボン付き和文タイプで, 枠からはみださないように清打ちして下さい。

3) 題名欄は, 左端からタイプして下さい。所属氏名欄は 2 行分ありますが, 1 行だけの場合は上の行にタイプし, 3 行必要な時には題名と所属氏名との間の枠を使用して下さい。

所属は左端に揃え, 氏名は最終字を右端に揃え, 演者には, アンダーラインを付けて下さい。本文は打出しを 1 字下げて下さい。予稿集は第 56 回大会と同じ形式ですから, もし不明の点があればそれを参考にして下さい。

(B-3) 索引用カード: 発表者全員の氏名を各葉 1 名ずつふりがなをつけて記入して下さい。

(B-4) 連絡書: 演題名, 発表者名を該当欄に記入して下さい。プログラム決定次第発表日時, 発表形式をお知らせします。

発表当日提出書類記入要領

(C-1) 日本生理学雑誌大会号英文抄録用紙

用紙の枠内にカーボンリボン付き英文タイプ（シングル・スペース）で清打ちして下さい。この原稿はそのまま写真製版となります。

題名は大文字で、氏名にはアンダーラインを引き、所属と本文との間は1行あけて下さい。

枠外には絶対はみ出さないようご注意ください。

例：

A SYNTHETIC THROMBIN INHIBITOR TAKING <u>KIKUMOTO, Y. TAMAO.</u> Dept. of Physiol., Kob Ikuta-ku, Kobe
--

The novel series of synthetic thrombin inhibitor extremely potent, highly selective and less toxic Extensive studies on the stereo-structure activity

(C-2) 索引用氏名カード

次の例に準じてご記入下さい。

SUDA, I.	OKAMOTO, S.	HANAWA, I.	
※	※	※	※

※ 欄は記入しないで下さい。

(C-3) 和文題名, 氏名, 所属 (日本生理学雑誌大会号目次用)

手書きでも結構ですが楷書でお願いします。

(C-4) 英文題名, 氏名, 所属 (Jpn. J. Physiol. 用)

例：Proteolysis and physiological regulation in xxxxxxxx.

Suda, I., Okamoto, S. and Hanawa, I. (Dept. Physiol., Kobe Univ.
 Sch. Med., Ikutaku, Kobe, 650)

第57回日本生理学会大会

当 番 幹 事

須 田 勇

岡 本 彰 祐

埜 功

(A-3) 予稿集郵送用ラベル 個人

郵便番号 _____

住所 _____

氏名 _____

(E-1) 記念写真郵送用ラベル 個人

郵便番号 _____

住所 _____

氏名 _____

きりとり線

きりとり線

(A-2) 受取通知書

内に必要事項をご記入願います

研究单位名称						
大会発表申込書	部		枚	円		
予稿集抄録原稿	各		枚	円		
連絡書				円		
索引用カード				円		
郵送用ラベル				円		
大会参加費	名		×	5,000円		
記念写真代	名		×	1,000円		
懇親会参加費	名		×	3,500円		
合計						円

上記確かに受領しました

昭和 年 月 日

第57回日本生理学会大会係

〒650 神戸市生田区楠町6丁目
神戸大学医学部生理学教室
電話 078-341-7451
内線 276(船原) 280(細見)

参加申込
受付番号

(裏面に宛名を明記して
切手をはって下さい)

きりとり線

(B-4) 連絡書

枠内にご記入願います

演題名	
発表者	

お申込みの上記発表に関し次のように決定しました

発表形式: (1) 口演 (2) ポスター・シンポジウム

日時: _____

発表申込
受付番号

(裏面に宛名を明記して切手をはって下さい)

第57回日本生理学会大会係

〒650 神戸市生田区楠町6丁目
神戸大学医学部生理学教室
電話 078-341-7451
内線 276(船原) 280(細見)

二十円切手
貼付のこと

郵便はがき

□ □ □ - □ □

二十円切手
貼付のこと

郵便はがき

□ □ □ - □ □

書 込 申 表 発 (B-1)

分類記号

--	--	--	--	--	--

第1希望	第2希望
------	------

題名	
----	--

所氏	属名	
----	----	--

本 文	
--------	--

きりとり線

紙 用 録 抄 集 予 (B-2)

題名	
----	--

所氏	属名	
----	----	--

本 文	
--------	--

きりとり線

ド ー カ 用 引 索 (B-3)

ふりがな	
氏名	

--	--	--	--	--

ふりがな	
氏名	

--	--	--	--	--

きりとり線

ふりがな	
氏名	

--	--	--	--	--

ふりがな	
氏名	

--	--	--	--	--

(C-1) 日本生理学雑誌大会号英文抄録用紙

--	--

※ 分 類	
※ 番 号	

※欄には記入しない
こと

キ.....サ.....ト.....リ.....線.....

(C-2) 索引用氏名カード(ローマ字)

※	※	※	※	※	※	※
---	---	---	---	---	---	---

※欄には記入しないこと

(C-3) 和文題名、氏名、所属 (日本生理学雑誌大会号目次用)

分 類 ※	番 号 ※	

※欄には記入しないこと

(C-4) 英文題名、氏名、所属 (Jpn. J. Physiol. 用)

分 類 ※	番 号 ※	

※欄には記入しないこと

第57回日本生理学会大会

— 宿泊のご案内 —

ごあいさつ

この度、第57回日本生理学会大会に出席されます皆様方のご便宜を図るため、準備委員会のご指導のもとに宿泊のお世話を、日本交通公社神戸京町支店で取扱うことになりました。本学会の開催されます時期は、宿泊の確保が困難であると予想されますので、あらかじめ当支店で確保しております。

出来るだけお早目に日本交通公社京町支店へ、お申込みいただきますようご案内申し上げます。

神戸市生田区京町67番地

日本交通公社神戸京町支店

第57回日本生理学会大会係

電話 (078) 391—6957～9 吉田, 鎌田

1. 宿泊について

宿泊場所	ホ テ ル			左記料金は税金・サービス料共含んでおりますが食事は含んでおりません。又、料金は、1室の料金です。
	シングル	ツウイン	トリプル	
神戸市内	A	8,000	14,000	18,000
	B	5,000	8,500	

※Aのホテルは、一般のホテルです。(神戸オリエンタルホテル・ニューポートホテル・神戸国際ホテルなど)

Bのホテルは、ビジネスホテルです。但し定員の関係で宿泊場所が大阪になる場合がございます

2. 申込み方法

別紙申込み用紙にご記入のうえ、宿泊費全額を同封のうえ、現金書留にてご送金下さい。お申込み後1週間以内に連絡なきときは、お取り出来たと思って下さい。但し、希望のホテルが変わる場合もございますのでご了承下さい。

領収書及び宿泊券を11月25日以降に送付いたします。

宿泊券は当日ホテルのフロントにご提示下さい。

3. 申込み締切日

昭和55年2月29日

4. 申込み後の取消料

当日 (17:00以降)	当日 (17:00迄)	前 日	2日～7日前	8日～12日前
全 額	70%	50%	30%	20%

※上記以外に手数料および通信費として、1泊1名様につき¥1,000円を申受けます。

5. 申込み先

〒650 神戸市生田区京町67番地

日本交通公社神戸京町支店

電話 神戸 (078) 391—6957～9 吉田, 鎌田

Effect of huddling on heat losses in infant dogs

Yasuyuki SUGANO and Tetsuo NAGASAKA

Department of Physiology, School of Medicine, Kanazawa University, Kanazawa 920, Japan

The effect of huddling on the thermogenic response to cold has been extensively studied in rodents and in some cattle³⁾. The animals in huddling lose less heat than animals separated each other by reducing the effective body surface area per animal. Prychodko⁸⁾ has reported a reduction in food consumption resulting from increasing number of mice in the group. The prolonged survival time in colder environments was also proportional to the number of mice in the group⁹⁾. Studies on this behavioral response to cold, however, have been rather limited in other animals such as the dog. Since the dog has been frequently used as a favorite experimental animal for cardiovascular, respiratory, endocrinological and metabolic studies, it seems necessary to determine the contribution of this behavior to energy expenditure on a quantitative basis for the dog. By using direct calorimetric methods, we compared heat losses of infant dogs in the different number of pups in a group and investigated the nature of the behavioral thermal response to subneutral ambient temperatures in this animal.

Six intact pups, 3 males and 3 females delivered from the twin mother Mongrel dogs, were used. All measurements were made during the 28-46 days of life (October 18-November 5). The pups were allowed to suckle and then taken from the kennel. Air temperature of the kennel was not controlled. They were weighted (mean body weight : 1,800 gm at 28 days and 2,320 gm at 46 days of life) and confined in the gradient layer type calorimeter (SEC-A, Thermonetics Corp., San Diego⁷⁾) of which inside temperature

was kept at a constant set level (15, 20 and $25 \pm 0.1^\circ\text{C}$). After a thermal steady state was obtained, the number of the pups which were firstly 6 in each experiment were reduced by taking some pups (1 ~ 2 pups at a time) from the group. The same procedure was repeated throughout the experiment. In some cases, the number of the pups were increased by adding the pups to the already confined group. The pups were allowed to move freely in the calorimeter during the experiment. Room air ($4\text{ l}\cdot\text{min}^{-1}$) drawn through a Silica Gel can was sent through the calorimeter. The temperature of the air was brought to the same set temperature by heat exchange between the air and the circulating temperature controlled water. The sensible heat loss ($H_{L\text{dry}} = \text{radiative} + \text{conductive} + \text{convective heat loss}$) and heat loss by evaporative water loss ($H_{L\text{wet}}$) were continuously measured and recorded on a recorder (SP-H 5 P, Riken Denshi). To prevent unwarrantable evaporation from the wastes, feces and urine were collected into a metal pan filled with liquid paraffin placed underneath the animal cage during the experiment.

The rates of heat losses ($H_{L\text{total}} = H_{L\text{dry}} + H_{L\text{wet}}$) expressed in $\text{W} \cdot \text{m}^{-2}$ of body surface are summarized in Fig. 1. The surface area of the pups was calculated using the formula of $S (\text{m}^2) = 0.101 \times \text{weight}(\text{kg})^{2/3}$ given for the dog under 4 kg of body weight²⁾. At an ambient temperature of 15°C and within the number of the pups not exceeding three, there was a close inverse relationship between $H_{L\text{dry}}$ or $H_{L\text{total}}$ and the number of the pups, that is, the smaller the number of the pups, the higher were the heat losses. The importance of huddling in temperature regulation in colder environments was also confirmed in the infant dogs as reported in many other animals³⁾. When a single pig

菅野康幸, 永坂鉄夫 : 金沢大学医学部第一生理学講座

[Received for publication January 10, 1979]

was exposed at 5 °C, its oxygen consumption increased more than doubled, while a group of pigs of the same age which huddle together increased their oxygen consumption very slightly¹¹⁴⁾. Heat loss from the body surface (H_{Ldry}) depends on the temperature gradients, thermal tissue conductance and the body surface area. Below the critical temperature, the thermal conductance and the temperature gradients tended to be constant in most animals⁵⁾⁶⁾. Although the thermal conductance was not measured in this study, the increase in H_{Ldry} may have been largely attributed to the increased effective body surface area per animal.

Rectal temperature (T_{re}) of one pup was monitored continuously throughout the measurement. T_{re} was 37.8°C in the single pup and 37.9°C in the pup with other 5 pups together, in other words, within 6 pups T_{re} was not seemed to be influenced by changing the number of the animals. Therefore, the oxygen consumption should have been increased in the animals either alone or with 2 pups together at this temperature. With

more than 3 pups, however, H_{Ldry} tended to be constant regardless of the number. This may indicate that the T_a of 15°C in still air conditions is not cold enough to force a large number of the pups aggregating together. Since 4 l·min⁻¹ of fresh air was sent through the calorimeter which had a fairly large amount of air inside, air movement inside the calorimeter must have been kept at minimum levels in the present study. A more clear inverse relationship between the heat losses and the number of the pups with more than 3 may have been seen if the forced convection was increased by increasing air movement. H_{Ltotal} and H_{Ldry} were already at the minimum with 2 pups together at $T_a=20$ °C. At $T_a=25$ °C, there was no significant increase in the heat losses in the animals when the number was reduced to one.

The relationship between the body weight of an imaginary dog, which was simply calculated from the mean weight and the number of pups, and H_{Ldry} expressed per square meter of body surface of the dog is

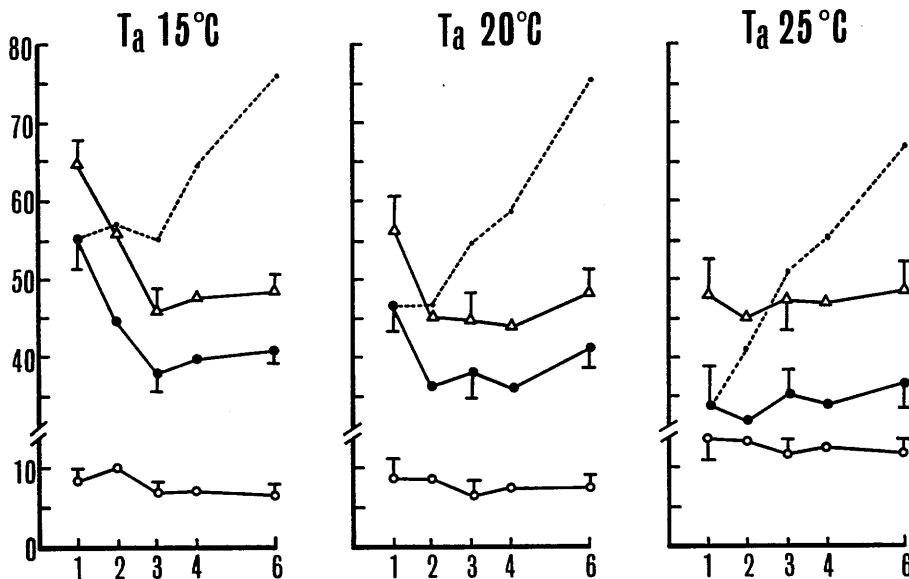


Fig. 1. Effect of the number of pups on H_{Ltotal} , H_{Ldry} and H_{Lwet} at 3 different ambient temperatures. Abscissae : number of pups, Ordinates : heat losses in $\text{W}\cdot\text{m}^{-2}$ (● : H_{Ldry} , ○ : H_{Lwet} , △ : H_{Ltotal}). Dotted lines show H_{Ldry} of an imaginary dog, of which the body weight is obtained by the mean body weight (approximately 2 kg) × number of pups. Bars are \pm SD.

also shown in Fig. 1. H_{Ldry} was not affected by body size when the number of the pups was less than 3 at 15°C, less than 2 at 20°C and 1 at 25°C. The results indicate that the rate of the increase in body weight and effective surface area can be appropriately proportional only within these number of pups. With more than these number, an aggregation of the animals is not beneficial to the pups in these environments. H_{Lwet} expressed as $H_{Ltotal} - H_{Ldry}$ (actually measured by the plate meter and moisture condenser of the SEC-A calorimeter) were not influenced by number of the pups in groups. However, the levels of H_{Lwet} were always higher at $T_a = 25^\circ\text{C}$ than those at the other ambient temperatures. The thermoneutral temperature may have been slightly lower than 25°C for the pups under the present experimental conditions. From these data, it is concluded that in the infant dogs the effect of huddling, that is, increasing the number of the animals aggregating together is important in temperature regulation in the subneutral thermal conditions.

key words : heat losses, huddling, infant dogs, behavioral thermoregulation

This work was supported in part by a Grant-in-Aid for Scientific Research from the Ministry of Education, Science and Culture, Japan (Grant No. 144028).

References

- 1) Baldwin, B. A. & Ingram, D. L. (1967) *Physiol. Behav.*, **2**, 15-21
- 2) Guyton, A. C. (1963) *Circulatory Physiology : Cardiac Output and Its Regulation*. Saunders, Philadelphia, pp. 11-12
- 3) Hart, J. S. (1972) *Comparative Physiology of Thermoregulation*. vol. 2, Mammals, ed. by Whittow, G. C., Academic press, New York, pp. 13-15
- 4) Holmes, C. W. & Mount, L. E. (1967) *Anim. Prod.*, **9**, 435-452
- 5) Nagasaka, T. (1974) *Nagoya J. med. Sci.*, **36**, 76-89
- 6) Nakayama, T., Hori, T., Nagasaka, T., Tokura, T. & Tadaki, E. (1971) *J. Appl. Physiol.*, **31**, 332-337
- 7) Poppendiek, H. F., Hody, G. L. & Kacirk, J. J. (1976) *Proc. San Diego Biomed. Symp.*, **15**, 125-131
- 8) Prychodko, W. (1958) *Ecology*, **39**, 500-503
- 9) Sealander, J. A., Jr. (1952) *Ecology*, **33**, 63-71

[昭和53年度生理学論文表題集] (2)

(日本生理学雑誌に掲載の分も含む)

本表題中 * 印は前年度の脱落分を示す

自治医科大学第一生理学教室

- 1) 前川杏二, 竹田俊明(1978.3)視覚中枢路とその情報伝達. 文部省, 特定研究「脳の統御機能」報告書 1, 19-20
- 2) Maekawa, K. & Takeda, T. (1978) Origin of the mossy fiber projection to the cerebellar flocculus from the optic nerves in rabbits. In M. Ito (Ed.) Integrative Control Functions of the Brain, Vol. 1 Kodansha Scientific, Tokyo, 93-95
- 3) 竹田俊明, 前川杏二(1978.6)下オリーブ核背帽部における両眼からの入力の相互干渉. 日本生理誌 40, 151
- 4) Takeda, T. & Maekawa, K. (1978.8,9) Pathways of the mossy fiber responses evoked in the rabbit's flocculus from the optic nerves. J. Physiol. Soc. Jap. 40, 251
- 5) 前川杏二(1978.1)視覚を司るトランスミッター. 日本臨床 36, 103-111
- 6) Hagiwara, S., Miyazaki, S., Moody, W. & Patlak, J. B. (1978) Blocking effects of Ba and H ions on the K current during the anomalous rectification in the starfish egg. J. Physiol (Lond.) 279, 167-185
- 7) Ciani, S., Krasne, S., Miyazaki, S. & Hagiwara, S. (1978) A model for anomalous rectification: Electrochemical-potential-dependent gating of membrane channels. J. Memb. Biol. 44, 103-134
- 8) Miyazaki, S. (1978) Action potentials of neurosecretory cells in the silkworm, *Bombyx mori* L. J. Physiol. Soc. Japan. 40, 225
- 9) Ozawa, S. & Miyazaki, S. (1978) Electrical activity of functional pituitary tumor cells and effects of thyrotropin releasing hormone (TRH). J. Physiol. Soc. Japan. 40, 344
- 10) 宮崎俊一, 平井説郎(1978)ヒトデの卵成熟とはやい多精拒否機構. 動物学雑誌 87, 313
- 11) Toyama, K., Tanaka, K. & Kimura, M. (1978) On-line computer system for vision experiment: Control of visual stimuli and analysis of neuronal signals. Brain Theory Newsletter. 3. 3/4, 170-172
- 12) 木村 実(1978)視覚領ニューロンのフリッカー応答とその神経機序. 日本生理誌 40(8,9), 254

自治医科大学第二生理学教室

- 1) Yagi, K. & Sawaki, Y. (1978) Transmitter mechanism involved in the tuberoinfundibular neurosecretory system. In Iontophoresis and Transmitter Mechanisms in the Mammalian Central Nervous System, ed. Ryall, R. W. & Kelly, J. S., Elsevier (Amsterdam), pp. 133-135
- 2) Yagi, K. & Sawaki, Y. (1978) Hypothalamic neural circuits involved in the control of adeno-hypophysial functions. Gunma Symp. Endocrinol. 15, 15-25
- 3) Yagi, K. & Sawaki, Y. (1978) Electrophysiological characteristics of identified tubero-infundibular neurons. Neuroendocrinology 26, 50-64
- 4) Kannan, H. & Yagi, K. (1978) Supraoptic neurosecretory neurons: evidence for the existence of converging inputs both from carotid baroreceptors and osmoreceptors. Brain Res. 145, 385-390
- 5) Sawaki, Y. & Yagi, K. (1978) Constant illumination blocks the effects of infundibulopreoptic pathways in female rats. In Integrative Control Functions of the Brain, vol. 1 (ed. Ito, M., et al.), Tokyo/Amsterdam, Kodansha/Elsevier, p. 331-332
- 6) Ozawa, S. (1978) Membrane electrical properties of anterior pituitary cells and their relation to hormone secretion. In Integrative Control Functions of the Brain, vol. 1 (ed. Ito, M., et al.), Tokyo/Amsterdam, Kodansha/Elsevier, p. 311-324
- 7) Ozawa, S. & Sand, O. (1978) Action potentials in non-tumor cells from the anterior pituitary gland. Experientia 34, 542-543
- 8) Ozawa, S. & Sand, O. (1978) Electrical activity of rat anterior pituitary cells *in vitro*. Acta physiol. scand. 102, 330-341
- 9) Sawaki, Y. & Yagi, K. (1978) Constant illumination blocks the effects of infundibulopreoptic pathways in female rats. J. physiol. Soc. Jap. 40, 343-344
- 10) Ozawa, S. & Miyazaki, S. (1978) Electrical activity of functional pituitary tumor cells and effects of thyrotropin releasing hormone (TRH). J. physiol. Soc. Jap. 40, 344
- 11) Ito, M., Tsukahara, N., Kubota, K. & Yagi, K. (1978) Integrative Control Functions of the Brain, vol. 1. Kodansha/Elsevier, Tokyo/Amsterdam.
- 12) Yagi, K. (1978) Neuroendocrine Control Mechanisms. In Integrative Control Functions of the Brain, vol. 1 (ed. Ito, M. et al.), p. 307-309

- 13) 八木欽治(1978)神経内分泌調節に関する脳の統御機能の研究. 文部省特定研究「脳の統御機能」報告書(1), 203-204
- 14) 八木欽治, 佐脇敬子(1978)排卵誘発神経回路網の研究. 文部省特定研究「脳の統御機能」報告書(1), 207-208
- 15) 小沢瀨司(1978)下垂体前葉ホルモン分泌細胞の電気的興奮性と神経ホルモンの影響について. 文部省特定研究「脳の統御機能」報告書(1), 213-214
- 16) 八木欽治(1978)神経内分泌反射. 文部省特定研究「脳の統御機能」1978年夏のワークショップ抄録集, p. 38-41
- 17) 入沢宏, 鳥居鎮夫, 小沢瀨司(1978)研究のストラテジー. 脳の統御機能1生体リズム, 東京, 医歯薬出版 p. 1-11
- Jap.Acad. **54**(B), 381-385
- 3) Saito, N.(1978.11)Physiology and anatomy of avian ear. J. Acoust. Soc. Amer. **64**, S3
- 4) 上野正樹, 斎藤 望(1978.9)細胞内 Ca^{++} 輸送におけるミトコンドリアおよび微小管の働きについて. 日本生理誌 **40**, 215
- 5) 谷口郁雄, 斎藤 望(1978.4)デオキシグルコース法による聴覚系オートラジオグラフィ. 日本生理誌 **40**, 288
- 6) Taniguchi, I. & Saito, N.(1978.11)Plastic Reorganization in the Inferior Colliculus of the Immature Mouse Studied by [^{14}C] deoxyglucose Method. Proc. Jap. Acad. **54**(B), 496-499
- 7) Taniguchi, I. & Saito, N. (1978.11) Plastic changes in the Mouse Inferior Colliculus Studied by [^{14}C] deoxyglucose Technique. J. Acoust. Soc. Amer. **64**, S66
- 8) Nomoto, M. & Maekawa, M.(1978.11)Differences in auditory nerve fiber responses in regard to inner and outer hair cells J. Acoust. Soc. Amer. **64**, S135
- 9) 橋本 享, 村田計一, 谷口郁雄(1978.4)音声情報の特徴抽出. 日本生理誌 **40**, 288
- 10)* Hashimoto, T., Murata, K., Minami, S., Taniguchi, I. & Katayama, Y.(1977.4)Computer-Aided Group Audiometry. J. Auditory Res. **17**, 59-76
- 11)* Saito, N.(1975.10)How should studies be made at medical schools?—from the physiological point of view. Dokkyo J. Med. Sci. **2**, 146-148

独協医科大学第一生理学教室

- 1) Sakai, S., Enami, J., Nandi, S. & Banerjee, M. R. (1978.2) Prolactin Receptor on Dissociated Mammary Epithelial Cells at Different Stages of Development. Mol. Cell. Endocrinol. **12**, 285-298
- 2) 大竹英樹, 長谷川薫, 古閑睦好(1978.4)再生肝細胞上清にみられる Zn 結合蛋白と細胞増殖との関連について. 第55回日本生理学大会予稿集 42
- 3) 猪野久美子, 長谷川薫, 古閑睦好(1978.4)成長ラットの培養肝細胞の DNA 合成の誘起(3報). 第55回日本生理学大会予稿集 43
- 4) Enami, J. & Nandi, S. (1978.6) Secretion of Casein in Cultures of Mouse Mammary Epithelial Cells on Floating Collagen Gels. J. Dairy Science. **61**, 729-732
- 5) Katiyar, V. N., Enami, J. & Nandi, S.(1978.9) Effect of polypeptide hormones on stimulation of casein secretion by mouse mammary epithelial cells grown on floating collagen gels. In Vitro. **14**, 771-774
- 6) Ohtake, H., Hasegawa, K. & Koga, M.(1978.9) Zinc-binding protein in the livers of neonatal, normal and partially hepatectomized rats. Biochem. J. **174**, 999-1005
- 7) 大竹英樹, 長谷川薫, 古閑睦好(1978.10) 再生肝細胞上清にみられる Zn^{++} 結合蛋白について. 動物学雑誌. **87**, 447
- 8) Koga, M. & Hasegawa, K.(1978.11)Induction of DNA synthesis in rat liver by combinations of saline and glucagon. Dokkyo J. Med. Sci. **5**, 291-296

独協医科大学第二生理学教室

- 1) Saito, N., Maekawa, M. & Kimura, K.(1978.6) Lateral innervation of syringeal muscles of chicken. Proc. Jap. Acad. **54**(B), 251-256
- 2) Saito, N. & Ueno, M.(1978.10)Calcium entry in aequorin injected axon of crayfish. Proc.

群馬大学医学部第一生理学教室

- 1) 後藤鹿島(1978.1)歩調取り細胞の前電位について. 北関東医学 **28**, 1-11
- 2) 後藤鹿島(1978.1)交感神経性 α 遮断剤, β 遮断剤と歩調取り電位. 北関東医学 **28**, 74
- 3) 三浦光彦(1978.4)心臓血管中枢の神経回路. 脳の統御機能1. 生体リズム(伊藤正男ほか編). 医歯薬出版 253-267
- 4) 後藤鹿島(1978.8)歩調取り細胞と phentolamine. 日本生理誌 **40**, 313-314
- 5) 三浦光彦, 北村奉正(1978.8)心臓抑制反射と迷走神経心臓枝の延髄起始核. 日本生理誌 **40**, 319-320
- 6) Miura, M. & Kitamura, T.(1978)Origin of the cardio-inhibitory motoneurons in the medulla of the cat. Integrative Control Functions of the Brain Vol.1, 244-246

群馬大学医学部第二生理学教室

- 1) Yarita, H. & Takagi, S. F.(1978.1)An olfactory pathway to the orbitofrontal cortex through the thalamus. Proc. Japan Acad. **54**(1), 30-34
- 2) Mori, K. & Takagi, S. F.(1978)An intracellular study of dendrodendritic inhibitory synapses

- on mitral cells in the rabbit olfactory bulb. *J. Physiol.* **279**, 569-588
- 3) Mori, K. & Takagi, S. F. (1978) Activation and inhibition of olfactory bulb neurones by anterior commissure volleys in the rabbit. *J. Physiol.* **279**, 589-604
 - 4) Arito, H., Iino, M. & Takagi, S. F. (1978) Water response of the frog olfactory epithelium as observed from the olfactory bulb. *J. Physiol.* **279**, 605-619
 - 5) Takagi, S. F., Iino, M. & Yarita, H. (1978) Effects of gustatory stimulants upon the olfactory epithelium of the bullfrog and the carp. *Jap. J. Physiol.* **28**, 109-128
 - 6) Takagi, S. F., Iino, M., Yarita, H. & Mori, K. (1978) Ionic stimulation of the olfactory epithelium in the bullfrog and the carp. *Jap. J. Physiol.* **28**, 129-148
 - 7) Iino, M. & Takagi, S. F. (1978) Stimulation of the olfactory epithelium with odorants in gaseous and aqueous phases. *Jap. J. Physiol.* **28**, 149-157
 - 8) Nakashima, M., Mori, K. & Takagi, S. F. (1978) Centrifugal influence on olfactory bulb activity in the rabbit. *Brain Research* **154**, 301-316
 - 9) 有藤平八郎, 高木貞敬 (1978) 嗅上皮の水応答とニオイ応答. *日本生理誌* **40**, 293
 - 10) 木暮信一, 小野田法彦, 高木貞敬 (1978) 嗅覚における視床下部外側ニューロンの役割. *日本生理誌* **40**, 293
 - 11) 森 憲作, 佐藤真彦, 高木貞敬 (1978) ウサギ前嗅核細胞の軸索の両側嗅球への投射. *日本生理誌* **40**, 294
 - 12) Takagi, S. F. (1978) Biophysics of smell. *Handbook of Perception*, ed. E. C. Carterette & M. P. Friedman, Academic Press, New York VIA, 233-243
 - 13) Kogure, S., Onoda, N. & Takagi, S. F. (1978) Olfactory responses of the lateral hypothalamic neurones to stomach distension in unanesthetized rabbits. *Proc. Japan Acad.* **54**(B), 478-483
 - 14) Mori, K., Satou, M. & Takagi, S. F. (1978) Fast and slow inhibitory postsynaptic potentials. *Proc. Japan Acad.* **54**(B), 484-489
 - 15) Mori, K., Satou, M. & Takagi, S. F. (1978) Morphology of mitral cell dendrites in the rabbit olfactory bulb: intracellular Procion Yellow injection. *Integrative Control Functions of the Brain*, ed. M. Ito, Kohdansha Sci., Tokyo & Elsevier Sci. Co., Amsterdam **1**, 117-119
 - 16) Burton, J. E. & Onoda, N. (1978) Dependence of the activity of interpositus and red nucleus neurons on sensory input data generated by movement. *Brain Research* **152**, 41-63
 - 17) Soechting, J. F., Burton, J. E. & Onoda, N. (1978) Relationships between sensory input, motor output and unit activity in interpositus and red nuclei during intentional movement. *Brain Research* **152**, 65-79
 - 18) 高木貞敬, 豊田文一, 北村 武 (1978) 嗅覚障害—その測定と治療. 医学書院
- 群馬大学内分泌研究所生理学研究部**
- 1) 松崎 茂, 鈴木光雄, 浜名康栄 (1978.1) ラットの甲状腺腫形成時におけるポリアミンおよびヒスタミン含量の変化. *ホルモンと臨床* **26**, 31-34
 - 2) 高橋徳之 (1978.1) ラット大脳, 小脳, 視床下部内 tubulin 量の発育に伴う変動および甲状腺機能の影響. *北関東医学* **28**, 75
 - 3) 山本 清 (1978.4) 内分泌概説—基礎内分泌学の領域から. *内分泌学* (吉村, 川上, 井村, 東条編) 南山堂, 東京 1-11
 - 4) 山本 清 (1978.4) ホルモンの合成, 分泌とその調節—ペプチドホルモン. *内分泌学* (吉村, 川上, 井村, 東条編) 南山堂, 東京 97-101
 - 5) 鈴木光雄 (1978.4) ホルモンの合成, 分泌とその調節—甲状腺ホルモン. *内分泌学* (吉村, 川上, 井村, 東条編) 南山堂, 東京 114-126
 - 6) 鈴木光雄, 竹内 章, 土屋 哲 (1978.4) 腺性下垂体ホルモン分泌振動のスペクトル解析. *日本内分泌誌* **54**, 325
 - 7) 松崎 茂, 鈴木光雄, 掛川忠雄, 浜名康栄 (1978.4) ラット甲状腺におけるポリアミン合成の調節. *日本内分泌誌* **54**, 591
 - 8) Matsuzaki, S., Kakegawa, T., Suzuki, M. & Hamana, K. (1978.6) Thyroid function and polyamines. III. Changes in ornithine decarboxylase activity and polyamine contents in the rat thyroid during hyperplasia and involution. *Endocrinol. Japon.* **25**, 129-139
 - 9) Nomoto, T., Irie, K. & Suzuki, M. (1978.6) Roles of biogenic amines in the hypothalamo-pituitary-thyroid system in the rats. *Gunma Symp. Endocrinol.* **15**, 107-118
 - 10) Suzuki, M., Langer, P., Kakegawa, T. & Shibasaki, K. (1978.6) Changes of LH, TSH, GH, FSH and PRL in pituitaries and sera of rats after thyroidectomy and thyroxine treatment as studied by radioimmunoassay and disc electrophoresis. *Endocrinol. Exper.* **12**, 75-88
 - 11) Takeuchi, A., Suzuki, M. & Tsuchiya, S. (1978.8) Effect of thyroidectomy on the secretory profiles of growth hormone, thyrotropin and corticosterone in the rat. *Endocrinol. Japon.* **25**, 381-390
 - 12) Takeuchi, A., Suzuki, M. & Tsuchiya, S. (1978.9) Effects of thyroid states on secretory profiles of growth hormone, thyrotropin and corticosterone. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 346

- 13) 松崎 茂, 鈴木光雄, 山本 清(1978.9)ラット甲状腺のポリアミン生合成と細胞増殖の平行性. 日本生理誌 **40**, 347
- 14) 興良隆雄, 宇井信生, 松崎 茂(1978.9)ラット甲状腺刺激ホルモンに関する研究. 生化学 **50**, 669
- 15) 松崎 茂, 浜名康栄(1978.9)イモリ性腺のポリアミン. 生化学 **50**, 815
- 16) 高橋徳之(1978.9)ラット脳内 microtubule 蛋白量と甲状腺ホルモン, corticosterone 作用の critical period. 生化学 **50**, 953
- 17) Matsuzaki, S., Suzuki, M., Hamana, K. & Itoh, K. (1978.11) Elevated levels of polyamines and histamine in adenocarcinomas of the thyroid. *J. Clin. Endocrinol. Metab.* **47**, 1038-1041
- 14) 浅見高明(1978.5)大打者の秘密は柔らかい体. 科学朝日 **38**(5), 56-60
- 15) 浅見高明(1978.11)柔道における技術的特性の科学的解明. 武道学研究 **11**(2), 112-113
- 16) 浅見高明, 渡川侃二(1978.12)調整力に関する研究(4)—幼児のフィールドテスト得点基準の作成と検討—. 体育科学 **6**, 157-163
- 17) 渡部和彦, 朝比奈一男, 浅見高明(1978.12)姿勢制御からみた調整力の研究 IV. フィールドテストとの比較—3~6歳児について—. 体育科学 **6**, 131-138

筑波大学体育科学系 (伊藤研究室)

- 筑波大学体育科学系運動生理学部門**
- 1) Asano, K., Ogawa, S. & Furuta, Y. (1978.4) Aerobic work capacity in middle and old-aged runners. "Exercise Physiology" edited by Landry, F. & Orban, WAR Symposia Specialists, Inc. **4**, 465-471
 - 2) 浅野勝己(1978.7)ドーピング。「スポーツコンディショニング」不昧堂出版 284-292
 - 3) 浅野勝己(1978.10)臨床医 ran Aaken の理論と実践. 体育の科学 **28**(10), 713-716
 - 4) 菊地和夫, 浅野勝己, 矢野徳郎, 松坂 晃, 熊谷秋三(1978.12)インピーダンス法による児童・生徒の心機能. 日本体育学会第29回大会号 216
 - 5) 熊谷秋三, 浅野勝己, 矢野徳郎, 菊地和夫, 松坂 晃(1978.12)全盲者の有気的作業能力に関する研究. 日本体育学会第29回大会号 223
 - 6) 矢野徳郎, 浅野勝己, 菊地和夫, 松坂 晃, 熊谷秋三(1978.12)中高年者への運動処方への有気的作業能力におよぼす影響. 日本体育学会第29回大会号 267
 - 7) 浅見高明, 渡川侃二(1978.2)調整力に関する研究 III—フィールドテストによる評価の検討—. 体育科学 **5**, 153-161
 - 8) 渡部和彦, 浅見高明, 朝比奈一男(1978.2)姿勢制御からみた調整力の研究 III—幼児・児童の年令別変化とその特徴—. 体育科学 **5**, 139-145
 - 9) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 芳賀脩光, 浅見高明(1978.3)Conformateur による柔道強化選手の立位姿勢の解析. 武道学研究 **10**(3), 28-41
 - 10) 児島義明, 浅見高明, 松本芳三, 竹内善徳(1978.3)柔道投技の受身の分析—身体各部の衝撃力と接床時間について—. 武道学研究 **10**(3), 50-56
 - 11) 浅見高明, 松本芳三, 佐々木武人(1978.3)柔道抑え技における重心位置の分析. 講道館柔道科学研究会紀要 **5**, 39-44
 - 12) 浅見高明(1978.3)“自然体”のキネシオロジー的分析. 講道館柔道科学研究会紀要 **5**, 69-74
 - 13) 浅見高明, 橋原孝博(1978.3)立位ならびに長座体前屈からみた柔軟性の検討. 筑波大学体育科学系紀要 **1**, 111-117
 - 1)* 伊藤 朗, 井川幸雄(1976.12)ヘモグロビン濃度と運動負荷の影響. 体力科学 **25**(4), 215
 - 2)* 阿久津邦男, 伊藤 朗, 中原伸記, 片岡幸雄, 野村武男, 渡辺 剛(1976.12)成人病を防ぐ運動. 大和ヘルス財団出版
 - 3)* 伊藤 朗, 鈴木政登, 山口幸雄, 井川幸雄(1977.2)主婦の長期(2年2ヵ月)60% $\dot{V}O_2\max$. トレーニングと体力および血液化学成分値の動態. 体育科学 **5**, 71-82
 - 4)* 井川幸雄, 鈴木政登, 山口幸雄, 高橋基泰, 杉崎哲朗, 伊藤 朗(1977.2)中高年家庭婦人の走行能力と血液・尿性状および健康・体力意識. 体育科学 **5**, 242-252
 - 5)* 伊藤 朗(1977.3)大穂町住民の体力医学的追跡研究(第2報)血液検査および血中化学成分検査(文責). 国民体力研究第3報 35-64
 - 6)* 伊藤 朗(1977.3)大穂町住民の体力医学的追跡研究(第2報)尿検査(文責). 国民体力研究第3報 20-34
 - 7)* 井川幸雄, 鈴木政登, 山口幸雄, 伊藤 朗(1977, 12)血中コレステロール値におよぼす因子の検討. 体力科学 **26**(4), 198
 - 8) 伊藤 朗, 鬼原道夫, 鈴木政登, 山口幸雄, 杉崎哲朗, 井川幸雄(1978.3)運動時の血清ドーパミン- β -水酸化酵素活性値の動態について. 筑波大学体育科学系紀要 **1**, 119-130
 - 9) 長嶺晋吉, 井川幸雄, 磯貝行秀, 伊藤 朗, 香川芳子, 黒田善雄, 鈴木一正, 吉野芳夫(1978.4)スポーツ選手における貧血の発生と予防に関する研究第2報, 貧血の発生要因の検討. 日本体育協会スポーツ科学研究報告 No.3
 - 10) 伊藤 朗(1978.8)運動生化学, その4, 運動と脂質代謝, 運動時の cyclic AMP と脂質代謝. 体育の科学 **8**, 85-88
 - 11) 石河利寛, 松井秀治編, 増田 允, 井川幸雄, 伊藤 朗他(1978.8)スポーツ医学. 杏林書院出版
 - 12) 井川幸雄, 鈴木政登, 山口幸雄, 伊藤 朗(1978.9)運動負荷による特異的高血糖現象. 日本生理誌 **40**(8,9), 355
 - 13) 鈴木政登, 井川幸雄, 塩田正俊, 山口幸雄, 小野幹夫, 伊藤 朗(1978.10)小児慢性腎不全患者の身体労作管理に関する研究(第2報). 第33回日本

- 体力医学会議事録 201
- 14) 石河利寛, 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 小野三嗣, 伊藤 朗, 井川幸雄, 鈴木政登, 形本静夫(1978.10)持久走大会の結果について一特に5年連続参加者の結果を中心として. 第33回日本体力医学会議事録 204
 - 15) 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 山口幸雄, 桑島由起子, 塩田正俊, 鈴木政登, 井川幸雄(1978.10)貧血者の生活適応能について. 第33回日本体力医学会議事録 214
 - 16) 井川幸雄, 鈴木政登, 伊藤 朗(1978.11)絶食時の糖・脂質代謝とホルモンの変動. 臨床病理 26 (補冊), 43
 - 17) 伊藤 朗(1978.11)線維素溶解能力の異常を正すには運動が有効. 健康家族 16(11), 116-118
 - 18) 桑島由起子, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 鈴木政登, 中島孝之, 山口幸雄, 鈴木浩二, 星 憲(1978.11)女子運動部員の血液性状に関する追跡的研究. 東京体育学研究 5, 87
 - 19) 杉浦崇夫, 伊藤 朗, 桑島由起子, 鈴木政登, 中島孝之, 山口幸雄, 鈴木浩二, 星 憲(1978.11)鍛練者の血液凝固能および線維素溶解能について. 東京体育学研究 5, 87
 - 20) 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 鈴木政登, 塩田正俊, 星 憲, 鈴木浩二, 山口幸雄, 桑島由起子(1978.12)運動時の c-AMP および c-GMP と糖・脂質代謝. 日本体育学会第29回大会号 256
 - 21) 正村孝至, 鈴木浩二, 星 憲, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 山口幸雄, 桑島由起子, 鈴木政登, 塩田正俊(1978.12)スポーツ幼稚園児の発育・発達. 日本体育学会第29回大会号 178
 - 22) 伊藤 朗, 正村孝至, 星 憲, 鈴木浩二, 鈴木政登, 塩田正俊, 杉浦崇夫, 山口幸雄, 桑島由起子(1978.12)発育に伴う(6~12歳) $\dot{V}O_2\max$ の変化とトレーニングの影響. 日本体育学会第29回大会号 244
 - 23) 山口幸雄, 桑島由起子, 鈴木政登, 中島孝之, 塩田正俊, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 星 憲, 鈴木浩二(1978.12)高校生の血中脂質値について. 日本体育学会第29回大会号 245
 - 24) 鈴木政登, 塩田正俊, 山口幸雄, 桑島由起子, 星 憲, 鈴木浩二, 杉浦崇夫, 伊藤 朗(1978.12)運動時の糖・脂質代謝と血中ホルモンそのⅡ, グルコース投与後の30分間走の動態. 日本体育学会第29回大会号 247
 - 25) 鈴木政登, 鈴木理子, 塩田正俊, 山口幸雄, 桑島由起子, 星 憲, 鈴木浩二, 杉浦崇夫, 伊藤 朗(1978.12)加齢・運動と血中脂質. 日本体育学会第29回大会号 248
 - 26) 鈴木政登, 塩田正俊, 山口幸雄, 桑島由起子, 星 憲, 鈴木浩二, 杉浦崇夫, 伊藤 朗(1978.12)運動負荷時の糖・脂質代謝と血中ホルモンそのⅠ, 絶食時の20分間走の動態. 日本体育学会第29回大会号 249
 - 27) 桑島由起子, 山口幸雄, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 鈴木政登, 中島孝之, 塩田正俊, 星 憲, 鈴木浩二(1978.12)女子運動部員の血液性状に関する追跡的研究. 日本体育学会第29回大会号 246
 - 28) 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 桑島由起子, 山口幸雄, 鈴木政登, 中島孝之, 塩田正俊, 星 憲, 鈴木浩二(1978.12)鍛練群の血液凝固能・線維素溶解能について. 日本体育学会第29回大会号 250
 - 29) 井川幸雄, 山口幸雄, 鈴木政登, 伊藤 朗(1978.12)ヘモグロビン低値女子高校生の体力と健康・体力意識. 体育科学 6, 219-228
 - 30) 衣笠 隆, 田中英彦, 藤田紀盛(1978.12)選択全身反応時間に対する事前のジャンプ動作の効果. 日本体育学会第29回大会号
 - 31) 藤田紀盛(1978.10)触読発達過程と触圧量について(そのⅡ)一触圧量の X, Y, Z 軸三成分分力について一. 日本特殊教育学会第16回大会発表論文集 180
 - 32) 藤田紀盛, 西平賀昭, 荒木秀夫(1978)随意動作に先行する脳運動関連電位. 体力科学 27
 - 33) 西平賀昭, 藤田紀盛, 田中英彦, 荒木秀夫(1978.12) CNV 出現期間内における体性感覚刺激による大脳誘発成分の変化について. 体育学会第29回発表
 - 34) 荒木秀夫, 藤田紀盛, 田中英彦, 西平賀昭(1978.12)単純律動動作における α 波の変動について. 体育学会第29回発表
- 千葉大学医学部第一生理学教室**
- 1) 本間三郎(1978.1)運動のスキル機構. 交通医学 32, 6-11
 - 2) Burke, R. E., 神田健郎(1978.1)運動単位の性質と運動への選択的関与. 脳波と筋電図 6, 5
 - 3) 野口哲夫, 本間三郎, 丸山佳子(1978.1)ヒトの筋振動における振動周波数と単一 NMU 発射の周波数の関係. 脳波と筋電図 6, 30
 - 4) 中島祥夫, 本間三郎(1978.1)加算平均法による錘内筋単収縮曲線と筋紡錘発射. 脳波と筋電図 6, 30
 - 5) 溝手宗昭(1978.1)FM 振動による錘内筋受容器の周波数一振幅曲線の変化. 脳波と筋電図 6, 30-31
 - 6) 鈴木秀次, 江頭泰平, 本間三郎(1978.1)筋振動と歩行運動. 脳波と筋電図 6, 38
 - 7) Homma, S. & Nakajima, Y.(1978.7)'Locked' and 'Unlocked' motor unit spikes in the stretch reflex. IBRO NEWS 6, 9
 - 8) 本間三郎(1978.2)医学教育カリキュラムの過密論と少人数教育. 医学教育 9, 28-30
 - 9) 溝手宗昭(1978.3)神経インパルス伝導模型を使用した実習法の改善. 社団法人電子通信学会 1-4
 - 10) 本間三郎(1978.7)運動単位 motor unit. 神経研究の進歩 22, 668-670
 - 11) 本間三郎(1978.9)緊張性振動反射の解析とその応用. 臨床脳波 20, 559-605
 - 12) Homma, S. & Nakajima, S. (1978.9) Statistical analysis of 'locked' motor unit spikes in the

- stretch reflex. Integrative Control Functions of the Brain 1, 172-173
- 13) 本間三郎, 丸山佳子, 野口哲夫, 鈴木秀次(1978.9)伸張反射による運動単位発射の制御. 日本生理誌 40, 258-259
 - 14) 本間三郎, 中島祥夫(1978.9)ガンマ運動神経刺激による錘内筋収縮と筋紡錘発射. 日本生理誌 40, 296-297
 - 15) 本間三郎(1978.10)運動における筋紡錘の役割. 新体育 48, 867-871
 - 16) 本間三郎(1978)医学教育における問答法演習の採点評価. 日本科学教育学会年会論文集 75-76
 - 17) 本間三郎(1978)感覚器. 運動療法 218-224
 - 18)* Watanabe, S. & Hirayama, K. (1976) Alpha-Gamma Linkage in Man during Varied Contraction. Progress in Brain Research 44, 339-351
- 千葉大学医学部第二生理学教室**
- 1) 本田良行(1978.1)血液ガスと呼吸(13)換気の定量的評価. 呼吸と循環 26(1), 48
 - 2) Nishino, T., Higeta, T. & Honda, Y. (1978.3) The effect of hypoxia on posthyperventilation breathing. Amer. J. Med. Sci. 275, 137-144
 - 3) Nishino, T., Mokashi, A. & Lahiri, S. (1978.4) Dependence of inspiratory P_{aCO_2} threshold on respiratory proprioceptive reflexes. Fed. Proc. 37(3), 532
 - 4) 橋爪一光, 長尾啓一, 齊藤康栄, 栗山喬之, 梶田隆, 滝沢弘隆, 渡辺昌平, 本田良行(1978.3)呼吸調節にかんする臨床的研究(第Ⅶ報)呼吸器疾患における末梢および中枢化学受容器感受性の定量的評価. 日胸疾会誌 16(増刊), 48
 - 5) 本田良行, 橋爪一光, 渡辺昌平, 里村洋一(1978.3) Withdrawal による末梢化学感受性テストの基礎的検討. 日胸疾会誌 16(増刊), 123
 - 6) 本田良行(1978.3) Acid-Base Balance. 臨床呼吸器病講座 1, 165-183
 - 7) 本田良行(1978.5)血液ガスの測定に関する注意と酸塩基平衡の解釈に関する話題. 臨床麻酔 2, 348-351
 - 8) 本田良行(1978.6)呼吸中枢刺激剤. 呼吸器疾患の治療剤(薬剤講座) 3, 98-104
 - 9) 福田康一郎(1978.7)呼吸の化学的調節における延髄の役割—中枢化学(H^+)感受機構について—. 臨床生理 8, 287-296
 - 10) 橋爪一光, 渡辺昌平, 本田良行(1978.7)頸動脈体摘出患者の呼吸調節. 臨床生理 8, 304-313
 - 11) Miyamura, M. & Honda, Y. (1978.7) CO_2 dissociation curves of oxygenated whole blood obtained at rest and in exercise. Eur. J. Appl. Physiol. 39, 37-45
 - 12) 本田良行(1978.8)酸塩基平衡の基礎知識. ICU と CCU 2, 625-639
 - 13) 福田康一郎(1978.8)呼吸の中枢性化学調節: 延髄の化学(H^+)感受性機構について. 千葉医学雑誌 54, 131-140
 - 14) 本田良行(1978.8) Task force on bilateral Carotid body resection, 呼吸と循環 26(8), 771
 - 15) 本田良行, 秋山節子(1978.9)頸動脈体摘出患者で見られた運動負荷に対する換気応答の減退. 日本生理誌 40(8,9), 339
 - 16) Honda, Y. & Severinghaus, J. W. (1978.9) Decreased exercise hyperpnea in patients with bilateral carotid chemoreceptor resection. Symposium: Modeling of a biological control system, The regulation of breathing 120
 - 17) 福田康一郎, 本田良行(1978.9)延髄表層脳切片の呼吸感受性部における H^+ の電気活動におよぼす影響. 日本生理誌 40(8,9), 339-340
 - 18) Honda, Y., Hata, N., Sakakibara, Y. & Akiyama, S. (1978.9) A quantitative evaluation of hypoxic drive in ventilation from the peripheral chemoreceptors. Integrative control function of the brain 1, 260-262
 - 19) 本田良行(1978.9)血液ガスと呼吸(14)高山における呼吸とCSFpHとの関係. 呼吸と循環 26, 878-879
 - 20) Fukuda, Y., Honda, Y., Schläfke, M. E. & Loeschcke, H. H. (1978.11) Effect of H^+ on the membrane potential of silent cells in the ventral and dorsal surface layers of the rat medulla in vitro. Pflüg Arch. 376, 229-235
 - 21) Sakakibara, Y. ((1978.12) Localization of CO_2 sensor related to the inhibition of the bullfrog respiration. Jap. J. Physiol. 28, 721-735
 - 22) 宮村実晴, 松井秀治, 本田良行(1978.12)心拍出量測定における CO_2 再呼吸法と直接 Fick 法との比較. 臨床生理 8, 582-590
 - 23) 宮村実晴, 松井秀治, 本間良行(1978.12)安静時と運動時における CO_2 解離曲線の比較— CO_2 解離曲線からみた心拍出量測定法としての CO_2 再呼吸法の検討—. 臨床生理 8, 591-596
- 千葉大学医学部脳機能研究施設神経薬理研究部**
- 1) 萩原彌四郎(1978.3)麻酔・催眠・鎮静薬, 浦口健二, 上野芳夫, 粕谷 豊, 北川晴雄, 酒井文徳(編). トキシコロジー毒理学の基本的問題点とその実際 245-254
 - 2) Hasegawa, S., Gono, T. & Kuromi, H. (1978.3) Isolation of neurotrophic peptide(s) from mouse spinal cord. Jap. J. Pharmacol. 28, 111
 - 3) Kuromi, H. (1978.10) Development of sympathetic nerve-muscle transmission in chick. Europ. J. Pharmacol. 51, 285-289
 - 4) 五ノ井 透, 黒見 坦, 長谷川修司, 萩原彌四郎(1978.10)器官培養平滑筋におけるムスカリン様 Ach および NA 反応性の動態. 神経化学 17, 141-144
 - 5) Hasegawa, S. & Kuromi, H. (1978.11) Ventral part of spinal cord contains the neurotrophic

factor for the action potential of cultured muscle. Brain Research. **157**, 153-157

- 6) 長谷川修司(1978.11)酵素の一般的性質, 酵素反応の動力学, 酵素活性の調節. ハーパー著, 三浦義彰監訳: ハーパー・生化学原書16版 49-95
- 埼玉医科大学第一生理学教室**
- 1) Uyemura, K., Suzuki, M. & Kitamura, K.(1978. 7) Studies on myelin proteins in human peripheral nerve. Adv. Exp. Med. Biol. **100**, 95-115
 - 2) Yamaoka, S. (1978.7) The modification of circadian sleep rhythm by sex steroids. IBRO NEWS **6**(1), 31
 - 3) Yamaoka, S. (1978.8) Participation of limbic-hypothalamic structures in circadian rhythm of slow wave sleep and paradoxical sleep in the rat. Brain Res. **151**, 255-268
 - 4) Suzuki, M., Kitamura, K. & Uyemura, K.(1978. 8) Purification of myelin proteins in human peripheral nervous system. Neurochem. Res. **3**(5), 667
 - 5) 山岡貞夫(1978.9)睡眠の概日リズム中枢機構におよぼすホルモンおよび脳内アミンの影響. 日本生理誌 **40**(8.9), 350
 - 6) 上原政治, 植村慶一(1978.9)アメリカザリガニの神経性形質膜の [³H] テトロドトキシン結合能および ATP 依存性 Ca⁺⁺ 結合能. 日本生理誌 **40**, 218-219
 - 7) 植村慶一, 堀江賀与子, 北村邦男, 鈴木 勝, 上原政治 (1978.10) 鶏胚末梢神経の ミエリン形成と ミエリン蛋白. 神経化学 **17**, 65-68
 - 8) 北村邦男, 鈴木明美, 植村慶一(1978.10) ウン末梢神経 ミエリン膜糖蛋白の糖ペプチドについて. 神経化学 **17**, 61-64
 - 9) 植村慶一, 堀江賀与子, 鈴木 勝, 北村邦男 (1978.11) 末梢神経組織の糖タンパク質へのグルコースのとり込み. 生化学誌 **50**(9), 1017
 - 10) 山岡貞夫 (1978.11) ラット睡眠リズムにおよぼす連続照明の影響. 日本生気象誌 **15**, 19
 - 11) 上原政治, 植村慶一 (1978.12) アメリカザリガニの神経性形質膜の [³H] テトロドトキシンに対する結合能. 第1回日本分子生物学会講演要旨集 p.18
 - 12) Yamaoka, S., Kawakami, M. & Matsushima, M. (1978) Effect of sex hormones on the circadian rhythm of slow wave and paradoxical sleep in female rats. in "Environmental Endocrinology" (Assenmacher, I. & Farner, D. S., eds.) Springer-Verlag, Berlin. pp.133-136
 - 13) 植村慶一(1978)神経組織の特異蛋白. 神経研究の進歩 **22**, 705-707

埼玉医科大学第二生理学教室

- 1) Hayashi, H., Takada, M. & Arita, A. (1978. 1)

Cadmium-induced decrease in the outer facing skin resistance of a bullfrog (*Rana catesbeiana*). Jpn. J. physiol. **28**, 63-73

- 2) 林 秀生, 堀内噎子, 高田真理, 有田 彰(1978. 3)心筋の生理的活動を制御する要因一特に Cd の効果について一. 吉田常雄編; 文部省科学研究費特定研究「心臓・血管系の基礎研究」(II), 文部省 pp.8-14
- 3) 加藤 漸(1978.1)差動方式による新しい光電脈波計とその理論面および実際面での問題点. 埼玉医大誌 **4**, 213-219
- 4) 堀内噎子, 林 秀生(1978.3)カエル心筋収縮におよぼす Cd 効果の pH 依存性. 医学と生物学 **96**, 125-129
- 5) 有田 彰(1978.2)生体膜の電気的測定法の問題点. 埼玉医大誌 **4**, 492-493
- 6) 高田真理(1978.2)蛙皮能動輸送におよぼす Cd 効果. 埼玉医大誌 **4**, 493
- 7) Hayashi, H. & Takayama, K. (1978.6) Inhibitory effects of cadmium on the release of acetylcholine from cardiac nerve terminals. Jpn. J. Physiol. **28**, 333-345
- 8) Yai, H. (1978.6) Hyperpolarization caused by external high potassium in snail neurons. Jpn. J. Physiol. **28**, 249-263
- 9) Takada, M. & Hayashi, H. (1978.8) Effects of cadmium on the Na, K-ATPase of microsomes obtained from frog skin. Jpn. J. Physiol. **28**, 473-483
- 10) 佐藤 誠, 屋井ヒデ子, 沢田正史, 丸橋寿郎 (1978.8) Dopamine receptors と LSD. 日本生理誌 **40**, 230-231
- 11) 林 秀生, 有田 彰, 高山和恵(1978.8)心臓活動時のインピーダンス変化. 埼玉医大誌. **5**, 151-160
- 12) Takada, M. & Hayashi, H. (1978.9) Distribution of Cd in the cross-section of Cd treated abdominal skin of a bullfrog: Analysis of Cd with an electron probe X-ray microanalyzer. Proc. Japan Acad. **54B**, 369-374
- 13) Takada, M. & Hayashi, H. (1978.9) Dermal and epidermal Cd effects on the frog skin and its isolated epidermis. J. Physiol. Soc. Japan. **40**. 214
- 14) 高田真理, 林 秀生, 中村裕昭, 渡部智美 (1978. 8)カドミウム処理蛙皮内のカドミウム分布. 埼玉医大誌 **5**, 135-142

城西歯科大学口腔生理学講座

- 1) Hosoi, K., Aoyama, K. & Ueha, T. (1978.1) Regulation of the secretory process of granular components from the convoluted tubular cells of the mouse submandibular gland. J. Dent. Res.. **57**, 87-90
- 2) 細井和雄, 小林志津子, 上羽隆夫(1978.3)マウス顎下腺の glutamine-6-phosphate synthetase に

- みられる性差と androgen dependent-inhibitor の存在. 歯科基礎医学会誌. **20**, 164-165
- 3) 上羽隆夫(1978.5) 唾液分泌の生理—特に唾液腺の水分および電解質イオンの分泌機構について—. 歯界展望 **51**, 1347-1355
 - 4) 熱海智子, 上羽隆夫 (1978.6) ヒト唾液の硝酸還元作用について. (4) *Veillonella* の硝酸還元作用に対する口腔内微生物の相互作用. 城西歯科大学紀要 **7**, 33-38
 - 5) 小林志津子, 細井和雄, 上羽隆夫(1978.6) Affinity chromatography による glutamine fructose-6-phosphate aminotransferase の分離精製. 城西歯科大学紀要 **7**, 27-32
 - 6) 上羽隆夫(1978.7) 唾液の性状と齲蝕. 歯界展望 **52**, 133-142
 - 7) Hosoi, K., Aoyama, K., Tomomura, A. & Ueha, T. (1978.8) Effect of autonomic agents on the amount of androgen-dependent granules in convoluted tubular cells of the mouse submandibular gland. *Can. J. Physiol. Pharmacol.* **56**, 634-641
 - 8) 細井和雄, 小林志津子, 上羽隆夫(1978.9) 唾液腺 N-acetyl β -glucosaminidase 活性の hormone による影響. 日本生理誌 **40**, 347-348
 - 9) 細井和雄, 小林志津子, 上羽隆夫(1978.9) Glutamine fructose-6-phosphate aminotransferase の p-CMB Sepharose column による affinity chromatography. 生化学 **50**, 710
 - 10) 熱海智子, 上羽隆夫 (1978.10) ヒト唾液中の亜硝酸イオンについて. (Ⅲ) *St. salivarius* による *Veillonella* の硝酸還元作用の影響. 口腔衛生学会雑誌 **28**, 434
 - 11) Hosoi, K., Kobayashi, S. & Ueha, T. (1978.10) Sex difference in L-glutamine D-fructose-6-phosphate aminotransferase activity of mouse submandibular gland. *Biochim. Biophys. Acta* **543**, 283-292
 - 12) Hosoi, K., Kobayashi, S. & Ueha, T. (1978.10) Influence of androgens on β -glucuronidase activity in liver, kidney and submandibular salivary gland of the mouse. *Arch. Oral Biol.* **23**, 905-909
 - 13) Hosoi, K., Kobayashi, S. & Ueha, T. (1978.12) Affinity adsorption of L-glutamine D-fructose-6-phosphate aminotransferase to Sepharose coupled with p-chloromercuribenzoate. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* **85**, 558-563
- 医大誌 **3**, 105
- 3) 藤野和宏, 佐藤義昭, 有馬利昭, 高井秀昭(1978) カエル縫い筋における 'hypertonicity effect' と有機酸イオンの contracture 惹起作用. 日本生理誌 **40**, 299
 - 4) 藤野和宏, 佐藤義昭, 有馬利昭, 高井秀昭(1978) カエル縫い筋における 'hypertonicity effect' と triadic junction sarcoplasmic reticulum 系の態度. 日本生理誌 **40**, 299

防衛医科大学校第二生理学教室

- 1) 森 順子, 福田健夫(1978.3) ラット淡蒼球における単位放電の特性と薬物の影響. 防医大誌 **2**(4), 202-208
- 2) 寺本 英, 新田 克, 芦田 廣, 共訳 (1978.6) N. S. Goel, N. Richter-Dyn 著「生物学における確率過程の理論」数理解析とその周辺22. 東京産業図書出版 1-294
- 3) Ashida, H., Nagaoka, S. & Sogami, M. (1978.8) Time-resolved pulse fluorometric studies on the conformational transition of bovine plasma albumin and on the effect of light scattering. *International. Summer School of Biophysics* 141-144
- 4) 森 順子, 辰濃治郎, 柄沢れい子, 堀 信顕 (1978.9) Horseradish peroxidase (HRP) の脳内局投与について. 日本生理誌 **40**(8,9)200
- 5) 辰濃治郎, 森 順子, 柄沢れい子(1978.9) アルファプロッキング回復過程のアルファ活動の一過性増大(第3報). 日本生理誌 **40**(8,9)264-265
- 6) 芦田 廣(1978.9) Switching Effect in Prey-Predator System. *J. theor. Biol.* **70**. 263-271
- 7) Tatsuno, J., Karasawa, R. & Mori, J. (1978.10) Some Characteristics of Transient Amplitude Augmentation of Alpha Activities in Recovery from Alpha Blocking. 防医大誌 **3**(2), 97-104
- 8) 辰濃治郎 (1978.11) 二重閃光刺激とアルファプロッキング曲線(第二報). 第8回日本脳波筋電図学術大会予稿集 154

順天堂大学医学部生理学第一講座

- 1) Onodera, K. & Takeuchi, A. (1978) Effects of membrane potential and temperature on the excitatory post-synaptic current in the crayfish muscle. *J. Physiol.* **276**, 183-192
 - 2) Takeuchi, N. & Takikawa, Y. (1978) The mechanism of the facilitatory effect of lithium ions on synaptic transmission. *Neurosci. Suppl.* **6**, 4
 - 3) 小野寺加代子 (1978) 特集・新しい Neurotransmitter - 基礎と臨床. 基礎: アミノ酸グループ. トランスミッターとしてのアミノ酸 (グルタミン酸・アスパラギン酸). 日本臨床 **36**(1), 39-44
 - 4) 竹内 昭(1978) シナプス電位一発生の分子機構. 神経進歩 **22**, 658-659
- 防衛医科大学校第一生理学教室
- 1) Sato, Y., Takai, H., Arima, T. & Fujino, M. (1978) Preliminary report on application of voltage clamp technique to frog skeletal muscle fibers. *J. Natl. Def. Med. Coll.* **2**, 228
 - 2) 佐藤義昭, 藤野和宏, 高井秀昭, 有馬利昭(1978) 蛙 toe muscle の高滲透圧に対する張力応答. 防

- 5) 竹内宣子, 滝川順子(1978)シナプス伝達に対するリチウムイオンの作用機序. 第一回神経科学学会集會
- 6) 竹内 昭, 小野寺加代子(1978)ザリガニ筋における抑制シナプス電流とその時間経過. 第55回日本生理学会, 日本生理誌 **40**, 228
- 7) 竹内宣子, 滝川順子(1978)神経筋接合部に対するRbイオンの効果. 第55回日本生理学会, 日本生理誌 **40**, 228
- 8) Takeuchi, A. (1978) Kinetics of GABA action at the crayfish neuromuscular junction. 7th International Congress of Pharmacol. (Paris) 797
- 順天堂大学医学部生理学第二講座**
- 1) 小林健二, 奥山博司, 加藤高昭, 安田 力(1978.1)カテーテル先端型血圧計への光ファイバーの応用に関する研究. 医用電子と生体工学 **15**, 465-472
- 2) 山田和廣(1978.1) Workshop conference-muscle energetics に出席して. 生体の科学 **28**, 72-74
- 3) 樺沢一之(1978.1)計量診断, B意志決定の理論・ベイズ定理・尤度法², 逐次問診における応用. 最新医学 **33**, 22-23
- 4) Mashima, H. (1978.1) Dynamics of contraction with special reference to calcium. Recent Advances in Studies on Cardiac Structure and Metabolism **11**, 149-157
- 5) Mashima, H. (1978.2) Mechanical properties of the guinea pig taenia coli. Jap. J. Smooth Muscle Res. **14** Suppl, 39-40
- 6) 真島英信(1978.2)医学大辞典, 第16版(分担執筆), 南山堂, 東京
- 7) 真島英信(1978.3)摘出心筋の強縮とその収縮力学. 心臓血管系の基礎研究 **III**, 1-6
- 8) 真島英信, 額田 繁, 三輪哲郎, 吉岡守正(1978.3)期待される医学教育(司会: 牛場大蔵). 大学時報 **27**, 10-30
- 9) 樺沢一之(1978.4)ICUにおけるコンピュータを使った患者管理. ICUとCCU **2**, 293-299
- 10) 真島英信, 西江 弘(1978.6)ME事典, 日本エム・イー学会編(分担執筆). コロナ社, 東京
- 11) 真島英信(1978.7)筋と電気. 電気学会雑誌 **98**, 615-619
- 12) 柳原 隆, 小林健二, 安田 力, 奥山博司, 真島英信(1978.7)動脈中の脳波伝搬の実験的解析. 医用電子と生体工学 **16**特別号, 28
- 13) 江原義郎, 真島英信, 市川銀一郎(1978.7)聴性誘発反応分析法の検討. 医用電子と生体工学 **16**特別号, 154
- 14) 樺沢一之, 開原成允, 平松啓二(1978.7)心疾患患者後推定に関する一考察. 医用電子と生体工学 **16**特別号, 246
- 15) 坂橋隆嗣, 市川銀一郎, 西田正則, 未統義幸, 江原義郎(1978.7)頭頂部緩反応(SVR)のコンピュータ解析, 一幼小児について. Audiology Japan **21**, 157-162
- 16) 真島英信(1978.7)モルモット結腸紐の収縮機構. 第20回日本平滑筋学会総会講演抄録集 **64**
- 17) 真島英信(1978.7)カリキュラム. 医学教育白書(医学教育, 別刷) 33-39
- 18) Yamada, K. (1978.8) The enthalpy titration of troponin C with calcium. Biochim. Biophys. Acta **535**, 342-347
- 19) 真島英信, 岡田隆夫(1978.9)モルモット結腸筋の長さ, 張力, 速度関係. 日本生理誌 **40**(8,9), 304
- 20) 西江 弘, 奥山博司(1978.9)心筋ネクサス膜の格子構造変化と細胞間脱接合. 日本生理誌 **40**(8,9), 309
- 21) 橋本敬太郎, 大地陸男, 橋本虎六, 乾 淳, 三浦洋治(1978.9) Authopleurin-A (AP-A) 日本生理誌 **40**(8,9), 311
- 22) Nishiye, H. & Mashima, H. (1978.9) Structural change of cardiac nexus membrane with Ca ions in relation to intercellular uncoupling. VIth International Biophysics Congress Abstracts 131
- 23) Ochi, R.(1978.9)Chlorotetracycline fluorescence monitoring membrane bound Ca in cardiac muscle. VIth International Biophysics Congress Abstracts 160
- 24) Mashima, H. (1978.9) Force-velocity relation in tetanized cardiac muscle. Symposium on the current problems of sliding filament model and muscle mechanics. Abstracts 28
- 25) Ochi, R., Hashimoto, K., Miura, Y., Inui, J. & Hashimoto, K. (1978.9) Effect of anthopleurin-A isolated from sea anemone on membrane current of mammalian cardiac muscle. VIII World Congress of Cardiology Abstracts I 439
- 26) 真島英信(1978.9)神経科学講座, 第5巻(分担執筆), 骨格筋の収縮力学(化学力学モデル) p.61-94 理工学社, 東京
- 27) 真島英信(1978.9)生理学第17版. 文光堂, 東京
- 28) 赤沢堅造, 藤井克彦, 真島英信(1978.9)心筋収縮機構の数学モデル. 医用電子と生体工学 **16**, 324-330
- 29) 大地陸男(1978.10)心筋の voltage clamp 法. 呼吸と循環 **26**, 975-980
- 30) Kabasawa, K. & Kaihara, S. (1978.10) A diagnostic theory for medical question. International Symposium on Medical Information System MEDIS' **78**, 35-36
- 31) 未統義幸, 河村正三, 市川銀一郎, 西田正剛, 坂橋隆嗣, 三谷真理子, 江原義郎(1978.10)パワースペクトルからみた頭頂部緩反応の恒常性, 一幼小児について. Audiology Japan **21**, 539-540
- 32) 坂橋隆嗣, 河村正三, 市川銀一郎, 未統義幸, 西田正剛, 庄司治子, 江原義郎(1978.10)白色雑音負荷によるSVRの安定性. Audiology Japan **21**,

547-548

- 33) 真島英信, 植村研一, 岩渕 勉 (1978.10) 北米の医学教育の現状について. 医学教育 **9**, 334-340
- 34) 真島英信 (1978.10) 学生のモチベーションを高める方法. 医学教育 **9**, 258-263
- 35) Ochi, R. & Hino, N. (1978.12) Depression of slow inward current by acetylcholine in mammalian ventricular muscle. Proc. Japan Acad. **54**, 474-477

昭和大学医学部第一生理学教室

- 1) 武重千冬 (1978.1) 中枢刺激による鎮痛と内因性モルヒネ様物質. 医学のあゆみ **104**, 243
- 2) 岡 潔, 鎌田康夫, 武重千冬 (1978.1) 針麻酔と中脳中心灰白質との関係. 脳波と筋電図 **6**, 17
- 3) 原 太平, 羅 昌平, 武重千冬 (1978.1) 動物催眠と深部脳波 θ 成分との関係. 脳波と筋電図 **6**, 66
- 4) 武重千冬 (1978.2) 針麻酔の機構について. 東洋医学 **68**, 4-5
- 5) 岡 潔, 久光 正, 鎌田康夫, 武重千冬 (1978.4) 針刺激によって反応する中脳ニューロン活動と naloxone の作用. 日本生理誌 **40**, 243
- 6) 羅 昌平, 田中正明, 佐藤孝雄, 武重千冬 (1978.4) 針刺激の鎮痛効果と尾状核, 視床 との関係. 日本生理誌 **40**, 244-245
- 7) 岡 潔, 鎌田康夫, 武重千冬 (1978.5) ハリ麻酔の作用機序. 医学のあゆみ **105**, 595-603
- 8) 鎌田康夫 (1978.6) 無麻酔, 無拘束動物の脳幹単一ニューロン放電の記録. 昭医誌 **37**, 223-228
- 9) 鎌田康夫, 武重千冬 (1978.6) 針刺激, 仰臥位, 耳介の強圧およびモルヒネに共通に反応する無麻酔, 無拘束ウサギの中脳中心部ニューロン活動. 昭医誌 **38**, 305-314
- 10) Takeshige, C., Kamada, Y. & Oka, K. (1978.7) The relationship between midbrain neurons (Periaqueduct central gray and midbrain reticular formation) and acupuncture analgesia or animal hypnosis. Neuroscience Vol. **6**, 28
- 11) Takeshige, C., Kamada, Y., Oka, K. & Hisamitsu, T. (1978.8) The relationship between midbrain neurons (Periaqueduct central gray and midbrain reticular formation) and acupuncture analgesia, animal hypnosis. Second World Congress on Pain Vol. **1**, 156
- 12) 村居真琴, 田中正明, 蜂須 貢, 岡 潔, 武重千冬 (1978.10) 針鎮痛の有効性の個体差と内因性モルヒネ様物質との関係. 神経化学 **17**, 157-160
- 13) 原 太平, 武重千冬 (1978.10) 周波数分析した動物催眠脳波の特性. 昭医誌 **38**, 489-495
- 14) 原 太平, 武重千冬 (1978.10) 動物催眠に対する Parachlorophenylalanine. 昭医誌 **38**, 497-499

昭和大学医学部第二生理学教室

- 1)* 大内みち子, 市河三太, 工藤順康 (1977.12) 胆汁排出よりみたモルモット胆管末梢部の態度につい

て. 昭医誌 **37**, 555-561

- 2) Ichikawa, S. & Sakai, Y. (1978.2) Effects of Phospholipase C on contraction in stomach muscle. Jap. J. Smooth Muscle Res. **14** Suppl, 5
- 3) 吉田正英 (1978.2) 胆のうの収縮に関する基礎的研究. 昭医誌 **38**, 11-21
- 4) 坂井 泰, 佐藤貞之, 市河三太 (1978.4) モルモット胃幽門部縦走筋におよぼす Phospholipase C の影響. 一細胞分画の酵素活性および Ca-uptake について. 日本生理誌 **40**, 307
- 5) 佐藤貞之, 浅岡宏康, 吉田正英, 坂井 泰 (1978.4) 磷脂質分解酵素によるウサギ心房の電気現象の変化. 日本生理誌 **40**, 312
- 6) Ono, T., Nishino, H., Sasaka, N., Muramoto, K., Yano, I. & Simpson, A. (1978) Paraventricular nucleus connections to spinal cord and pituitary. Neuroscience Letters **10**, 141-146
- 7) Aihara, Y., Nakamura, H. & Simpson, A. (1978) Relations between various fiber groups of vagal and splanchnic nerves and gastric motility in rats. Neuroscience Letters **10**, 281-286
- 8) 大内みち子, 市河三太 (1978.8) モルモット末梢部の活動. 第20回日本平滑筋学会総会講演抄録集 **38**
- 9) Ichikawa, S. (1978.10) Effect of Phospholipase C on guinea pig stomach muscle. 大韓生化学会第30回学術大会抄録集 **1**

昭和大学歯学部口腔生理学教室

- 1) 松本政雄, 半場道子, 鶴岡正吉 (1978.3) 神経線維の振舞と興奮性膜の反応に関する model 実験. 日本生理誌 **40**, 65-66
- 2) 鶴岡正吉, 半場道子 (1978.7) 神経の positive after potential の成因について. 日本生理誌 **40**, 170-171
- 3) 松井愛子, 松井洋一郎 (1978.9) 骨格筋線維の脱分極および過分極状態と活動電位の overshoot の関係について. 日本生理誌 **40**, 217
- 4) 松本政雄, 半場道子, 鶴岡正吉 (1978.9) 神経線維の2重分極論について. 日本生理誌 **40**, 226-227
- 5) 半場道子, 鶴岡正吉 (1978.9) 口腔内粘膜の電気的性質に関する研究 (1) 口腔内粘膜の等価回路について. 第20回歯科基礎医学会学術大会予報抄録集 **68**
- 6) 松本政雄, 半場道子, 鶴岡正吉 (1978.11) 神経線維の2重分極論(2) (神経線維の活動電位の経過に関する新説). 日本生理誌 **40**, 427

杏林大学医学部第一生理学教室

- 1)* Watanabe, S., Hirai, N., Ito, M. & Nakamura, M. (1977.9) Self-sustained rhythm observed at the cat vermicular cortex triggered by a brief facial touch. Electroenceph. clin. Neurophysiol. **43**, 494
- 2) 渡部士郎 (1978.1) 大脳の左右差と運動制御. (特

- 集：右脳教育の開発—左右脳の非対称性から）新体育 **48**(1), 36-41
- 3) Watanabe, S., Uchino, Y., Suzuki, S. & Homma, S. (1978.4) Thalamic response and discharge pattern during and after noxious stimulation of the cat trigeminal area. *J. Physiol. Soc. Jap.* **40**, 235-236
 - 4) Watanabe, S., Okai, O., Hirai, N. & Uchino, Y. (1978.9) Mechanical simulation of recovery intervals of the spike train of the cat thalamus. Sixth International Biophysics Congress Abstracts. Kyoto, Japan 371
 - 5) 岡井 治, 福岡正和, 樋口雄三, 竹宮 隆, 伊藤寛志, 長嶋長節(1978.2)組織血流とその酸素利用率から推定した毛細血管血流分配比. 循環器科 **4**, 510-511
 - 6) 岡井 治, 福岡正和, 伊藤寛志, 渡辺 瞭, 斎藤正男(1978.4)心拍数と他の循環パラメータ. 日本生理誌 **40**, 419
 - 7) 岡井 治, 池田研二, 渡辺 瞭, 斎藤正男, 多気昌生, 望月篤子(1978.5)超低周波音の人体への影響. 日本人間工学論文集 55-56
 - 8) 岡井 治, 福岡正和, 伊藤寛志, 渡辺 瞭, 斎藤正男(1978.5)心拍数のモデル. 信学技報 MBE **78**(7), 23-27
 - 9) 岡井 治(1978.5)大動脈壁の粘性と弾性. バイオレオロジー予稿集 D-3
 - 10) 岡井 治, 渡辺 瞭, 斎藤正男, 福岡正和, 伊藤寛志(1978.7)循環系の複合モデル. 日本エム・イー大会論文集 14
 - 11) 岡井 治, 多気昌生, 望月篤子, 斎藤正男, 西脇仁一, 森 卓二, 藤尾 昇(1978.7)低周波空気振動の生体におよぼす影響についての実験的検討. 信学技報 MBE **78**(15), 1-6
 - 12) Okai, O. & Hori, M. (1978.9) Relation of heart rate to other circulatory variables. VIII World Congress of Cardiology Abstract 1, 398
 - 13) 岡井 治, 斎藤正男, 多気昌生, 望月篤子, 西脇仁一, 森 卓二, 藤尾 昇(1978.10)低周波音による人体反応. 日本騒音制御工学会講演論文集 129-130
 - 14) 岡井 治, 福岡正和, 伊藤寛志, 長嶋長節(1978.10)酸素利用率を用いた機能的毛細血管血流の検討. 脈管学 **18**, 814
 - 15) 岡井 治, 多気昌生, 望月篤子, 斎藤正男, 西脇仁一, 森 卓二, 藤尾 昇(1978.10)人体における低周波音の反応に関する研究. 自律神経学会予稿集 70
 - 16) Okai, O., Saito, M., Taki, M., Mochizuki, A., Nishiwaki, N., Mori, T. & Fujio, N. (1978.11) Body response to infrasound. *Acoust. Soc. Am.* **64**, S 128
 - 17) 岡井 治(1978.2)低周波音による生理的影響. 公害と対策 **14**(2), 139-143
 - 18) Uchino, Y., Wilson, V. J., Susswein, A. & Rapoport, S. (1978.1)頸部伸筋運動細胞にシナプス結合する興奮性・抑制性前庭脊髄路細胞の性質について. 脳波と筋電図 **6**, 18
 - 19) 内野善生(1978.3)前庭脊髄路の新知見. 日本生理誌 **40**, 67
 - 20) 内野善生(1978.3)耳石器入力の特異性について. 日本生理誌 **40**, 67
 - 21) Wilson, V. J., Gacek, R. R., Uchino, Y. & Susswein, A. J. (1978.3) Properties of central vestibular neurons fired by stimulation of the saccular nerve. *Brain Research* **143**, 251-261
 - 22) Ezure, K., Sasaki, S., Uchino, Y. & Wilson, V. J. (1978.3) Frequency-response analysis of vestibular-induced neck reflex in cat II. Functional significance of cervical afferents. *J. Neurophysiol.* **41**, 459-471
 - 23) 内野善生(1978.9)室頂核-脊髄路ニューロンの新事実とその生理学的性質. 杏林医学会雑誌 **9**, 195-204
 - 24) 内野善生(1978.9)室頂-脊髄路細胞の性質について. 日本生理誌 **40**, 238
 - 25) Wilson, V. J., Uchino, Y., Maunz, R. A., Susswein, A. & Fukushima, K. (1978.10) Properties and connections of cat fastigiopinal neurons. *Exp. Brain Res.* **32**, 1-17
 - 26) Uchino, Y., Hirai, N. & Watanabe, S. (1978.10) Vestibulo-ocular reflex from the posterior canal nerve to extraocular motoneurons in the cat. *Exp. Brain Res.* **32**, 377-388
 - 27) 内野善生(1978.11)眼球運動と頸部運動. 臨床生理 **8**, 538-542
 - 28) 鈴木秀次(1978.12)筋心性活動で起こる筋収縮後の運動ニューロン放電. 杏林医学会雑誌 **9**, 241-247

杏林大学医学部第二生理学教室

- 1) 竹宮 隆(1978.1)持久性運動の微小循環機構について. 体育の科学 **28**(1), 15-21
- 2) 樋口雄三, 竹宮 隆, 長嶋長節, 松倉博子, 岡井治, 福岡正和, 伊藤寛志(1978.3)ウサギ後肢筋の反応性充血. 杏林医会誌 **9**(1), 57
- 3) 山越憲一, 島津秀昭, 庄司孝雄, 戸川達男, 福岡正和, 伊藤寛志, 析久保修, 鳥井嘉彦, 植田和夫(1978.4)容積補償法による間接的動脈血圧連続測定装置. 日本医科器械学会誌 **48**(4), 175-176
- 4) 島津秀昭, 山越憲一, 戸川達男, 福岡正和, 伊藤寛志(1978.4)体肢血流連続自動計測装置の臨床応用と評価. 日本医科器械学会誌 **48**(4), 175-176
- 5) 岡井 治, 福岡正和, 伊藤寛志, 渡辺 瞭, 斎藤正男(1978.5)心拍数のモデル. 信学技報 MBE **78**(7), 23-27
- 6) 伊藤寛志(1978.5)ME事典(日本エムイー学会編)コロナ社.

- 7) 竹宮 隆, 樋口雄三, 松倉博子, 司茂幸英, 邱和美, 長嶋長節(1978.6)筋活動にともなう微小循環反応および plasma osmolality の増大について. 杏林医会誌 **9**(2), 97-105
- 8) 竹宮 隆, 樋口雄三, 長嶋長節(1978.6)筋活動の持続に伴う末梢組織の微小循環反応について. 体力科学 **27**(2), 88-89
- 9) 伊藤寛志, 片桐鎮夫(1978.6)図解臨床生理検査の実技(第2版), 医学書院
- 10) 岡井 治, 渡辺 瞭, 斎藤正男, 福岡正和, 伊藤寛志(1978.7)循環系の複合モデル. 医用電子と生体工学 **16**(特別号), 14
- 11) 福岡正和, 山越憲一, 島津秀昭, 戸川達男, 伊藤寛志, 須磨幸蔵, 辻 隆之, 山崎善弥(1978.7)四肢血流量連続自動計測装置の臨床応用とその評価. 医用電子と生体工学 **16**(特別号), 214
- 12) 島津秀昭, 山越憲一, 戸川達男, 伊藤寛志, 藤崎諒達(1978.7)アドミッタンスプレチスモグラフィによる四肢血流量の自動計測装置. 医用電子と生体工学 **16**(特別号), 215
- 13) 山越憲一, 島津秀昭, 戸川達男, 庄司孝雄, 土屋喜一, 福岡正和, 伊藤寛志, 栃久保修, 鳥井嘉彦, 植田和夫(1978.7)容量補償法による指動脈血圧連続測定法. 医用電子と生体工学 **16**(特別号), 216
- 14) 竹宮 隆(1978.8)基礎医学系生理学教育の動機づけ. 医学教育 **9**(4), 207-209
- 15) 伊藤寛志(1978.8)適応と順化. 保健の科学 **20**(8), 524-529
- 16) 山越憲一, 島津秀昭, 戸川達男, 伊藤寛志(1978.8)アドミッタンスプレチスモグラフィによる体肢血流量測定法—測定理論の精度と検討—. 医用電子と生体工学 **16**(4), 251-258
- 17) Ito, H., Yamakoshi, K., Shimazu, H., Togawa, T. & Fukuoka, M. (1978.9) Venous compliance measurement by admittance plethysmography. Proc. 3rd. Intern. Congr. Biomed. Imped.
- 18) 島津秀昭, 山越憲一, 庄司孝雄, 神谷 瞭, 戸川達男, 栃久保修, 福岡正和, 伊藤寛志, 鳥井嘉彦, 植田和夫(1978.9)間接的指動脈血圧連続測定法. 脈管学 **18**(6), 797
- 19) 岡井 治, 福岡正和, 伊藤寛志, 長嶋長節(1978.9)酸素利用率を用いた機能的毛細管血流の検討. 脈管学 **18**(6), 814
- 20) 樋口雄三, 竹宮 隆, 長嶋長節(1978.9)大腿動脈および腹部大動脈閉鎖による venous Hct の変動について. 脈管学 **18**(6), 818
- 21) 竹宮 隆, 樋口雄三, 長嶋長節(1978.9)筋微小循環系 venous hematocrit の norepinephrine による減少応答について. 杏林医会誌 **9**(3), 183-189
- 22) Okai, O., Fukuoka, M., Ito, H., Watanabe, A., & Saito, M. (1978.9) Relation of heart rate to other circulatory variables. J. Physiol. Soc. Japan **40**(8,9), 324-325
- 23) Takemiya, T., Higuchi, Y., Matsukura, H., Nagashima, Ch. & Ito, H. (1978.9) Changes of venous hematocrit and total protein during reactive and ischemic contraction hyperemia of rabbit hindlimbs. J. Physiol. Soc. Japan **40**(8,9), 327
- 24) 岡井 治, 福岡正和, 樋口雄三, 竹宮 隆, 伊藤寛志, 長嶋長節(1978.12)組織血流とその酸素利用率から推定した毛細管血流分配比. 循環器科 **4**(6), 510-511
- 25) 竹宮 隆, 樋口雄三, 長嶋長節(1978.12)骨格筋の収縮活動にともなう Hct, Protein, Osmolality の変動について. 循環器科 **4**(6), 511
- 26) Yamakoshi, K., Shimazu, H., Togawa, T. & Ito, H. (1978.12) Admittance plethysmography for accurate measurement of human limb blood flow. Am. J. Physiol. **235**(6), H821-H829

慶応義塾大学医学部生理学教室

- 1) Murakami, M. & Shimoda, Y. (1978.3) Intracellular double staining : localization of recording site in single retinal neurons. Brain Res. **144**, 164-168
- 2) Kaneko, A., Tachibana, M. & Famiglietti, E. V. Jr.(1978.4) Rod and cone convergence to carp bipolar cells. in Integrative Control Functions of the Brain(Eds. M. Ito, et al.)Kodansha Scientific, Tokyo 82-84
- 3) Famiglietti, E. V. Jr., Kaneko, A. & Tachibana, M. (1978.4) Rod and cone pathways in carp retina Association for Research in Vision and Ophthalmology 50th Annual Meeting. Program Abstracts 110
- 4) 金子章道, 立花政夫(1978.9)網膜における On 経路と Off 経路の形態学的同定. 日本生理誌 **40**(8,9), 276-277
- 5) 大塚輝弥(1978.9)カメ網膜錐体内節の油滴の機能. 日本生理誌 **40**(8,9), 279
- 6) Tachibana, M.(1978.9)Displaced ganglion cells in carp retina revealed by the horseradish peroxidase technique. Neuroscience Letters **9**, 153-157
- 7) 立花政夫(1978.11)網膜の情報伝達路 I. 杆体経路と錐体経路. 慶応医学 **55**(6), 477-492
- 8) 立花政夫(1978.11)網膜の情報伝達路 II. OFF-経路と ON-経路. 慶応医学 **55**(6), 493-502
- 9) 金子章道(1978.12)脊椎動物網膜の機能構築. 塚田編 神経系の統合機構, 共立出版 52-75
- 10) Olsen, R. W. & Mikoshiba, K.(1978.1) Localization of gamma-aminobutyric acid receptor binding in the mammalian cerebellum : high levels in granule layer and depletion in agranular cerebella of mutant mice. J. Neurochem. **30**, 1633-1636

- 11) 塚田裕三(1978.1)序:新しい Neurotransmitter. 日本臨牀 **36**(1), 2
- 12) Mikoshiba, K. & Changeux, J.-P. (1978.2) Morphological and biochemical studies on isolated molecular and granular layers from bovine cerebellum. *Brain Res.* **142**, 487-504
- 13) 沢 温, 渡辺雅幸, 高坂新一, 須田治彦, 野口鉄也, 塚田裕三(1978.3)テオフィリン投与ラットの脳内アミン代謝と行動変化について. 慶応医学 **55**(2), 159-170
- 14) 塚田裕三, 永井克子, 高坂新一(1978.4)脳発育障害と大脳 2', 3'-cyclic AMP 3'-phosphohydrolase (CNPase) 異常について. 厚生省特定疾患酵素障害調査研究班 昭和52年度研究業績集 93-99
- 15) 野口鉄也(1978.5)脳発育障害モデル. 慶応医学 **55**(3), 191-200
- 16) 塚田裕三(1978.7)記憶と学習の神経化学的研究の現状. 神経研究の進歩 **22**(4), 69-75
- 17) Nagaike, K. & Inoue, T.(1978.8)Purification and chemical properties of the α -amylase isozymes in the crystalline style from *Corbicula japonica*. *Bulletin of Tokyo Gakugei University* **30**, 215-227
- 18) Tsukada, Y. & Suda, H.(1978.8)Purification of 2', 3'-cyclic nucleotide 3'-phosphohydrolase (CNPase) from bovine cerebral white matter. *Proceedings of the European Society for Neurochemistry* **1**, 122
- 19) Akagawa, K. & Tsukada, Y.(1978.8)Presence and characteristics of catecholamine-sensitive Na-K ATPase in rat striatum. *J. Neurochem.* **32**, 269-271
- 20) 松谷天星丸, 塚田裕三(1978.8)脳の発育と加齢. 現代精神医学大系. 中山書店. 神経化学II 神経内分泌学 **21**(B), 149-174
- 21) 塚田裕三(1978.8)記憶と学習の神経化学的研究の進歩. 神経研究の進歩 **22**(5), 115-130
- 22) Jørgensen, O. S. & Mikoshiba, K.(1978.9) The brain-specific proteins D1, D2 and D3 in the cerebellum of *staggerer*, *reeler* and *weaver* mutant mice. *FEBS letters* **93**, 185-188
- 23) Akagawa, K. & Tsukada, Y.(1978.9)Purification of lectin-like protein in developing rat brain. 6th International Biophysics Congress Abstracts 227
- 24) Mikoshiba, K., Nagaike, K., Aoki, E. & Tsukada, Y. (1978.9) Demyelination in the central nervous system of the mutant mice. 6th International Biophysics Congress Abstracts 301
- 25) 赤川公朗, 塚田裕三(1978.9)ラット脳内に存在する lectin 様物質の精製. 生化学 **50**(9), 818
- 26) 高坂新一, 高松 研, 塚田裕三(1978.9)低栄養ラットの脳内トリプトファン代謝について. 生化学 **50**(9), 907
- 27) 御子柴克彦, Changeux, J. -P. (1978.9) 小脳プルキンエ細胞の特異蛋白の生理化学的研究. 日本生理誌 **40**(8,9), 252
- 28) 松谷天星丸, 永吉道子, 田丸政男, 塚田裕三(1978.9)障害の時期を異にした MAM 小頭症ラットの行動と脳内物質の変化. 日本生理誌 **40**(8,9), 272
- 29) 野口鉄也, 高坂新一, 青木エミ子, 塚田裕三(1978.9)ヒドロコルチゾン投与白ネズミの脳発育障害におよぼす成長ホルモンの効果. 日本生理誌 **40**(8,9), 346
- 30) Kohsaka, S., Nagai, K. & Tukada, Y. (1978.10) Correlation between learning ability and monoamine content in the brain of rat and monkey. *Neurochem. Res.* **3**(5), 656-657
- 31) Noguchi, T., Kohsaka, S., Aoki, E. & Tsukada, Y. (1978.10) The effect of bovine growth hormone on the retarded growth in the neonatal hydrocortisone-treated rat. *Neurochem. Res.* **3**(5), 660-661
- 32) Tsukada, Y., Nagai, K. & Suda, H.(1978.10) A new method for the measurement of 2', 3'-cyclic nucleotide 3'-phosphohydrolase (CNPase) by high performance liquid chromatography, and an attempt at partial purification of the enzyme from rat brain. *Neurochem. Res.* **3**(5), 662-663
- 33) Mikoshiba, K. & Changeux, J. -P. (1978.10) Neurochemical studies of Purkinje cell specific protein. *Neurochem. Res.* **3**(5), 667
- 34) Mikoshiba, K. & Changeux, J. -P. (1978.10) Biochemical studies on the cerebellum of neurological mutant mice and on the isolated layers of bovine cerebellum. *Neurochem. Res.* **3**(5), 680
- 35) 須田治彦, 塚田裕三(1978.10)2', 3'-cyclic nucleotide 3'-phosphohydrolase(CNPase) の精製とタンパク化学的特性. 神経化学 **17**, 57
- 36) 長池一博, 塚田裕三(1978.10)培養小脳組織のミエリン形成とタンパク合成. 神経化学 **17**, 69-72
- 37) 御子柴克彦, 長池一博, 青木エミ子, 塚田裕三(1978.10)Quakingマウスにおけるミエリン形成異常の神経化学的研究. 神経化学 **17**, 73-76
- 38) 松谷天星丸, 田丸政男, 永吉道子, 塚田裕三(1978.10)Cytosine arabinoside 投与による実験的小脳症ラットの脳内物質変化と学習能力. 神経化学 **17**, 209-212
- 39) 野口鉄也(1978.10)神経組織のホルモンレセプター(生理). 神経研究の進歩 **22**(6), 78-87
- 40) 御子柴克彦(1978.10)ニコチニック アセチルコリンレセプター. 神経研究の進歩 **22**(6), 7-24
- 41) Tsukada, Y. & Kohsaka, S. (1978.12) Neurochemical correlates of learning disability in experimented rats and postnatal undernouri-

- shed rats. Integrative Control Functions of the Brain (Elsevier/North Holland, Kodansha) 1, 431-433
- 42) 御子柴克彦, 塚田裕三 (1978.12) 小脳の突然変異マウスの蛋白成分の解析—プルキンエ細胞特異蛋白を中心に—. 第1回日本分子生物学会年会講演要旨集 17
- 43) 渡辺雅幸, 野口鉄也, 塚田裕三 (1978.12) θ 抗原の神経化学的研究. 第1回日本分子生物学会年会講演要旨集 17

帝京大学医学部第一生理学教室

- 1) 沖津祥子, 梅北峻一, 小原昭作 (1978) 特殊側線器の受容細胞とそのイオン環境. 日本生理誌 40(7), 171
- 2) 小原昭作 (1978) Voltage clamp 法. 光電レポート 23, 1-16
- 3) 沖津祥子, 梅北峻一, 小原昭作 (1978) 特殊側線器シナプス伝達に対するグルタミン酸の効果と血漿中濃度. 日本生理誌 40(8,9), 230
- 4) 樋口孝城, 小原昭作 (1978) 2次感覚受容器の順応現象における受容細胞および求心神経の関与. 日本生理誌 40(8,9), 297
- 5) Obara, S. & Higuchi, T. (1978) Sensory transduction in the electroreceptor: high sensitivity and adaptation. The 6th Internat. Biophys. Cong. VII-21(C1), 295
- 6) Okitsu, S., Umekita, S. & Obara, S. (1978) Ionic composition of the media across the sensory epithelium in the ampullae of Lorenzini of the marine catfish, *Plotosus*. J. comp. Physiol. 126, 115-121
- 7) 梅北峻一, 沖津祥子, 松本百合枝, 小原昭作 (1978) 特殊側線器の求心性シナプス伝達に対する血漿の二相性効果と血漿成分分画. 神経化学 17, 227-280

帝京大学医学部第二生理学教室

- 1) Sugi, H. & Suzuki, S. (1978.9) The nature of potassium- and acetylcholine-induced contractions in the anterior byssal retractor muscle of *Mytilus edulis*. Comp. Biochem. Physiol. 61(C), 275-279
- 2) Sugi, H. & Suzuki, S. (1978.11) Ultrastructural and physiological studies on the longitudinal body wall muscle of *Dorabella auricularia*: I. Mechanical response and ultrastructure. J. Cell Biol. 79, 454-466
- 3) Suzuki, S. & Sugi, H. (1978.11) Ultrastructural and physiological studies on the longitudinal body wall muscle of *Dorabella auricularia*: II. Localization of intracellular calcium and its translocation during mechanical activity. J. Cell Biol. 79, 467-478
- 4) Sugi, H., Amemiya, Y. & Hashizume, H. (1978.11) Time-resolved X-ray diffraction from frog skeletal muscle during an isotonic twitch under a small load. Proc. Japan Acad. 54(B), 559-564
- 5) Sugi, H., Amemiya, Y. & Hashizume, H. (1978.11) Time-resolved X-ray diffraction from frog skeletal muscle during the course of an after-loaded isotonic twitch. Proc. of the Taniguchi Symposium on X-ray diffraction of biological systems 164-176
- 6) Sugi, H. (1978.9) Electron microscopic and histochemical studies on the localization of intracellular calcium in smooth muscles and its translocation during the contraction-relaxation cycle. Teikyo Med. J. 1, 13-20
- 7) Amemiya, Y., Hashizume, H. & Sugi, H. (1978.11) X-ray diffraction of tetanized frog muscle after a slow stretch and aslow release. Proc. of the Taniguchi Symp. on X-ray diffraction of biological systems 152-163
- 8) Kometani, K. & Sugi, H. (1978.11) Calcium transients in a molluscan smooth muscle. Experientia 34, 1469-1470
- 9) Sugi, H. & Tameyasu, T. (1978.9) The origin of the instantaneous elasticity in frog muscle fibres. Proc. 6th Int. Biophys. Congr. p. 307
- 10) Tanaka, H., Tanaka, M. & Sugi, H. (1978.9) Effect of sarcomere length and stretch on the tension and the rate of ATP splitting in glycerinated rabbit psoas muscle fibres. Proc. 6th Int. Biophys. Congr. p. 383
- 11) Sugi, H., Tameyasu, T. & Gomi, S. (1978.9) The origin of the series elasticity in striated muscle fibres. Abst. of the Symp. on the current problems of sliding filament model p. 8
- 12) Tsuchiya, T., Sugi, H. & Kometani, K. (1978.9) Isotonic velocity transients in skeletal muscle fibres after quick increases in load. Abst. of the Symp. on the current problems sliding filament model p. 16
- 13) Amemiya, Y., Sugi, H. & Hashizume, H. (1978.9) X-ray diffraction studies on the dynamic properties of cross-bridges in skeletal muscle. Abst. of the Symp. on the current problems of sliding filament model p. 32
- 14) Sugi, H., Tameyasu, T. & Gomi, S. (1978.9) High-speed cinematographic studies on the origin of the series elastic component in frog skeletal muscle fibres. J. Physiol. Soc. Japan 40, 302-303
- 15) 土屋禎三, 杉 晴夫, 五味節子 (1978.9) 骨格筋線維における等張性伸長の過渡的変化について. J. Physiol. Soc. Japan 40, 303
- 16) 小林孝和, 上山章光, 杉 晴夫 (1978.9) カエル骨格筋の等尺性収縮時における熱発生測定. J.

- Physiol. Soc. Japan **40**, 302
- 17) 上山章光, 杉 晴夫, 新村一郎(1978.9)ウサギ洞房結節の心拍頻度にたいする伸長の効果. J. Physiol. Soc. Japan **40**, 309
 - 18) 杉 晴夫(1978.10)カエル骨格筋等張性短縮時の高時間分解能X線回折. Zool. Mag. **87**, 426
 - 19) 鈴木季直, 杉 晴夫(1978.10)Rigor 状態のグリセリン筋の伸長による筋節構成要素の長さ変化の測定. Zool. Mag. **87**, 426
 - 20) 杉 晴夫(1978.2)平滑筋の興奮収縮連関に関する衛星シンポジウム, 第27回国際生理科学会議衛星シンポジウム印象記. 生体の科学 **29**, 71-72
 - 21) Tameyasu, T.(1978.10)The effect of hypertonic solutions on the rate of relaxation of contracture tension in *Mytilus* smooth muscle. J. Exp. Biol. **74**, 197-210
 - 22) Suzuki, S. (1978.7) Crystalline inclusion in plastids of the mature *Amaranthus* leaf. J. Electron Microsc. **27**, 141-143
 - 23) Suzuki, S.(1978.9) Qualitative and semiquantitative X-ray microanalysis of pyroantimonate in molluscan smooth muscle, with special reference to the presence of calcium. Teikyo Med. J. **1**, 259-268
 - 24) 小林孝和, 杉 晴夫(1978.12) Measurement of heat production in frog skeletal muscle by an infrared detector. Teikyo Med. J. **1**, 385-389
 - 25) 田中秀洋, 田中 都(1978.6) Kinetic studies on the formation of acto-heavy meromyosin complex. Teikyo Med. J. **1**, 133-138
 - 26) 田中秀洋, 田中 都(1978.9) ABRM (ムラサキイガイ前足系牽引筋) のミオシン交換. J. Physiol. Soc. Japan **40**, 307
 - 27) 雨宮昭南, 土屋 禎三(1978.10) フクロウニ類 (Echinothuroiida) の精子型態. Zool. Mag. **87**, 301

帝京大学医学部臨床生理学教室

- 1)* Sugi, H. & Kamiyama, A. (1977.12) The anatomical origin of the series elastic component in cardiac muscle. Proc. Japan Acad. **53**(Ser. B), 297-301
- 2) Saeki, Y. & Kamiyama, A. (1978.1) Possible mechanism of rate-dependent change of contraction in dog ventricular muscle: Relation to calcium movements. Cardiac Structure and Metabolism, Vol. 11: Heart Function and Metabolism. Ed. by Kobayashi, T., Sano, T. & Dhalla, N. S. University Park Press, Baltimore 131-135
- 3) Ito, T., Su, K.-M., Murata, M., Koizumi, T., Matsumoto, S., Ito, Y. & Kamiyama, A. (1978.1) Experimental studies on the effect of glucocorticoids on cardiac muscle. Cardiac Structure and Metabolism, Vol. 12: Cardiac Adaptation. Ed. by Kobayashi, T., Ito, Y. & Rona, G. University Park Press, Baltimore 203-210
- 4) Yoneda, S., Murata, M., Ueda, A., Sato, M., Takahashi, M., Ito, T., Sada, T., Matsumoto, S., Ito, Y., Furuta, S., Kamiyama, A. & Akaike, A. (1978.1) Persistent atrial standstill developed in a patient with rheumatic heart disease: Electrophysiological and histological study. Clin. Cardiol. **1**, 43-47
- 5) Kamiyama, A., Yamanaka, K. & Kishii, T. (1978.6) Effect of diltiazem on the relationship between pacemaker frequency and maximum diastolic potential of canine right bundle branch. Jap. Circul. J. **46**(6), 760-761
- 6) 上山章光, 山中功一, 岸井利昭, 星山正夫(1978.6) イヌ右脚自動性細胞の膜電位-歩調取り頻度関係に対する diltiazem の効果. 帝京医学雑誌 **1**(2), 139-143
- 7) Kamiyama, A., Sugi, H. & Niimura, I. (1978.8) Effects of stretch on the excised rabbit sinoatrial node. Abst. of 8th world congress of cardiology, Tokyo. 434
- 8) 上山章光, 杉 晴夫, 新村一郎(1978.8)ウサギ洞房結節の心拍頻度に対する伸長の効果. 日本生理誌 **40**(8,9), 309
- 9) 小林孝和, 上山章光, 杉 晴夫(1978.8)カエル骨格筋の等尺性収縮時における熱発生測定. 日本生理誌 **40**(8,9), 301

東京大学医学部第一生理学教室

- 1) Ito, M. (1978) Cerebellar control mechanisms of movements investigated in connection with vestibular neurons. Neuroscience **3**, 117-118
- 2) Dufossé, M., Ito, M., Jastreboff, P. J. & Miyashita, Y. (1978) A neuronal correlate in rabbit's cerebellum to adaptive modification of the vestibulo-ocular reflex. Brain Research **150**, 611-616
- 3) Ito, M., Miyashita, Y. & Ueki, A. (1978) Functional localization in the rabbit's inferior olive determined in connection with the vestibulo-ocular reflex. Neuroscience Letters **8**, 283-287
- 4) Dufossé, M., Ito, M. & Miyashita, Y. (1978) Diminution and reversal of eye movements induced by local stimulation of rabbit cerebellar flocculus after partial destruction of the inferior olive. Exp. Brain Res. **33**, 139-141
- 5) Ito, M., Orlov, I. & Shimoyama, I. (1978) Reduction of the cerebellar stimulus effect on rat Deiters neurons after chemical destruction of the inferior olive. Exp. Brain Res. **33**, 143-145

- 6) Ito, M. (1978) Recent advances in cerebellar physiology and pathology, ed. by R. A. P. Kark et al. Raven Press. *Advances in Neurology* **21**, 59-84
- 7) 伊藤正男(1978.7)小脳と運動制御. 神経研究の進歩 **22**, 675-677
- 8) 伊藤正男(1978.12)小脳症状の生理学的・工学的解釈. 神経研究の進歩 **22**, 1307-1312
- 9) Dufossé, M. 伊藤正男, Jastreboff, P. J. & 宮下保司(1978.9)前庭動眼反射の適応性変化と対応する小脳プルキンエ細胞反応性変化. 日本生理誌 **40**, 251-252
- 10) 伊藤正男(1978.9)小脳. 神経科学講座. 理工学社 **5**, 121-145
- 11) Yamamoto, M., Shimoyama, I., Dufossé, M., Ito, M. & Miyashita, Y.(1978.7)Localization of functionally different subgroups of Purkinje cells in the cerebellar flocculus. *IBRO News* **6**(No.1), 14
- 12) Ito, M., Tsukahara, N., Kubota, K. & Yagi, K. 編(1978.12)Integrative Control Functions of the Brain. Kodansha-Scientific & Elsevier. **1**, 全456頁
- 13) Yamamoto, M., Shimoyama, I. & Highstein, S. M. (1978) Vestibular nucleus neurons relaying excitation from the anterior canal to the oculomotor nucleus. *Brain Research* **148**, 31-42
- 14) Yamamoto, M. (1978) Localization of rabbit's flocculus Purkinje cells projecting to the cerebellar lateral nucleus and the nucleus prepositus hypoglossi investigated by means of the horseradish peroxidase retrograde axonal transport. *Neuroscience Letters* **7**, 197-202
- 15) Tanaka, K. & Toyama, K. (1978) Computer-controlled visual stimulator for electrophysiological experiments. *Vision Research* **18**, 743
- 16) Toyama, K., Tanaka, K. & Kimura, M. (1978) On-line computer system for vision experiments: Control of visual stimuli and analysis of neuronal signals. *Brain Theory News letter* **3**, 170
- 17) Kimura, M., Komatsu, Y. & Toyama, K. (1978) Differential responses during saccadic eye movement of simple and complex cells in the cat visual cortex. *IBRO News Sup I*, 37
- 18) Toyama, K. (1978) Neuronal circuit of the visual cortex related to characteristic responses of simple complex and hypercomplex cells. Abstract of 6th International Biophysics Congress. Symposium 18, 25
- 19) Kimura, M., Shiida, T., Toyama, K. & Tanaka, K. (1978) Three classes of area 19 cells of the cat classified by their neuronal connectivity and photic responsiveness. *Vision Research* **18**, 103-110
- 20) Toyama, K. (1978) Interneuronal connectivity in cat visual cortex: studies by cross correlation analysis of the responses of two simultaneously recorded neurons. *Integrative Control of the Brain* **1**, 65
- 21) 外山敬介(1978)視覚系の可塑性. 神経研究の進歩 **22**, 992
- 22) 外山敬介(1978)視覚領の細胞配列. 医学のあゆみ **108**, 141
- 23) 外山敬介(1978)視覚系のモデル. 脳の統御機能3 感覚と知覚 65
- 24) 外山敬介(1978)視覚中枢の神経生理学. 神経系の統合機構 37
- 25) Fukuda, J. & Kameyama, M. (1978.1) TTX-resistant sodium spikes and calcium spikes in spinal ganglion neurones of adult guinea pigs, dissociated and grown in cell culture. *Neuroscience, IBRO News* **6**, 2
- 26) Fukuda, J. & Kameyama, M. (1978.9) Tetrodotoxin resistant Na and Ca spikes in Mature mammalian neurones during regeneration in Cell culture. VI International Biophysics Congress Abstract 150
- 27) Fukuda, J., Komatsu, Y. & Kawa, K. (1978.9) Permeability of the Ca channels to inorganic divalent cations in skeletal muscle fibers of insect larvae. VI International Biophysics Congress Abstract 373
- 28) Fukuda, J. (1978.9) Action potentials of spinal ganglion neurones grown in tissue culture. Symposium on electrokinetic Aspects in Biomembrane Abstract 76
- 29) 福田 潤, 亀山正樹(1978.11)培養神経細胞の突起の成長に対する Ca イオンの効果. 第4回動物生理シンポジウム
- 30) 福田 潤, 亀山正樹(1978.12)培養神経細胞の活動電位と軸索再生にともなう変化. 第一回分子生物学会

東京大学医学部第二生理学教室

- 1) 大沢一爽, 星 猛(1978.6)ATP photometer とホタル発光物質の測光条件. 化学と生物 **16** (No.6), 402-407
- 2) 星 猛(1978.7)体液の比較生物学. 臨床医 **4**(No.7), 997-999
- 3) Breer, H., Dowe, G. H. C., Morris, S. J., Ohsawa, K., Stadler, H. & Whittaker, V. P. (1978.7) Structure and stoichiometry of isolated Torpedo electric organ synaptic vesicles. *Biophys. J.* **21**, 53a
- 4) 沼尾嘉信, 入内島十郎(1978.8)無麻酔ウサギにおける Bainbridge 反射. 日本生理誌 **40**(8,9), 324
- 5) 星 猛(1978.9)膜消化とは. 代謝 **15**(No.9), 3-10

- 6) Himukai, M., Suzuki, Y. & Hoshi, T. (1978.9) Differences in characteristics between glycine and glycyglycine transport in guinea pig small intestine. *Jap. J. Physiol.* **28**, 499-510
 - 7) 星 猛, 大沢一爽, 鹿野亜砂子(1978.9)小腸刷子縁膜 vesicle のガラスビーズカラムによる分離精製と精製 vesicle の糖輸送特性について. *日本生理誌* **40**, 213
 - 8) 附田 恵(1978.9)明るさの感覚におよぼす地磁気の影響について. *日本生理誌* **40**, 280
 - 9) 星 猛(1978.10)カルシウム (Ca) および燐 (P) の腸管吸収の機序. *日本臨床* **36**(No.10), 3292-3299
 - 10) 横山隆三, 星 猛(1978.10)生体内の流動吸収系における速度パラメータと被吸収物質の管内濃度プロファイルの関係. *医用電子と生体工学* **16**(No.6), 373-377
 - 11) 入内島十郎(1978.10)血管の生理. 中山恒明・榊原任監修, 新臨床外科全書, 石川浩一編, 第15巻 II 血管外科 p.1-12 金原出版.
 - 12) 入内島十郎(1978.11)臓器循環と心拍出量分配の理論. *日本臨床* **36**, 3516-3521
 - 13) 大沢一爽編著(1978.11)現代ドイツ人気質. 時事通信社
 - 14) Iriuchijima, J. & Numao, Y. (1978.12) Effects of cord section on blood pressure in different experimental hypertensive rats. Ito, M. (ed.) *Integrative Control Functions of the Brain* **1**, 247-248
 - 15) 星 猛(1978.12)動物細胞における Na⁺/有機溶質共輸送系の電位依存性. 生体エネルギー研究会第4回討論会講演要旨集 145-147
 - 16) 大沢一爽, 鹿野亜砂子, 星 猛(1978.12)小腸刷子縁膜小胞の分離精製. *生体の科学* **29**, 481-489
 - 17) 大沢一爽(1978.12)大脳皮質シナプス小胞の微細構造. *細胞* **10**, 828-834
- 東京大学医学部薬理学教室**
- 1) Abe, T., Yamakawa, T., Endou, H. & Nagashima, K. (1978) Disc gell electrophoresis of proteins of membranous cytoplasmic inclusion bodies from the spleen of the patient with gaucher disease. *Jap. J. Exp. Med.* **48**, 177
 - 2) Ebashi, S., Kitazawa, T., Kohama, K. & P-C van Eerd (1978) Calcium ion in cardiac contractility. Recent advances in studies on cardiac structure and metabolism. (eds. T. Kobayashi et al.) *Univ. Park Press Baltimore* Vol. 11, 93
 - 3) Ebashi, S., Mikawa, T., Hirata, M. & Nonomura, Y. (1978) The regulatory role of calcium in muscle. *Ann. New York Acad. Sci.* **307**, 451
 - 4) Endou, H., Kimura, K., Sudo, J. & Sakai, F. (1978) Quantitative analysis of electrophoretically separated proteins using coomassie blue. *Jap. J. Exp. Med.* **48**, 297
 - 5) Endou, H., Kimura, K., Nakajima, T., Sudo, J. & Sakai, F. (1978) Distribution of lactate dehydrogenase isozymes along the single nephron of rabbit. Abstracts in VIIth Int. Cong. Nephrol., (Montreal) A-5
 - 6) Endou, H., Sudo, J., Kimura, K., Nakajima, T. & Sakai, F. (1978) Effects of angiotensin II and its analogues on proteinuria in rat. Abst. in 7th Int. Cong. Pharmacol. (Paris) 58
 - 7) Kimura, K., Endou, H., Sudo, J. & Sakai, F. (1978) Glucose dehydrogenase (hyxose 6-phosphate dehydrogenase) as supplier of reduced pyridine nucleotides for microsomal electron transport system. Abst. in 7th Int. Cong. Pharmacol. **147**
 - 8) Ozawa, E. & Kohama, K. (1978) Muscle trophic factor. I. Assay of a muscle trophic factor by measurement of muscle cell nuclei. *Muscle and Nerve* **1**, 230
 - 9) Kohama, K. & Ozawa, E. (1978) Muscle trophic factor. II. Ontogenic development of activity of a muscle trophic factor in chicken serum. *Muscle and Nerve* **1**, 236
 - 10) Kohama, K. & Ozawa, E. (1978) Muscle trophic factor. IV. Testosterone-induced increase in muscle trophic factor in chicken serum. *Muscle and Nerve* **1**, 314
 - 11) Koizumi T., Ito, Y. & Ebashi, S. (1978) Regulatory mechanism in arterial smooth muscle contraction. Recent advances in studies on cardiac structure and metabolism. (eds. T. Kobayashi et al.) *University Park Press Baltimore* Vol. 11, 185
 - 12) Ohtsuki, I. Palade, R. M. & Jamieson, J. D. (1978) Entry of macromolecular tracers into cells fixed with low concentrations of aldehydes. *Biologie Cellulaire* **31**, 119
 - 13) Ebashi, S. (1978) Ca ion and muscle contraction. *Adv. in Pharmacology and Therapeutics* (ed. J. C. Stoclet) Pergamon Press Vol. 3, 81
- 東京大学医学部脳研生理**
- 1) Nakao, S. & Sasaki, S. (1978) Firing pattern of interneurons in the abducens nucleus related to vestibular nystagmus in the cat. *Brain Research* **144**, 389-394
 - 2) Hikosaka, O., Igusa, Y. & Imai, H. (1978) Firing pattern of prepositus hypoglossi and adjacent reticular neurons related to vestibular nystagmus in the cat. *Brain Research* **144**, 395-

- 403
- 3) Asanuma, H., Hongo, T., Jankowska, E., Shinoda, Y. & Zarzecki, P. (1978) Pattern of projections of individual pyramidal tract neurons to the spinal cord of the monkey. *J. Physiol. (Paris)* **74**(3), 236
 - 4) Shinoda, Y. & Yamaguchi, T. (1978) The intraspinal branching patterns of fast and slow pyramidal tract neurons in the cat. *J. Physiol. (Paris)* **74**(3), 237
 - 5) Ezure, K. & Sasaki, S. (1978.3) Frequency-response analysis of vestibular-induced neck reflex in cat. I. Characteristics of neural transmission from horizontal semicircular canal to neck motoneurons. *J. Neurophysiol.* **41**(2), 445-458
 - 6) Ezure, K., Sasaki, S., Uchino, Y. & Wilson, V. J. (1978) Frequency-response analysis of vestibular-induced neck reflex in cat. II. Functional significance of cervical afferents and polysynaptic descending pathways. *J. Neurophysiol.* **41**(2), 459-471
 - 7) Takahashi, K. & Yoshii, M. (1978) Effects of internal free calcium upon the sodium and calcium channels in the tunicate egg analysed by the internal perfusion technique. *J. Physiol.* **279**, 519-549
 - 8) Ohmori, H. (1978) Inactivation kinetics and steady-state current noise in the anomalous rectifier of tunicate egg cell membranes. *J. Physiol.* **281**, 77-99
 - 9) 彦坂興秀, 井草幸夫(1978)前庭性眼振における舌下神経前位核ニューロンの発射様式と脳幹内軸索投射. *日本生理誌* **40**(7), 171
 - 10) 大森治紀, 柴崎芳一(1978)ホヤ未受精卵における電流雑音. *日本生理誌* **40**(8,9), 223-224
 - 11) 前田 稔, 石井昌三, 吉田 薫, 柴崎 徹(1978)上丘ニューロンにおける視覚性および前庭性入力について. *日本生理誌* **40**(8,9), 245
 - 12) 島津 浩, 彦坂興秀, 中尾召三, 佐々木誠一(1978)眼振に関与する前庭核ニューロン軸索投射様式と発射様式. *日本生理誌* **40**(8,9), 245-246
 - 13) 吉田 薫, 江連和久(1978)前庭次求心性線維の動特性. *日本生理誌* **40**(8,9), 237
 - 14) Ghez, C. & Shinoda, Y. (1978) Spinal mechanisms of the functional stretch reflex. *Exp. Brain Res.* **32**, 55-68
 - 15) Ezure, K., Schor, R. H. & Yoshida, K. (1978) The response of horizontal semicircular canal afferents to sinusoidal rotation in the cat. *Exp. Brain Res.* **33**, 27-39
 - 16) Zarzecki, P., Shinoda, Y. & Asanuma, H. (1978) Projection from area 3a to the motor cortex by neurons activated from group I muscle afferents. *Exp. Brain Res.* **33**, 269-282
 - 17) Hikosaka, O., Igusa, Y., Nakao, S. & Shimazu, H. (1978) Direct inhibitory synaptic linkage of pontomedullary reticular burst neurons with abducens motoneurons in the cat. *Exp. Brain Res.* **33**, 337-352
 - 18) Sakata, H., Shibutani, H. & Kawano, K. (1978) Parietal neurons with dual sensitivity to real and induced movements of visual target. *Neuroscience Letters* **9**, 165-169
 - 19) Takahashi, K. (1978) Properties of Na and Ca channels in the tunicate egg cell membrane. *Integrative Control Functions of the Brain* **1**, 5-25
 - 20) Shinoda, Y. (1978) Intraspinal multiple projections of single corticospinal neurons in the cat and monkey. *Integrative Control Functions of the Brain* **1**, 137-151
- 東京大学理学部動物学教室第三講座**
- 1) Ichikawa, M. & Ueda, K. (1978) Electron microscopic study of the olfactory tract fibers in the goldfish telencephalic hemisphere. *J. Fac. Sci., Univ. Tokyo IV.* **14**, 127-134
 - 2) Kawashima, S., Bern, H. A., Jones L. A. & Mills, K. T. (1978) Histometric study of the pituitary in mice treated neonatally with steroids and the relationship between prolactin cells and mammary tumorigenesis. *Endocrinol. Japon.* **25**, 341-348
 - 3) Mori, K., Satou, M. & Takagi, S. F. (1978) Morphology of mitral cell dendrites in the rabbit olfactory bulb: intracellular procian yellow injection. *Integrative Control Functions of the Brain* (ed. by Ito, M., Tsukahara, N. Kubota, K. & Yagi, K.) Kodansha, Tokyo/Elsevier, Amsterdam Vol. 1, 117-119
 - 4) Mori, K., Sstou, M. & Takagi, S. F. (1978) Fast and slow inhibitory postsynaptic potentials in the piriform cortex neurons. *Proc. Japan Acad.* **54B**, 484-489
 - 5) Mori, T. (1978) Reproductive activity with reference to life span in the pond snail, *Barderylmnaea viridis*. *Zool. Mag.* **87**, 287-288
 - 6) Mori, T. & Nishizuka, M. (1978) Additional effects of postpubertal estrogen injection on the vaginal epithelium in neonatally estrogenized mice. *Acta Anat.* **100**, 369-374
 - 7) Mori, T., Bern, H. A. & Mills, K. T. (1978) Exposure of pregnant mice to hormones: Effects on the reproductive cycles and organs in their female offspring. *IRCS Medical Science.* **6**, 275
 - 8) Nagasawa, H., Mori, T., Yanai, R., Bern, H. A. &

- Mills, K. T. (1978) Long-term effects of neonatal hormonal treatments on plasma prolactin levels in female BALB/cfC3H and BALB/c mice. *Cancer Res.* **38**, 942-945
- 9) Nishizuka, M. (1978) Topography of the neurons responding to estrogen in the hypothalamic arcuate nucleus of immature female mice. *Brain Res.* **152**, 31-40
- 10) Nishizuka, M. & Kawashima, S. (1978) Dense core vesicles in the neuronal perikarya of the hypothalamic arcuate nucleus of female mice. *Proc. Japan Acad.* **54B**, 289-293
- 11) Saiga-Narumi, T. & Kawashima, S. (1978) The binding of rat luteinizing hormone (rLH), rat follicle stimulating hormone (rFSH) and rat prolactin (rPRL) to dissociated cells of luteinized ovaries and intrasplenic ovarian grafts. *Proc. Japan Acad.* **54B**, 25-29
- 12) Satou, M. & Ueda, K. (1978) Synchronized rhythmic discharges of the secondary olfactory neurons in carp. *Brain Res.* **158**, 313-329
- 13) Takahashi, S. (1978) The effects of pituitary homografts or prolactin on the weights of accessory reproductive organs in castrated male rats. *J. Fac. Sci., Univ. Tokyo IV.* **14**, 135-141
- 14) Yamamoto, M. & Hirano, T. (1978) Morphological changes in the oesophageal epithelium of the eel, *Anguilla japonica*, during adaptation to seawater. *Cell Tiss. Res.* **192**, 25-38
- 15) Yamamoto, M. & Ueda, K. (1978) Comparative morphology of fish olfactory epithelium-II Clupeiformes. *Bull. Japan Soc. Sci. Fish.* **44**, 855-859
- 16) Yamamoto, M. & Ueda, K. (1978) Comparative morphology of fish olfactory epithelium-III Cypriniformes. *Bull. Japan Soc. Sci. Fish.* **44**, 1201-1206
- 17) Yamamoto, M. & Ueda, K. (1978) Comparative morphology of fish olfactory epithelium-IV Anguilliformes and Myctophiformes. *Bull. Japan Soc. Sci. Fish.* **44**, 1207-1212
- 18) Yamamoto, M. & Ueda, K. (1978) Comparative morphology of fish olfactory epithelium-V Gasterosteiformes, Channiformes and Synbranchiformes. *Bull. Japan Soc. Sci. Fish.* **44**, 1309-1314
- 19) Yamamoto, M. & Ueda, K. (1978) Comparative morphology of fish olfactory epithelium VI. Siluriformes. *Zool. Mag.* **87**, 254-261
- 20) Yamamoto, M. & Ueda, K. (1978) Comparative morphology of fish olfactory epithelium. VII. Gadiformes, Lophiiformes and Gobiesociformes. *J. Fac. Sci., Univ. Tokyo IV.* **14**, 115-125
- 21) 上田一夫(1978.1)サケの母川回帰のナゾ. 科学朝日 **38**, 53-58
- 22) 上田一夫(1978.1)サカナの行動と個性. 個性の生物学, 講談社 東京, 139-164
- 23) 上田一夫(1978.5)魚類の行動と嗅覚. 魚, 東京大学出版会 東京, 116-136
- 24) 長井孝紀, 上田一夫(1978.8)ラット単一鼓索神経線維の時間的放電パターン. 第12回味と匂のシンポジウム発表論文集, 53-56
- 25) 森 憲作, 佐藤真彦, 高木貞敬(1978.9)ウサギ前嗅核細胞の軸索の両側嗅索への投射. 日本生理誌 **40**, 294
- 26) 長井孝紀, 上田一夫(1978.9)ラット鼓索神経線維のインパルスの時系列解析. 日本生理誌 **40**, 292
- 27) 川島誠一郎(1978.12)冬眠と哺乳類の老化. 動物学雑誌 **87**, 565
- 28) 小林裕太, 川島誠一郎(1978.12)ラット視床下部におけるアセチルコリンエステラーゼの分布. 動物学雑誌 **87**, 462
- 29) 高橋純夫(1978.12)ラット前立腺腹葉上皮細胞の微細構造におよぼすプロラクチンの影響. 動物学雑誌 **87**, 455
- 30) 山口和彦, 岡 良隆, 上田一夫(1978.12)ウナギ嗅球の構造的特徴. 動物学雑誌 **87**, 404

東京医科大学生理学第一講座

- 1) Hashiguchi, T., Kobayashi, H., Ushiyama, N. S. & Libet, B. (1978.1) Does cyclic GMP mediate the slow excitatory synaptic potential in sympathetic ganglia? *Nature (London)* **271** (#5642), 267-268
- 2) Kobayashi, H., Hashiguchi, T. & Ushiyama, N. S. (1978.1) Postsynaptic modulation of excitatory process in sympathetic ganglia by cyclic AMP. *Nature (London)* **271** (#5642), 268-270
- 3) 田代 洋, 持田澄子, 登坂恒夫 (1978.8.9) Slow EPSP の膜抵抗の増大する成分の性質. 日本生理誌 **40**(8,9), 233
- 4) 橋口利雄, 牛山菜花子, 小林春雄(1978.8.9)交感神経節における Cyclic GMP と Ca イオンの関係. 日本生理誌 **40**(8,9), 233
- 5) 牛山菜花子, 橋口利雄, 小林春雄(1978.9)ムスカリン性アセチルコリン作用と Cyclic GMP. 東京医大誌 **36**(5), 707
- 6) 小野敏子(1978.9)ザリガニ張力受容器に対する重水と低温の効果の比較. 東京医大誌 **36**(5), 707
- 7) Aizawa, K. & Iwasaki, S. (1978.9) Calcium measurement in axons with fluorescent probe. "Integrative control functions of the brain", (ed. by M. Ito), **1**, 44-47.

東京医科大学生理学第二講座

- 1) Thorgeirsson, S. S., Sakai, S. & Adamson, R. H. (1978.2) Induction of Monooxygenases in Rhesus Monkeys by 3-Methylcholanthrene: Metabolism and Mutagenic Activation of

- N-2-Acetylaminofluorene and Benzo [a] pyrene. J. Natl. Cancer Inst. **60**, 365-369
- 2) Adamson, R. H., Sieber, S. M., Thorgeirsson, S. S. & Sakai, S. (1978.4) Studies on the Antitumor, Embryotoxic and Mutagenic Effects of N-(Phosphonacetyl)-L-Aspartic Acid (Pala). Proc. Am. Assoc. Cancer Res. **19**, 163
 - 3) Sakai, S., Reinhold, C. E., Wirth, P. J. & Thorgeirsson, S. S. (1978.7) Mechanism of in Vitro Mutagenic Activation and Covalent Binding of N-Hydroxy-2-acetylaminofluorene in Isolated Liver Cell Nuclei from Rat and Mouse. Cancer Research **38**, 2058-2067
 - 4) 大畑 進, 會沢勝夫, 佐伯美登里, 坂井朗子, 山尾満里子(1978.9) Tubulin を構成する amino acid の分析について. 日本生理誌 **40**, 208
 - 5) 會沢 勝夫, 大畑 進 (1978.9) Laser Raman spectrum による tubulin 中の tryptophan の動態について. 日本生理誌 **40**, 209
 - 6) 會沢勝夫, 大畑 進, 山尾満里子(1978.9) 微小管蛋白の -S-S- 結合状態について. 東京医大誌 **36**, 707
 - 7) 佐伯美登里, 大畑 進(1978.9) 鶏卵卵黄膜 inner layer における ATPase 活性について. 東京医大誌 **36**, 707
 - 8) Aizawa, K. & Iwasaki, S. (1978.9) On the measurement of calcium in the neuron with fluorescent probe. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 301
 - 9) 會沢勝夫, 大畑 進 (1978.10) Microtubules の重合について. 東京医大誌 **36**, 837
 - 10) 會沢勝夫, 大畑 進 (1978.11) Microtubule に対する K ion の作用. 第31回日本細胞生物学会大会予稿集 A-35
 - 11) Aizawa, K. & Iwasaki, S. (1978.12) Calcium measurement in axons with a Fluorescent probe. Integrative Control Function of the Brain **1**, 44-47
- 東京医科歯科大学医学部第一生理学教室**
- 1) Furukawa, T. & Matsuura, S. (1978.3) Adaptive rundown of excitatory post-synaptic potentials at synapses between hair cells and eighth nerve fibres in the goldfish. J. Physiol. **276**, 193-209
 - 2) Furukawa, T., Hayashida, Y. & Matsuura, S. (1978.3) Quantal analysis of the size of excitatory postsynaptic potentials at synapses between hair cells and afferent nerve fibres in goldfish. J. Physiol. **276**, 211-226
 - 3) Furukawa, T. (1978.8) Sites of termination on the saccular macula of auditory nerve fibers in the goldfish as determined by intracellular injection of procion yellow. J. Comp. Neurol. **180**, 807-814
 - 4) Furukawa, T. (1978.9) Role of the hair cell-afferent fiber synapse in the coding of afferent impulses. Integrative control functions of the brain, Obunsha. (特定研究「脳の統御機能」総括班研究報告書) **1**, 104-105
 - 5) 古河太郎(1978.2) 聴器における求心性および遠心性シナプスの動作. 内耳の微細構造から病態まで, 上村卓也・鈴木淳一編, 医学図書出版(東京) 49-83
 - 6) 古河太郎(1978.3) 耳毒性物質の作用機序. トキシンロジー, 浦口健二編, 地人書館(東京) 391-402
 - 7) 古河太郎(1978.8,9) 内耳支持細胞のグリア様の応答. 日本生理誌 **40**, 287
 - 8) 古河太郎(1978.9) シナプス. 神経科学講座, 渡辺格ら編, 理工学社(東京) **2**, 217-271
 - 9) Shinoda, Y. & Yamaguchi, T. (1978) The intraspinal branching patterns of fast and slow pyramidal tract neurons in the cat. J. Physiol (Paris). **74**(3), 237-238
 - 10) Asanuma, H., Hongo, T., Jankowska, E., Shinoda, Y. & Zarzecki, P. (1978) Pattern of projections of individual pyramidal tract neurons to the spinal cord of the monkey. J. Physiol. (Paris) **74**(3), 236-237
 - 11) Ghez, C. & Shinoda, Y. (1978) Spinal mechanisms of the functional stretch reflex. Exp. Brain Res. **32**, 55-68
 - 12) Zarzecki, P., Shinoda, Y. & Asanuma, H. (1978) Projection from area 3a to the motor cortex by neurons activated from group I muscle afferents. Exp. Brain Res. **33**, 269-282
 - 13) Shinoda, Y. (1978) Intraspinal multiple projections of single corticospinal neurons in the cat and monkey. Integrative Control Functions of the Brain. (特定研究「脳の統御機能」総括班研究報告書) **1**, 161-175
 - 14) Terashima, S. & Goris, R. C. (1978.9) Information processing in an infrared sensory system. Sixth International Biophysics Congress Abstracts 372
 - 15) Terashima, S. & Goris, R. C. (1978.9) Infrared sensitive units in the medulla of crotaline snakes. J. Physiol. Soc. Japan **40**, 295
- 東京医科歯科大学医学部第二生理学教室**
- 1) 長野みさ子, 寺川 進, 渡辺 昭(1978.9) イカ巨大線維の細胞内 pH とプラトローの持続. 日本生理誌 **40**, 222
 - 2) 渡辺 昭(1978.8) 興奮の生理学的メカニズム. 膜と神経・筋・シナプス(喜多見書房) 121-141
 - 3) Terakawa, S., Nagano, M. & Watanabe, A. (1978.12) Intracellular pH and plateau duration of internally perfused squid giant axons. Jpn. J.

Physiol. **28**, 847-862

- 4) 神野耕太郎(1978.6)膜電位の光学的検出とポテンシアル・プローブ. 生物物理 **18**, 105-119
- 5) 神野耕太郎(1978.9)膜電位にともなう光学的変化とポテンシアル・プローブ. 日本生理誌 **40**, 221
- 6) Grinvald, A., Kamino, K., Cohen, L. B. & Waggoner, A. S.(1978.5)Lager fluorescence and birefringence signals for optical monitoring of membrane potential. Biophysical. J. **21**, 82
- 7) Kamino, K. & Inouye, A.(1978.5)Evidence for membrane potential changes in isolated synaptic membrane ghosts monitored with a merocyanine dye. Jpn. J. Physiol. **28**, 225-237
- 8) Kamino, K., Cohen, L. B., Waggoner, A. S. & Grinvald, A.(1978.9)Improvements in optical methods for monitoring membrane potential. Sixth Interntl. Biophys. Congress. 373
- 9) Salzberg, B. M., Cohen, L. B., Grinvald, A. & Kamino, K.(1978.9)Fast molecular probes of membrane potential. Sixth Interntl. Biophys. Congress. 374
- 10) Fox, S. W., Adachi, T., Stillwell, W., Ishima, Y. & Baumann, G. (1978.4) Photochemical synthesis of ATP : Protomembranes and Protometabolism. "Light transducing membranes" Academic Press, 61-75
- 11) Ishima, Y. & Waku, K.(1978.11)Phospholipid analysis of the chick ventricles in the early stages of development when their excitability changes in tetrodotoxin or in sodium substitute media. Comp. Biochem. Physiol. **61**(C), 283-286
- 12) 堀江秀典, 竹中敏文, 石間祥生 (1978.9) 高濃度 Na^+ , Ca^{++} のイカ巨大神経線維の興奮性に対する効果. 日本生理誌 **40**, 220

東京医科歯科大学医学部薬理学教室

- 1) Yanagisawa, Y., Suzue, T., Theriault, E., Konishi, S. & Otsuka, M.(1978.3)Time course of the motoneuron-depolarizing action of substance P. Japan. J. Pharmacol. **28**, 45
- 2) Konishi, S. & Kravitz, E. A.(1978.6)The physiological properties of amine-containing neurons in the lobster nervous system. J. Physiol. **279**, 215-229
- 3) Takahashi, T. (1978.7) Intracellular recording from visually identified motoneurons in rat spinal cord slices. Proc. R. Soc. Lond. B. **202**, 417-421
- 4) Otsuka, M. & Yanagisawa, M. (1978.7) The action of substance P on motoneurons of the isolated rat spinal cord. Proc. 7th Int. Congr. Pharmacol. **2**, 181-190
- 5) 宮田雄平, 大塚正徳(1978.9)伝達物質と栄養物質. 神経科学講座② 神経機能の基礎 理工学社

1-35

- 6) 角尾彰信, Jessell, T. M., 平 久子, 金沢一郎, 大塚正徳 (1978.11) 一次知覚ニューロン損傷による脊髄内 substance P レベルの変化. 日本薬理学誌 **74**, 164
- 7) 宮田雄平, 吉岡耕一 (1978.11) 新生ラット神経筋接合部でみられるシナプス伝達消失の過程について. 日本薬理学誌 **74**, 169

東京医科歯科大学歯学部口腔生理学教室

- 1)* 市岡正道(1977.1)局所麻酔法:生理学の立場から. 国際歯科ジャーナル **5**, 11-14
- 2) Hayashi, H., Toda, K., Ichioka, M. & Suda, H. (1978.1)Effects of electroacupuncture on rat jaw opening reflex. J. Dent. Res. **57**, 208
- 3) 戸田一雄, 市岡正道, 須田英明(1978.3)歯髄刺激に対するネズミ頭蓋誘発電位におよぼす鍼通電の影響. 歯基礎誌 **20**, 199
- 4) 戸田一雄, 市岡正道(1978.3)ラット鍼通電時の求心性神経情報による開口反射の抑制. 日本生理誌 **40**, 66-67
- 5) 戸田一雄, 市岡正道(1978.3)ラット鍼通電の効果と求心性末梢神経情報の役割. 口病誌 **45**, 239-240
- 6) 須田英明, 戸田一雄, 市岡正道(1978.3)鍼通電が開口反射と大脳皮質誘発反応とに与える影響について. 口病誌 **45**, 240
- 7) Toda, K.(1978.3)Effects of electro-acupuncture on rat jaw opening reflex elicited by tooth pulp stimulation. Jap. J. Physiol. **28**, 485-497
- 8) 市岡正道, 戸田一雄(1978.6)「鍼」の効果に関する基礎的研究. 口病誌 **45**, 251-262
- 9) 須田英明, 戸田一雄, 市岡正道(1978.7)ラットの開口反射と鍼通電. 顎研10周年記念シンポジウム講演集 40-41
- 10) Toda, K., Ichioka, M. & Suda, H. (1978.9) Effects of electro-acupuncture and morphine on the field potentials in the caudal part of rat spinal trigeminal nucleus. J. Physiol. Soc. Japan **40** 244
- 11) Toda, K. & Ichioka, M. (1978.9) Electroacupuncture: Relations between forelimb afferent impulses and suppression of jaw-opening reflex in the rat. Exp. Neurol. **61**, 465-470
- 12) 市岡正道 (1978.12) 針麻酔の機序. 総合臨床 **27**, 2855-2858
- 13) 入来篤史, 佐藤俊英, 戸田一雄(1978.3)歯髄神経の電気刺激によるラット心電図の変化. 口病誌 **45**, 138-146
- 14) Hayashi, H. (1978.1) Rapid penetration of potassium and other salts into the frog tongue papilla. Jap. J. Physiol. **28**, 33-45
- 15) Hayashi, H., Price, D., Dubner, R. & Ruda, M. A. (1978.8)Comparative analysis of the response

- properties of layer I and II/III neurons in the monkey spinal cord dorsal horn. *J. Pain Abstracts* **1**, 239
- 16) Sugimoto, K. & Sato, T.(1978.2)Depression of frog gustatory neural responses to quinine-HCl after adaptation of the tongue to various taste stimuli. *Experientia* **34**, 196-197
 - 17) Sugimoto, K. & Sato, T.(1978.5)Change in taste preference related to aging of taste cells in rat. *Experientia* **34**, 611-612
 - 18) 佐藤俊英(1978.6)味細胞の受容器電位における初期相動性脱分極. *歯基礎誌* **20**, 198
 - 19) Sato, T. & Sugimoto, K. (1978.8) Effects of external ions on resting potential and receptor potential in taste cells. *J. Physiol. Soc. Japan* **40**, 291
 - 20) Sato, T. & Sugimoto, K.(1978.9)Potentiation of salt response following adaptation of frog gustatory receptor to bitter solutions. *Sixth Internatl. Biophys. Congress Abstracts* 292
 - 21) 杉本久美子, 佐藤俊英(1978.9)味溶液順応後のキニーネに対するカエル味神経線維の反応. 第20回歯科基礎医学会学術大会予報抄録集 106
 - 22) 佐藤俊英, 杉本久美子 (1978.11) カエル味細胞の静止電位と受容器電位に関するイオン. 第4回動物生理学シンポジウム予稿集 31
 - 23) Sato, T. (1978.11) Off-response in frog taste nerve and cell after stimulation of the tongue with bitter solutions. *Comp. Biochem. Physiol.* **61(A)**, 339-353
 - 24) 杉本久美子 (1978.12) 甘味受容タンパク質. *口病誌* **45**, 699-700

東京医科歯科大学歯学部顎口腔総合研究施設
生理学部門

- 1) Nakamura, Y., Goldberg, L. J., Chandler, S. H. & Chase, M. H.(1978.1)Intracellular analysis of trigeminal motoneuron activity during sleep in the cat. *Science* **199**, 204-207
- 2) Nakamura, Y. & Kubo, Y.(1978.6)Masticatory rhythm in intracellular potential of trigeminal motoneurons induced by stimulation of orbital cortex and amygdala in cats. *Brain Res.* **149**, 504-509
- 3) Nakamura, Y., Goldberg, L. J. & Clement, C. D. (1978.8)Effects of hypoglossal afferent stimulation on masseteric motoneurons in cats. *Exp. Neurol.* **61**, 1-14
- 4) Kubo, Y. & Nakamura, Y.(1978.6)Intracellular masticatory rhythm in trigeminal motoneurons. *日本生理誌* **40**, 242
- 5) Nakamura, Y. & Nozaki, S.(1978.12)A brain stem mechanism responsible for cortical control of trigeminal motoneurons. Ito, M.(Ed.) *Integrative Control Functions of the Brain* **1**, 207-208
- 6) Chandler, S. H., Nakamura, Y., Chang, B. & Chase, M. H.(1978.7)A technique for recording synaptic and spike potentials from trigeminal motoneurons during sleep and wakefulness. *Sleep Res.* **7**, 279
- 7) Sumino, R. & Nozaki, S.(1978.9)Trigeminoneck reflex induced by facial skin stimulation. *日本生理誌* **40**, 242
- 8) Sumino, R. & Nozaki, S.(1978.8)Facial input and neck muscle. *Pain Abstract (Second World Congress of Pain)* **1**, 179
- 9) 中村嘉男(1978.3)いわゆる“咀嚼中枢”について. *口病誌* **45**, 246
- 10) 中村嘉男 (1978.3) 睡眠時の咀嚼筋活動. *口病誌* **45**, 115-116
- 11) 中村嘉男, Goldberg, L. J., Chandler, S. H. & Chase, M. H.(1978.3)無麻酔慢性ネコの三叉神経運動ニューロン活動の細胞内記録法による解析. *歯基礎誌* **20**, 193
- 12) 中村嘉男(1978.5)睡眠時における運動ニューロン活動. *脳の統御機能* **1**, 145-165
- 13) 久保吉広(1978.3)三叉神経運動ニューロンの咀嚼リズムの細胞内記録法による解析. *歯基礎誌* **20**, 144-153
- 14) 野崎修一(1978.9)三叉神経運動ニューロンの大脳皮質性制御に関する延髄網様体ニューロンの入出力様式. *歯基礎誌* **20**, 451-461
- 15) 野崎修一, 榎本純男, 中村嘉男(1978.9)咀嚼筋運動ニューロンの興奮性ならびに抑制性介在ニューロンの HRP 細胞内注入による同定. 第20回歯科基礎医学会学術大会予報抄録集 75
- 16) 中村嘉男 (1978.10) 睡眠行動のシナプス機序へのアプローチ. 第8回日本脳波・筋電図学会学術大会予稿集 27
- 17) 野崎修一, 角野隆二(1978.3)三叉神経-延髄脊髄反射における入出力関係. *歯基礎誌* **20**, 194

東京医科歯科大学難治疾患研究所
循環器生理部門

- 1) Sano, T., Sawanobori, T. & Adaniva, H. (1978) Mechanism of rhythm determination among pacemaker cells of the mammalian sinus node. *Am. J. Physiol.* **4**, 379-384
- 2) Kobayashi, T., Sano, T. & Dhalla, N. S. (1978) Recent Advances in Studies on Cardiac Structure and Metabolism. University Park Press, Baltimore **11**
- 3) Sano, T., Hiraoka, M. & Sawanobori, T. (1978) Effects of anoxia and metabolic inhibitors on reactivation of the fast sodium system. *In* Recent Advances in Studies on Cardiac Structure and Metabolism. University Park Press, Baltimore **11**, 79-83

- 4) 佐野豊美, 平岡昌和, 岡本康孝(1978)アコニチンの心室作業筋の膜イオン電流に対する効果. 心臓血管系の基礎研究(II) 吉田常雄編 209-215
- 5) Sano, T., Sakamoto, Y. & Suzuki, F.(1978)The U vector loop and the genesis of the U wave. *Advances in Cardiol.* **21**, 202-205
- 6) Sakamoto, Y., Sano, T., Suzuki, F. & Yamamoto, M.(1978)The U vector loop in normal and various abnormal states as studied by the summation method. *J. Electrocardiology* **11**, 331-338
- 7) 佐野豊美(1978)不整脈の研究—歴史と将来への展望. *現代医療* **10**, 1054-1062
- 8) 鈴木文男(1978)P波の異常. *臨床生理* **8**, 355-360
- 9) 鈴木文男(1978)機能学・形態学的にみた刺激伝導異常. *内科セミナー*CV7 不整脈. 永井書店 1-25
- 10) Hiraoka, M. & Sano, T.(1978)Role of slow inward current on premature excitation in ventricular muscle. *In* Recent Advances in Studies on Cardiac Structure and Metabolism. University Park Press **11**, 31-36
- 11) Sawanobori, T. & Sano, T.(1978)Generation mechanism of arrhythmia in acidosis. *Jap. Circulation J.* **42**, 754
- 12) Hiraoka, M., Ikeda, K. & Sano, T.(1978)The mechanism of Ba-induced automaticity in ventricular muscle fibers. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **10**(Suppl), 35
- 13) 平岡昌和(1978)結節間伝導路とその意義 山田和生編集「心臓の興奮と伝導」. メディカル出版 31-47
- 14) 平岡昌和(1978)ジギタリス誘発性異常自動能の機序. *医学のあゆみ* **105**, 981-986
- 15) 平岡昌和(1978)心筋細胞外間隔へのKイオンの蓄積と枯渇;心筋電圧固定法への新たな問題点. *医学のあゆみ* **104**, 377-378
- 16) 佐竹修太郎, 坂本保己, 比江嶋一昌, 桃井宏直, 鈴木文男, 佐野豊美(1978)いわゆる洞結節リエントリーについて. *日本循環器誌* **42**, 86
- 17) 鈴木文男, 比江嶋一昌, 佐藤貞之, 吉田正美(1978)Dopamine 投与法についての実験的考察. *臨床と研究* **55**, 229-232
- 18) 比江嶋一昌, 鈴木文男(1978)ヒス束心電図(4). *エレクトロニクスの臨床* **7**, 1-20
- 19) 平岡昌和(1978)結節間伝導. 呼吸と循環 **26**, 965-974
- 20) 平岡昌和(1978)心臓とカルシウム. *クリニカ* **5**, 618-626
- 21) 沢登 徹, 安谷屋均, 佐野豊美(1978)プルキンイ線維および心室作業筋に対する low pH の効果の差異に関する研究. *日本生理誌* **40**, 314
- 22) 平岡昌和, 池田和郎, 佐野豊美(1978) Ba イオンによる心室作業筋の自動能発現機序. *日本生理誌* **40**, 313
- 23) Okamoto, Y., Hiraoka, M. & Sano, T.(1978) Electrophysiological studies of abnormal cardiac metabolism —on the mechanism of arrhythmogenesis by lactates. *Jap. Circ. J.* **42**, 715
- 24) Hiraoka, M.(1978)Role of fast and slow inward currents in the genesis of arrhythmia. Abstracts I, VIII World Congress of Cardiology. 30
- 25) Hiraoka, M., Okamoto, Y. & Sano, T.(1978) Abnormal automaticity in ventricular muscle fibers at high membrane potentials. Abstracts I, VIII World Congress of Cardiology. 432
- 26) Sawanobori, T., Adaniya, H. & Sano, T.(1978) Generation mechanism of the abnormal ventricular arrhythmia in acidosis. Abstracts I, VIII World Congress of Cardiology. 435
- 27) Hiejima, K., Satake, S., Sakamoto, Y., Suzuki, F. & Sano, T. (1978) Electrophysiological patterns of ventriculo-atrial conduction in man. *Jap. Circul. J.* **42**, 753
- 28) 坂本保己, 大久保俊平, 佐竹修太郎, 比江嶋一昌, 川野誠子, 鈴木文男, 佐野豊美 (1978) A型WPW症候群と完全右脚ブロック合併例—その電気生理学のおよびベクトル心電図学的所見について. *心臓* **10**, 346-352
- 29) 坂本保己, 佐竹修太郎, 比江嶋一昌, 鈴木文男, 佐野豊美(1978)人工ペースメーカー調律のベクトル心電図および空間速度心電図. *日本循環器誌* **42**, 834
- 30) 佐野豊美, 鈴木文男, 坂本保己(1978)体表面電位分布図による心電図U波の検討. *日本内科学誌* **67**, 948-949
- 31) 坂本保己, 佐野豊美, 鈴木文男, 山本真千子(1978)人工ペースメーカー調律のベクトル心電図. *日本臨床* **36**, 218-220
- 32) 山本真千子, 川野誠子, 鈴木文男, 佐野豊美(1978)ベクトルU環の空間マグニチュード—右脚ブロックおよび右室負荷における検討. *日本ベクトル学会議抄録集* 26-29

東京歯科大学生理学教室

- 1) 笹岡京子, 森田正純, 坂田三弥(1978.1)慢性ウサギにおける electrical impedance change よりみた下顎骨領域の血流動態. *歯科学報* **78**, 143
- 2) 坂田三弥(1978.1)咬合圧が感覚情報に変換される機構. *歯科学報* **78**, 117-134
- 3) 坂田三弥, 川口 徹, 塚本良久 (1978.3) Mucocutaneous end-organ の動き刺激に対する応答の特殊性. *歯基礎誌* **20**, 201
- 4) 山本 哲, 坂田三弥(1978.3)ハムスターの顔面骨骨膜における神経支配および受容器. *歯基礎誌* **20**, 216
- 5) 森田正純, 笹岡京子, 坂田三弥(1978.4)血圧脈波波形およびインピーダンス末梢容積脈波波形の周波数解析による末梢血管動態の測定. *歯科学報*

- 78, 736
- 6) 山本 哲, 坂田三弥(1978.4)イヌの下顎骨骨膜における神経支配と受容器. 医学と生物学 **96**, 233-237
 - 7) 矢野潤介(1978.5)下顎骨骨膜受容器(自由神経終末)の高張ならびに低張食塩水にたいする応答の特殊性. 歯科学報 **78**, 785-807
 - 8) 山本 哲, 坂田三弥(1978.7)カイウサギの下顎骨骨膜および下顎切歯部粘膜における Ruffini タイプ終末の分布. 医学と生物学 **97**, 13-17
 - 9) 坂田三弥(1978.7)口腔粘膜における機械受容器の電気生理学的ならびに組織学的特性. 顎研創立10周年記念シンポジウム講演抄録集 23-24
 - 10) 山本 哲, 坂田三弥(1978.7)ハツカネズミの口唇粘膜における受容器の形態と分布. 歯科学報 **78**, 1268
 - 11) Sakada, S. & Yano, J.(1978.8)Effects of hypertonic and hypotonic saline solutions on the nerve endings in the periosteum posterior to the mental foramen of the cat. Bull. Tokyo dent. Coll. **19**, 103-118
 - 12) 宗像昭夫, 坂田三弥(1978.9)遅順応性動き受容器に発現する起動電位におよぼす温度の影響. 日本生理誌 **40**, 290
 - 13) 坂田三弥, 山本 哲, 塚本良久(1978.9)ネコの下顎骨骨膜における Merkel cell-neurite complex の分布とその電気生理学的特性. 日本生理誌 **40**, 290
 - 14) 森田正純, 笹岡京子, 坂田三弥(1978.11)血圧脈波波形およびインピーダンス末梢容積脈波波形の周波数解析による下顎骨骨膜末梢血管動態の測定. 歯科学報 **78**, 1702
 - 15) 坂田三弥, 市川隆一(1978.11)ネコの下顎舌側粘膜における速順応単位の刺激応答にかんする特性. 歯科学報 **78**, 1703

東京慈恵会医科大学第一生理学教室

- 1) Masuda, M. & Uchino, K.(1978)A device for measuring tympanic membrane temperature in man. Jikeikai. Med. J. **25**, 95-99
- 2) Masuda, M. & Uchino, K.(1978)Human tympanic membrane temperature during sleep. Jikeikai. Med. J. **25**, 101-107
- 3) 増田 允, 内野欽司, 西牟田 守, 森本 茂, 辻和男(1978)単一運動単位の発射活動からみたふるえの末梢機序. 日本生理誌 **40**, 367
- 4) 馬詰良樹, 名取礼文, 名取礼二(1978)3次元構造を保った系での骨格筋蛋白質の特性. 日本生理誌 **40**, 301-302
- 5) Yoshino, S., Umazume, Y. & Fujime, S.(1978) Electro-optical properties of skeletal muscle fibers. VI. Int. Nat. Biophys. Cong. Abstracts 382
- 6) Fujime, S. & Umazume, Y.(1978)Sarcomere dynamics studied by photon correlation spec-

toscopy. VI. Int. Nat. Biophys. Cong. Abstracts 382

- 7) 増田 允(1978)スポーツ医学. 杏林書院
- 8) 増田 允(1978)からだのしくみ. ラボ土曜講座
- 9) 増田 允(1978)随意運動系と体温変化. 宇宙航空環境医学 **15**, 37-38
- 10) Shibayama, H., Ebashi, H., Kurata, H., Ohira, Y. & Edgerton, V. R.(1978)A design of a battery test for physical fitness and results of its application to a small group. Bulletin of the Physical Fitness Research Institute. **39**
- 11) Yoshino, S., Umazume, Y., Natori, R., Fujime, S. & Chiba, S.(1978)Optical diffraction study of muscle fibers. II. Electro-optical properties of muscle fibers. Biophys. Chem. **8**, 317-326
- 12) 内野欽司, 佐藤誠治, 増田 允(1978)運動時の胃内圧. 体力科学 **27**, 91-99
- 13) 増田 允(1978)中高年運動処方基礎的問題. 第33回日本体力医学会大会議事録 51
- 14) 長谷川 豪志, 小川 芳徳, 増田 允, 辻和男(1978)External cooling の H 反射におよぼす影響. 第33回日本体力医学会大会議事録 223
- 15) 森本 茂, 馬詰良樹, 内野欽司, 増田 允(1978)筋温の筋活動電位伝搬速度におよぼす影響. 第33回日本体力医学会大会議事録 224
- 16) 増田 允(1978)運動療法. 朝倉書店

東京慈恵会医科大学第二生理学教室

- 1) Sakai, T. (1978.9) Length-tension relation in skeletal muscle activated by caffeine and rapid-cooling. Symposium on the current problems of sliding filament model and muscle mechanics. 22
- 2) Kurihara, S. & Sakai, T.(1978)Effect of rapid cooling on toad and guinea pig cardiac muscles. Recent advances in studies on cardiac structure and metabolism(Heart function and metabolism) **11**, 181-184
- 3) Nishijima, H., Shiba, R. & Ogino, Y.(1978)The method for the preparation of fragmented sarcoplasmic reticulum from small pieces of leg skeletal muscle of rats. Jikeikai, Med. J. **25**, 287-290
- 4) Cherniack, N. S., von Euler, C., Homma, I. & Kao, F. F.(1978.5)Effects of increased respiration controller gain during hypoxia and hypercapnia on periodic breathing in cats. The regulation of Respir. during sleep and anest. Edited by R. S. Fitzgerald 423-431
- 5) Cherniack, N. S., von Euler, C., Homma, I. & Kao, F. F. (1978.5) Some effects of graded changes in central chemoceptor input by local temperature changes on the ventral surface of medulla. The regulation of Respir. during sleep

- and anest. Edited by R. S. Fitzgerald 397-402
- 6) Homma, I.(1978.9)The effect of chest wall vibration on human breathing pattern. Modelling of a biological control system. The regulation of breathing 193
 - 7) Cherniack, N. S., von Euler, C., Homma, I. & Kao, F. F. (1978.9) Effect of central and peripheral chemoreceptor drive on the stability of ventilatory control. Modelling of a Biological control System. The regulation of breathing. 211
 - 8) Cherniack, N. S., Euler, V., Homma, I. & Kao, F. F. (1978.9) Interactions between a central chemoceptive system and some other drives for ventilation. Central nervous control mechanisms in regular, periodic and irregular breathing Wenner-Gren Symposium 4
 - 9) Cherniack, N. S., Euler, V., Homma, I. & Kao F. F.(1978.9)Animal models of periodic breathing. Central nervous control mechanisms in regular periodic and irregular breathing Wenner-Gren Symposium 58
 - 10) Abbruzzese, G., Hagbarth, K-E., Homma, I. & Wallin, U.(1978.10)Excitation from skin receptors contributing to the tonic vibration reflex in man. Brain Research 150, 194-197
 - 11) Homma, I., Eklund, G. & Hagbarth, K-E. (1978.12)Respiration in man affected by TVR contractions elicited in inspiratory and expiratory intercostal muscles. Respir. Physiol. 35, 335-348
 - 12) 酒井敏夫, 原田邦彦(1978.6)筋肉 1) 運動の筋力に与える影響について, 2) トレーニングに伴う筋力の増大と筋肥大について, 3) 筋持久力に対する影響. 運動療法 p. 103-114
 - 13) 西島博明, 酒井敏夫(1978.8)骨格筋の形質膜と内部膜. 膜と神経筋・シナプス p. 255-276
 - 14) 西島博明, 司馬立, 酒井敏夫(1978)筋収縮弛緩と筋小胞体 Ca 取り込み遊離の対応. 日本生理誌 40(8,9), 300
 - 15) 谷吉彦, 西島博明他(1978)終板近傍での神経移行に関する実験的研究. 日本整形外科学会誌 52(10), p. 1447
 - 16) 司馬立, 西島博明他(1978.10)カルチトニンの骨格筋に対する影響. 中部日本整形外科災害外科学会抄録
 - 17) 本間生夫(1978.7)呼吸リズム形成機構. 臨床生理 8(4), 277-286
 - 18) 本間生夫(1978.10)ヒト胸部に対する Vibration の効果. 第8回日本脳波・筋電図学会大会 p.127
 - 19) 小林康孝, 本間生夫, 酒井敏夫(1978.10)呼吸リズムジェネレータに対する下肢運動の影響. 第33回日本体力医学会予稿集 p. 237
 - 20) 小林啓三, 小林康孝, 永井 猛他(1978)NO. II 競技種目別体力トレーニング処方に関する研究. 昭和52年日本体育協会スポーツ医・科学調査研究事業報告 p. 17-29
 - 21) 酒井敏夫, 長野哲也, 碓井外幸(1978)横行小管系一筋小胞体間の機能結合(2). 日本生理誌 40, 298-299
 - 22) 碓井外幸, 栗原 敏, 酒井敏夫(1978)食用蛙摘出膀胱平滑筋に対する TEA の効果. 第20回日本平滑筋学会総会講演抄録集 p. 52
 - 23) 原田邦彦, 永井 猛, 酒井敏夫(1978.10)Middle aged rat の exhausted muscle の in vitro における glycogen 合成能について. 第33回日本体力医学会予稿集 p. 217
 - 24) 永井 猛, 小林啓三, 酒井敏夫他(1978.10)骨格筋タイプと運動に伴う糖代謝. 第33回日本体力医学会予稿集 p. 216
 - 25) 小林啓三, 永井 猛, 酒井敏夫, 岩垣丞恒(1978.10)骨格筋タイプと運動に伴う脂肪代謝. 第33回日本体力医学会予稿集 p. 218
 - 26) 岩垣丞恒, 小林啓三, 原田邦彦, 酒井敏夫(1978.10)加齢に伴うラット骨格筋トリグリセライドの変動. 第33回日本体力医学会予稿集 p. 219
- 東京慈恵会医科大学臨床検査医学教室**
- 1) 井川幸雄(1978.1)血液ガス分析(4). 衛生検査 27(1), 4-10
 - 2) 井川幸雄(1978.2)血液ガス分析(5). 衛生検査 27(2), 126-130
 - 3) 伊藤 朗, 山口幸雄, 鬼原道夫, 杉崎哲朗, 鈴木政登, 井川幸雄(1978.3)運動時の血清ドーパミン- β -水酸化酵素活性値の動態について. 筑波大学体育科学系紀要 1, 119-130
 - 4) 井川幸雄(1978.4)CPK の正常値. 臨床検査 22(4), 449-450
 - 5) 井川幸雄(1978.4)血液ガス分析(6)一肺気量との関係一. 衛生検査 27(4), 474-478
 - 6) 長嶺晋吉, 井川幸雄, 磯貝行秀, 伊藤 朗, 香川芳子, 黒田善雄, 鈴木一正, 吉野芳夫(1978.4)スポーツ選手における貧血の発生と予防に関する研究第2報, 貧血の発生要因の検討. 日本体育協会スポーツ科学研究報告 3, 1-40
 - 7) 池田清子, 飯塚和之, 井川幸雄, 篠原秀賢(1978.4)CPK 測定試薬組成がラグタイムおよび活性値におよぼす影響. 日本臨床検査自動化研究会 3(2), 71-73
 - 8) 池田清子, 井川幸雄(1978.4) γ -GTP 測定条件の検討. 日本臨床検査自動化研究会 3(2), 74-76
 - 9) 井川幸雄(1978.5)血液ガス分析(7)一換気力学との関連一. 衛生検査 27(5), 571-576
 - 10) 井川幸雄(1978.6)血液ガス分析(8)一気管支喘息一. 衛生検査 27(6), 691-694
 - 11) 井川幸雄, 飯森糸子(1978.6)運動による血液成分の変動. 臨床検査 22(6), 616-621
 - 12) 井川幸雄, 鈴木政登(1978.7)糖尿病と身体運動. 体育の科学 28(7), 448-451

- 13) 井川幸雄(1978.7)一昭和52年度一中高年のスポーツと健康に関する研究—第2報—(尿検査と血液性状に関する検査結果について). 日本体育協会スポーツ科学研究報告 **3**, 67-72
- 14) 小野三嗣, 道明 博, 井川幸雄, 大和 真, 窪田登, 吉田幸夫, 野村晋一, 山本郁栄, 長谷川勇, 伊藤静夫(1978.7)一昭和51年度一体重減量に関する研究—第2次研究報告. 日本体育協会スポーツ科学研究報告 **2**, 1-50
- 15) 井川幸雄(1978.7)血液ガス分析(9)一肺循環の面から一. 衛生検査 **27**(7), 797-802
- 16) 井川幸雄(1978.8)血液ガス分析(10)—呼気ガスとの関連—. 衛生検査 **27**(8), 917-922
- 17) 伊藤 朗(1978.8)運動生化学, その4, 運動と脂質代謝, 運動時の Cyclic AMP と脂質代謝. 体育の科学 **8**, 85-88
- 18) 増田 允, 井川幸雄, 伊藤 朗(1978.8)スポーツ医学—中高年者とスポーツ—. 杏林書院出版 207-257
- 19) 井川幸雄(1978.9)血液ガス分析(11). 衛生検査 **27**(9), 1037-1042
- 20) 井川幸雄, 鈴木政登, 山口幸雄, 伊藤 朗(1978.9)運動負荷による特異的高血糖現象. 日本生理誌 **40**(8,9), 355
- 21) 井川幸雄(1978.10)体液・電解質 CO₂. 総合臨床 **27**(増刊号), 509-512
- 22) 鈴木政登, 井川幸雄, 塩田正俊, 山口幸雄, 小野幹夫, 伊藤 朗(1978.10)小児慢性腎不全患者の身体労作管理に関する研究(第2報). 第33回日本体力医学会議事録 201
- 23) 石川利寛, 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 小野三嗣, 伊藤 朗, 井川幸雄, 鈴木政登, 形本静夫(1978.10)持久走大会の結果について—特に5年連続参加者の結果を中心として. 第33回日本体力医学会議事録 204
- 24) 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 山口幸雄, 桑島由起子, 塩田正俊, 鈴木政登, 井川幸雄(1978.10)貧血者の生活適応能について. 第33回日本体力医学会議事録 214
- 25) 井川幸雄, 鈴木政登, 伊藤 朗(1978.11)絶食時の糖・脂質代謝とホルモンの変動. 臨床病理 **26**(補冊), 43
- 26) 伊藤 朗(1978.11)線維素溶解能力の異常を正すには運動が有効. 健康家族 **16**(11), 116-118
- 27) 桑島由起子, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 鈴木政登, 中島孝之, 山口幸雄, 鈴木浩二, 星 憲(1978.11)女子運動部員の血液性状に関する追跡的研究. 東京体育学研究 **5**, 87
- 28) 杉浦崇夫, 伊藤 朗, 桑島由起子, 鈴木政登, 中島孝之, 山口幸雄, 鈴木浩二, 星 憲(1978.11)鍛練者の血液凝固能および線維素溶解能について. 東京体育学研究 **5**, 87
- 29) 井川幸雄(1978.12)血液ガス分析(12). 衛生検査 **27**(11), 1303-1307
- 30) 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 鈴木政登, 塩田正俊, 星 憲, 鈴木浩二, 山口幸雄, 桑島由起子(1978.12)運動時の C—AMP および C—GMP と糖・脂質代謝. 日本体育学会第29回大会号 256
- 31) 正村孝至, 鈴木浩二, 星 憲, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 山口幸雄, 桑島由起子, 鈴木政登, 塩田正俊(1978.12)スポーツ幼稚園児の発育・発達. 日本体育学会第29回大会号 178
- 32) 伊藤 朗, 正村孝至, 星 憲, 鈴木浩二, 鈴木政登, 塩田正俊, 杉浦崇夫, 山口幸雄, 桑島由起子(1978.12)発育に伴う(6~12歳)VO₂maxの変化とトレーニングの影響. 日本体育学会第29回大会号 244
- 33) 山口幸雄, 桑島由起子, 鈴木政登, 中島孝之, 塩田正俊, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 星 憲, 鈴木浩二(1978.12)高校生の血中脂質値について. 日本体育学会第29回大会号 245
- 34) 鈴木政登, 塩田正俊, 山口幸雄, 桑島由起子, 星 憲, 鈴木浩二, 杉浦崇夫, 伊藤 朗(1978.12)運動時の糖・脂質代謝と血中ホルモンそのII, グルコース投与後の30分間走の動態. 日本体育学会第29回大会号 247
- 35) 鈴木政登, 鈴木理子, 塩田正俊, 山口幸雄, 桑島由起子, 星 憲, 鈴木浩二, 杉浦崇夫, 伊藤 朗(1978.12)加齢・運動と血中脂質. 日本体育学会第29回大会号 248
- 36) 鈴木政登, 塩田正俊, 山口幸雄, 桑島由起子, 星 憲, 鈴木浩二, 杉浦崇夫, 伊藤 朗(1978.12)運動負荷時の糖・脂質代謝と血中ホルモンそのI, 絶食時の20分間走の動態. 日本体育学会第29回大会号 249
- 37) 桑島由起子, 山口幸雄, 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 鈴木政登, 中島孝之, 塩田正俊, 星 憲, 鈴木浩二(1978.12)女子運動部員の血液性状に関する追跡的研究. 日本体育学会第29回大会号 246
- 38) 伊藤 朗, 杉浦崇夫, 桑島由起子, 山口幸雄, 鈴木政登, 中島孝之, 塩田正俊, 星 憲, 鈴木浩二(1978.12)鍛練群の血液凝固能・線維素溶解能について. 日本体育学会第29回大会号 250
- 39) 井川幸雄, 山口幸雄, 鈴木政登, 伊藤 朗(1978.12)ヘモグロビン低値女子高校生の体力と健康・体力意識. 体育科学 **6**, 219-228

東京女子医科大学第一生理学教室

- 1)* Hashimoto, Y. & Inokuchi, M. (1977) Effects of cone mosaic on the S-potentials in Japanese dace retina, *Tribolodon hakonesis*. Abst. of XXVII Intern. Union Physiol. Sci. p.310
- 2)* 阿部真知子, 井口三重, 橋本葉子(1977)ウグイ網膜双極細胞層より得られる応答とその発生細胞. 東大医大誌 **47**, 391
- 3)* 渡辺宏助, 須田行雄, 橋本葉子, 井口三重, 阿部真知子(1977)コイ網膜水平細胞の色光応答とE応答の波形. 日本生理誌 **39**, 362

- 4)* 橋本葉子(1977)微小電極法によるウグイ網膜内ニューロンの同定. 東女医大誌 47, 969
- 5)* 井口三重, 橋本葉子, 渡辺宏助(1977)人工呼吸下コイ網膜水平細胞のスペクトル応答と単色光背景照射の影響. 東女医大誌 47, 1142
- 6)* 藤本克己, 片桐康雄(1977)イソアワモチ背眼の感桿型視細胞に対するイオンの影響. 日本生理誌 39, 358
- 7)* 片桐康雄, 藤本克己, 片桐展子(1977)イソアワモチ背眼にみられる繊毛型および感桿型視細胞について. 東女医大誌 47, 837
- 8)* 草地良作, 永田広次, 橋口明枝(1977)延髄外側網様体刺激による吸息性ニューロンの抑制. 東女医大誌 47, 1092
- 9)* 草地良作, 永田広次, 小松 明, 山下雄平(1977)延髄外側網様体刺激による呼吸性ニューロンの応答. 日本生理誌 39, 252
- 10) 橋本葉子(1978)パターン認識に関する生理学的知見. AVIRG 会報 14, 4
- 11) 橋本葉子, 阿部真知子(1978)顕微分光光度法による単一錐体視物質の測定. 東女医大誌 48, 572
- 12) 橋本葉子, 阿部真知子, 渡辺宏助(1978)ウグイ網膜S電位への入力の検討. 日本生理誌 40, 275
- 13) 藤本克己, 片桐康雄(1978)イソアワモチ背眼感桿型視細胞の受容器電位と明暗順応. 日本生理誌 40, 280
- 14) 草地良作, 永田広次, 小松 明, 山下雄平(1978)延髄呼吸性ニューロンに対する延髄外側網様体刺激位相効果. 日本生理誌 40, 340
- 15) 小松 明(1978)ヤゴ呼吸運動の神経活動. 第22回応用動物昆虫学会講演要旨 p. 121
- 16) 片桐康雄, 藤本克己(1978)イソアワモチ背眼感桿型視細胞の過分極性後電位の性質. 東女医大誌 48, 667
- 17) Katagiri, N., Katagiri, Y. & Fujimoto, K. (1978) Ultrastructure of the dermal photoreceptor cells in *Onchidium verruculatum* (Mollusca, Gastropoda). *J. Electron Microsc.* 27, 333
- 18) 片桐康雄, 片桐展子, 藤本克己(1978)イソアワモチの Dermal photoreceptor の光応答. 動物学誌 87, 386
- 19) 小松 明(1978)ヤゴ呼吸運動の神経機構 I. 呼吸性運動ニューロン. 動物学誌 87, 402

東京女子医科大学第二生理学教室

- 1) Koyama, I. (1978.5) Amino acid concentration in the brain of a cat with spontaneous chronic epilepsy. 東女医大誌 48(5), 428-431
- 2) 田中一郎, 田内雅規(1978.8)電流固定および電圧固定法による杆体膜特性の測定. 日本生理誌 40(8,9), 274
- 3) 小山生子(1978.8)てんかん焦点の生化学. 岡山大学脳研, 夏期セミナー抄録 2-4
- 4) Ueki, K. & Kikuchi, R. (1978.9) Effect of

membrane depolarization upon the photoreceptor vesicles in the frog retina. *Abstr. of Sixth International Biophysics Congress* 174

- 5) Tauchi, M. & Tanaka, I. (1978.9) Effects of intensity and duration of photostimulus on electrical response of the rod. *Abstr. of Third International Congress of Eye Research* 267
- 6) Tanaka, I. & Tauchi, M. (1978.9) Spatial characteristics of the rod response to light stimulation. *Abstr. of Third International Congress of Eye Research* 186
- 7) Koyama, I. & Reader, T. (1978.9) The inhibitory effect of sodium-n-propyl acetate (Valproate) on the glutamate evoked firings in cobalt-induced epileptic foci of cat. *10th Epilepsy International Symposium* 10-14
- 8) Kametani, H., Sato, A., Sato, Y. & Ueki, K. (1978.12) Reflex facilitation and inhibition of gastric motility from various skin areas in rats. *Integrative Control Functions on the Brain*. ed. by M. Ito, Kodansha Scientific, Tokyo 285-287

東京都立大学理学部身体適性学

- 1)* 永田 晟, 室 増男, 北本 拓(1977.) 視覚ブロックによる運動学習と習熟システムの変化, 一追跡運動系について. 体力科学 26(4), 195-196
- 2) 北本 拓, 永田 晟, 室 増男(1978.3) 跳箱運動の習熟パターンに関する研究. キネシオロジー, セミナー予稿集 4, 11
- 3) 永田 晟, 室 増男, 北本 拓(1978.3) バッティング・スポーツの動作比較—身体各部分のスウィング軌跡. キネシオロジー, セミナー予稿集 4, 34
- 4) 永田 晟(1978.4) 筋放電頻度と運動の制御—表面筋電図のスペクトル分析から. 日本生理誌 40(8,9), 353
- 5) 永田 晟, 北本 拓, 室 増男(1978.8) 学習, 習熟システムの解析—前腕部追跡運動系について. 人間工学 14(4), 218
- 6) 室 増男, 永田 晟(1978.10) 複数筋群の同調性—上肢挙上動作時の表面筋電図クロス・スペクトル. 第33回日本体力医学会大会予稿集 145
- 7) 岩崎義正(1978.10) ラットの成長期における運動の質および量が大腿骨の発育に与える影響について. 第33回日本体力医学会予稿集 151
- 8) 品田めぐみ, 永田 晟, 磯川正教(1978.10) 多変量解析による成人の体力・健康度の分析. 第33回日本体力医学会予稿集 157
- 9) 宮崎正己, 永田 晟, 佐久間春夫(1978.10) ラケット, バッティング・スポーツの打撃動作における外部負荷の影響. 第33回日本体力医学会予稿集 96
- 10) 永田 晟(1978.10) 腕追跡運動制御系の安定性

- 一運動スパンとベクトル軌跡一. 第33回日本体力医学会予稿集 230
- 11) 日丸哲也, 永田 晟, 室 増男 (1978.10) 緩衝能発現時の運動力積について—各種着地動作時の床反力—. 第33回日本体力医学会予稿集 233
 - 12) 永田 晟, 室 増男 (1978.10) 複数筋群の同期性と協調性について—表面筋電図のクロス・スペクトル—. 第8回日本脳波, 筋電図学会学術大会予稿集 47
 - 13) 室 増男, 永田 晟, 稲永光幸, 村山慶郎 (1978.10) 各種神経筋疾患者の筋収縮特性—表面筋電図のパワー・スペクトルから—. 第8回日本脳波・筋電図学会学術大会予稿集 99
 - 14) 永田 晟, 室 増男, 北本 拓 (1978.11) 低周波数帯域における運動コントロールの解析—前腕の追跡運動について—. 東京体育学研究 5, 1-7
 - 15) 室 増男, 永田 晟, 北本 拓, 日丸哲也 (1978.11) 着地動作時の緩衝波形の力学的分析. 東京体育学研究 5, 8-14
 - 16) 室 増男, 永田 晟 (1978.12) 筋放電周波数バンドと運動パターンとの関係—表面筋電図のスペクトル分析—. 第29回日本体育学会大会号 299
 - 17) 永田 晟, 室 増男 (1978.12) 追跡運動からみた児童の調節能の解析. 第29回日本体育学会大会号 309
 - 18) 品田めぐみ, 永田 晟, 金本益男, 酒井 誠, 小椋 博 (1978.12) 健康の因子構造分析. 第29回日本体育学会大会号 426
 - 19) 日丸哲也, 永田 晟 (1978.7) 体力統計学, 新体育学講座第73巻. 逍遙書院 309
 - 20) 小野三嗣, 日丸哲也, 青山英康, 増田靖弘, 永田 晟 (1978.11) 体力テスト百科. ぎょうせい 624
- 東京薬科大学第二薬理学教室**
- 1) Morikawa, M., Inoue, M. & Tsuboi, M. (1978.3) Gastrointestinal Absorption of 1-(*m*-Chlorophenyl)-3-N, N-Dimethylcarbamoyl-5-Methoxy-pyrazole (PZ-177) in Rat and Rabbit. 応用薬理 15, 523-527
 - 2) 井上みち子, 森川正子, 坪井 実, 山田 隆, 平野和行, 佐々木正憲, 杉浦 衛 (1978.4) エステル型薬物水解に関する研究(2), ヒト小腸粘膜エステラーゼの精製とその性質. 日本薬学会第98年会講演要旨集 165
 - 3) 阿部正和, 小野三嗣, 坪井 実, 他20名 (1978.6) 運動療法(分担執筆). 朝倉書店
 - 4) 井上みち子, 森川正子, 坪井 実 (1978.6) エステル型薬物水解に関する研究(3), ヒト血清アスピリンエステラーゼについて. 第58回日本薬理学会関東部会講演要旨集 59
 - 5) 駒林隆夫, 坂本清也, 坪井 実 (1978.6) 白色脂肪組織の Lipolysis におよぼす Barbiturates の影響. 第58回日本薬理学会関東部会講演要旨集 52
 - 6) 坂本清也, 駒林隆夫, 関根康夫, 坪井 実 (1978.6) 白色脂肪組織の lipolysis におよぼす Histamine の影響. 第58回日本薬理学会関東部会講演要旨集 51
 - 7) 駒林隆夫, 坂本清也, 坪井 実 (1978.6) 剔出褐色脂肪組織の活性時代謝機構に関する研究(その2) 剔出褐色脂肪組織の lipolysis におよぼす K⁺ ならびに norepinephrine の影響. 日本生理誌 40, 127-136
 - 8) 駒林隆夫, 坂本清也, 坪井 実 (1978.6) 白色脂肪組織の lipolytic action におよぼす各種薬剤の効果. 1. Procaine および Xylocaine の影響. 日本薬理学雑誌 74, 459-466
 - 9) 相沢豊三, 坪井 実, 駒林隆夫, 他 (1978.7) 末梢性循環障害に対する Ronicol Timespan ® の臨床効果. 臨床評価 6, 317-331
 - 10) 坪井 実, 駒林隆夫, 遠藤司郎, 坂本清也 (1978.8) イヌ顎下腺の活性時代謝機構. 日本生理誌 40, 356
 - 11) 駒林隆夫, 坂本清也, 遠藤司郎, 坪井 実 (1978.8) 褐色脂肪組織の活性時代謝機構について. 日本生理誌 40, 358
 - 12) 坪井 実, 遠藤司郎, 駒林隆夫, 小舟勝利(訳) (1978.9) 目でみるネコの局所解剖学. 広川書店
 - 13) 嶋井和世, 井上みち子, 遠藤司郎, 駒林隆夫, 坂本清也, 森川正子(訳) (1978.9) 目でみる局所解剖学. 広川書店
 - 14) 坪井 実, 駒林隆夫, 遠藤司郎, 坂本清也 (1978.10) 皮膚貼付薬の疲労回復に関する基礎的研究. (サリチル酸メチル経皮吸収について). 第33回日本体力医学会大会議事録 221
 - 15) 井上みち子, 森川正子, 坪井 実, 伊藤吉将, 平野和行, 杉浦 衛 (1978.11) ヒト小腸粘膜エステラーゼの Prodrug 設計の応用. 第10回薬物代謝, 薬効, 毒性シンポジウム講演要旨集 37-40
 - 16) 坪井 実 (1978.11) 皮膚呼吸. 保健の科学 20, 736-740
 - 17) 坪井 実, 遠藤司郎, 駒林隆夫 (1978.5) 解剖, 生理学練習問題. 広川書店
- 東邦大学医学部第一生理学教室**
- 1) 奥平進之, 犬伏式生, 鳥居鎮夫, 遠藤四郎, 西原京子, 斎藤泰彦, 福田秀樹, 小林敏孝, 古閑永之助, 小野幸雄, 末永和栄 (1978.1) Butoctamide Hydrogen Succinate [BAHS] の REM 睡眠におよぼす影響—特に内服時刻の差による変化について—. 脳波と筋電図 6, 60
 - 2) 遠藤四郎, 山本卓二, 西原京子, 斎藤泰彦, 福田秀樹, 小林敏孝, 奥平進之, 小野幸雄, 古閑永之助 (1978.1) 通常昼間睡眠および各種断眠後の昼間睡眠と入眠時刻の影響(第4報)—一日内リズムとしての REM 睡眠と NREM 睡眠—. 脳波と筋電図 6, 61-62
 - 3) 荒木 攻, 魚住 徹, 児玉 久, 鳥居鎮夫, 朝比奈一男 (1978.1) 南極越冬隊員の終夜睡眠の研究. 脳波と筋電図 6, 62
 - 4) 遠藤四郎, 奥平進之 (1978.2) 脳の機能と睡眠の生

- 理. 薬局 29, 131-141
- 5) 岩村吉晃(1978.3)体性知覚系研究の進歩—ネコとサル¹の体性感覚領(SI)における情報処理の階層仮説. 特定研究「脳の統御機能」3 感覚と知覚. 伊藤正男他編, (医歯薬出版) 83-97
 - 6) Hikosaka, O., Igusa, Y. & Imai, H. (1978.3) Firing pattern of prepositus hypoglossi and adjacent reticular neurons related to vestibular nystagmus in the cat. *Brain Res.* 144, 395-403
 - 7) 渡部和彦(1978.3)電磁コイルを応用したスキー回転速度の解析. 体力科学 27, 38-39
 - 8) Okudaira, N., Inubushi, S., Torii, S. & Endo, S. (1978.4) Butoctamide Hydrogen Succinate; Effects of time of administration. Proc. APSS 18th Annual Meeting 83
 - 9) 鳥居鎮夫(1978.5)睡眠と覚醒のサイクル. 伊藤正男, 他編. 特定研究「脳の統御機能」1, 生体リズム, 医歯薬出版 101-113
 - 10) 田中美智雄, 牛久保行男(1978.5)サル体性感覚領ニューロンの応答野. 東邦医会誌 23, 546-548
 - 11) Sakata, H. & Iwamura, Y. (1978.5) Cortical Processing of tactile information in the first somatosensory and parietal association areas. in *Active Touch: the mechanism of recognition of objects by manipulation* (ed. G. Gordon) Pergamon 65-77
 - 12) Iwamura, Y. & Tanaka, M. (1978.6) Postcentral neurons in the hand region of area 2: their possible role in the form discrimination of tactile objects. *Brain Res.* 150, 662-666
 - 13) Iwamura, Y. & Tanaka, M. (1978.6) Functional organization of receptive fields in the cat somatosensory cortex. I: integration within the coronal region. *Brain Res.* 151, 49-60
 - 14) Iwamura, Y. & Tanaka, M. (1978.6) Functional organization of receptive fields in the cat somatosensory cortex. II: second representation of forepaw in the ansate region. *Brain Res.* 151, 61-72
 - 15) Watanabe, K. (1978.6) Running speed of skiing in relation to posture. in *Biomechanics of Sports and Kinanthropometry* (eds. F. Landry, W. A. R. Orban) 203-210
 - 16) 渡部和彦(1978.6)スキー滑走速度に関する実験: 重心, 重量および姿勢. 体協スポーツ科学委員会編, 体協スポーツ科学調査研究事業報告(52年度). 140-146
 - 17) 岩村吉晃, 田中美智雄(1978.9)サル体性感覚野(SI)ニューロンの受容特性. 日本生理誌 40, 254
 - 18) 奥平進之(1978.10)Butoctamide Hydrogen Succinate (BAHS)の夜間睡眠におよぼす影響—終夜ポリグラフィによる検討. 脳波と筋電図 6, 207-217
 - 19) Iwamura, Y., Tanaka, M. & Hikosaka, O. (1978.11) Functional organization of neurons in area 2 of monkey somatosensory cortex (SI). Proc. Society For Neuroscience, 8th Annual Meeting 554
 - 20) Inubushi, S., Kobayashi, T., Oshima, T. & Torii, S. (1978.12) Intracellular recordings from the motor cortex during EEG arousal in unanaesthetized brain preparations of cat. *Jap. J. Physiol.* 28, 669-688
 - 21) Inubushi, S., Kobayashi, T., Oshima, T. & Torii, S. (1978.12) An intracellular analysis of EEG arousal in cat motor cortex. *Jap. J. Physiol.* 28, 689-708
 - 22) Nishihara, K., Sakamoto, H., Endo, S., Okudaira, N. & Suenaga, K. (1978.12) Long-duration polygraphic sleep recording by a portable cassette data recorder—technical evaluation and application—. *Waking and Sleeping* 2, 135-136
 - 23) Hikosaka, O., Igusa, Y., Nakao, S., & Shimazu, H. (1978.12) Direct inhibitory synaptic linkage of pontomedullary reticular burst neurons with abducens motoneurons in the cat. *Exp. Brain Res.* 33, 337-352
 - 24) Iwamura, Y. (1978.12) Neuronal mechanisms of active and passive touch. in *Integrative Control Functions of the Brain* (ed. M. Ito) Kodansha 1, 73-81
 - 25) Torii, S. (1978.12) Sleep-wakefulness control. in *Integrative Control Functions of the Brain* (ed. M. Ito) Kodansha 1, 353-354
 - 26)* Okudaira, N., Inubushi, S., Torii, S., Nishihara, K. & Endo, S. (1977,12) The effect of Butoctamide Hydrogen Succinate on the nocturnal sleep. *Sleep Res.* 6, 79

東邦大学医学部第二生理学教室

- 1) 金松知幸, 高木芳夫, 阿相皓晃, 平野修助(1978.4)脳の発達におよぼす胎生期高フェニールアラニン血症の影響. 日本生理誌 40, 274
- 2) 柳下次雄, 松島正浩, 安藤 弘, 阿相皓晃, 平野修助(1978.4)BBNラット膀胱発癌の解糖系と核酸代謝. 日本泌尿器科学会抄録誌 112
- 3) 松島正浩, 柳下次雄, 安藤 弘, 阿相皓晃, 平野修助, 伊藤金次, 川村貞夫(1978.4)BBNラット膀胱腫瘍のヌードマウス移植実験について. 尿路悪性腫瘍研究会抄録
- 4) Takagi, Y., Kanamatsu, T. & Hirano, S. (1978.8) Postnatal Changes of Neurochemical Aspects in Developmental Brain Tissue of Maternal Hyperphenylalaninemic Rat. *Toxicological Sciences* Vol. 3, 266
- 5) 平野修助(1978.7)実験的フェニールケトン尿症

- (PKU). 神経研究の進歩 739
- 6) 柴田家門, 松元幹郎, 長沢貞継, 高須信美, 吉井信夫, 栗津三郎, 平野修助 (1978.10) dibutyryl cyclic AMP による ENU 誘発脳腫瘍とヒト脳腫瘍の細胞化学的変動の相関性. *Neurologia* **18**, 23
 - 7) 金松知幸, 高木芳夫, 阿相皓晃, 野田行文, 平野修助, 中井健而 (1978.10) Ethylnitrosourea induced の clone 化細胞のアミノ酸代謝特にアミノ酸への ^{14}C および ^{15}N の Incorporation について. *神経化学* **17**, 281
 - 8) Kanamatsu, T., Takagi, Y., Hirano, S. & Nakai, K. (1978.10) Postnatal Changes of Several Enzyme Activities in Developmental Brain Tissue of Maternal Hyperphenylalaninemic Rat. *Neurochemical Research* **3**, 659
 - 9) Asou, H., Noda, Y., Ishizawa, H. & Hirano, S. (1978.10) Effect of K^+ -rich Medium on Glycolysis and ^{36}Cl Uptake in Brain Slices of Developing Rat. *Neurochemical Research* **3**, 661
 - 10) 安部井徹, 高根俊之, 井上 浄, 佐川 寛, 高木芳夫, 平野修助 (1978.11) 呼吸 CO_2 よりみた糖代謝について. *医用マス研究会講演集* 55
 - 11) 阿相皓晃, 金松知幸, 高木芳夫, 平野修助 (1978.11) 発達に伴う脳組織の解糖系について一特に発達初期を中心として. *生化学* **50**, 929
 - 12) 平野修助, 高木芳夫 (1979.2) 妊娠時における高フェニールアラニン食投与の時期と脳発達の相関について. *必須アミノ酸研究* 23

日本大学医学部第一生理学教室

- 1) 森 昭雄, 石川友衛, 宮沢多恵子 (1978.1) 肋間神経反射に対する横隔神経の作用. *脳波と筋電図* **6** (1.2), 37
- 2) 松田佳宜 (1978.2) 脊髄神経節電位についての研究一第一報, とくに波形の分立とその性質一. *日大医誌* **37**(2), 133-137
- 3) 伊藤尚雄 (1978.2) 脊髄神経節電位についての研究一第二報, とくに脊髄神経節の衝撃時間について一. *日大医誌* **37**(2), 139-143
- 4) 荒井久雄 (1978.3) 心室電位の種々相. *日大医誌* **37**(3), 213-217
- 5) Wada, S. (1978.6) Transdermal Potentials at Acupoints and Their Outsides. *Nihon Univ. J. Med.* **20**(2), 107-119
- 6) 森 昭雄, 石川友衛, 宮沢多恵子, 藤原孝之 (1978.8) 半規管刺激による自律神経反射への効果. *日本生理誌* **40**(8.9), 320
- 7) 円谷 豊, 石引 昭, 中山博夫, 和田すみ (1978.8) 迷走神経に対する磁場による autonomic conditioning. *日本生理誌* **40**(8.9), 318-319
- 8) 森 昭雄 (1978.10) ヒトの SBS 反射に関する研究. 第33回日本体力医学会 予稿集, 183
- 9) Mori, A., Ishibiki, A. & Shiratsuchi, T. (1978.

12) Changes in H wave's Amplitude by Respiration in Partial Block of the Tibial Nerve. *Nihon Univ. J. Med.* **20**(4), 359-369

日本大学医学部第二生理学教室

- 1) 有賀豊彦, 沢井洋子, 今井英雄, 銭場俊彦, 遠藤英二, 大柴 進, 八木 洋, 梶原長雄 (1978.2) 実験モデルとしてのウサギの線溶系の特徴. *日大医誌* **37**, 195
- 2) 山中善明, 松山 仁, 佐久間成晴, 斎藤英雄, 今井英雄, 大柴 進 (1978.2) 実験的気道炎症と血液および局所線溶. *日大医誌* **37**, 195
- 3) 大柴 進, 有賀豊彦, 沢井洋子, 今井英雄, 銭場俊彦 (1978.4) 胆汁路系 Plasminogen activator に関するその後の研究: ヒトおよびウシ BK の若干の性質について. *日血会誌* **41**, 281
- 4) 岡 治道, 海津嘉蔵, 波多野道信, 有賀豊彦, 大柴 進 (1978.4) 腎疾患患者の尿中 FPA 測定とその臨床的意義. *日血会誌* **41**, 375
- 5) 有賀豊彦, 名取純子, 大柴 進, 岡 治道, 海津嘉蔵, 波多野道信 (1978.5) 血液および尿中 Fibrinopeptide A の測定に関する基礎的検討. *臨床血液* **19**, 746
- 6) 山中善明, 佐久間成晴, 斎藤英雄, 今井英雄, 有賀豊彦, 大柴 進 (1978.7) SPF ウサギの実験的気道炎症における血液局所線溶の観察. *日大医誌* **37**, 842
- 7) 大柴 進, 有賀豊彦, 沢井洋子, 今井英雄, 名取純子, 遠藤英二 (1978.9) 肝胆系における線維素溶解酵素系に関する研究(第9報), —Bilokinase の免疫学的性質について—. *日本生理誌* **40**, 332
- 8) 波多野道信, 海津嘉蔵, 岡 治道, 大柴 進, 有賀豊彦 (1978.9) ヒト腎疾患の進展・増悪因子としての腎内血液凝固. *日本内科誌* **67**, 1119
- 9) 海津嘉蔵, 波多野道信, 今井英雄, 大柴 進 (1978.9) 腎疾患における尿中 FDP と腎機能との関係並びに Warfarin と Heparin 投与のおよぼす影響. *血液と脈管* **9**, 332-336
- 10) 有賀豊彦 (1978.9) ウサギにおける線溶現象の特徴に関する研究. *日大医誌* **37**, 1117
- 11) 遠藤英二 (1978.9) 骨髄線溶系の分析ならびに放射線の影響に関する研究. *日大医誌* **37**, 1109
- 12) 山中善明, 佐久間成晴, 斎藤英雄, 今井英雄, 有賀豊彦, 大柴 進 (1978.10) 実験的気道炎症と血液および局所線溶. *臨床血液* **20**(補 I), 254
- 13) 有賀豊彦, 遠藤英二, 大柴 進, 岡 治道, 海津嘉蔵 (1978.10) Fibrinopeptide A (FPA) の血中消失および尿中出现について. *臨床血液* **20**(補 I), 268

日本医科大学第一生理学教室

- 1)* 加藤 漸 (1977.10) 差動方式による新しい光電脈波計とそわ理論面および実際面での問題点. *埼玉医科大学雑誌* **4**(2), 213-219

日本医科大学第二生理学教室

- 1) Fujita, Y., Iwasa, H., Shinogi, M. & Matsuzawa, I. (1978) Electrophysiological properties of chronically stimulated pyramidal cells in the rabbit hippocampus. *IBRO News* 6, 33
- 2) Fujita, Y. (1978) Two types of IPSPs and a model of the dendrites in the hippocampal pyramidal cell. *日本生理誌* 40, 256
- 3) 井上孝道, 川辺幹男(1978)ウサギ毛様体神経単位に対する網膜よりの交叉性および非交叉性入力. *日本生理誌* 40, 283
- 4) 井上孝道(1978)ウサギ毛様体神経の遠心性単位発射様式. *日医大誌* 45, 95-102
- 5) 松高賢一(1978)幼若ウサギ海馬錐体細胞の電気現象. *日医大誌* 45, 143-148
- 6) 小泉 勇(1978)ウサギにおける内頸動脈血流の調節と頸動脈洞の役割. *日医大誌* 45, 175-180
- 7) 池田正憲(1978)ウサギにおける脱血の体血圧と内頸動脈血流量におよぼす影響および頸動脈洞神経の役割. *日医大誌* 45, 181-186
- 8) 岩佐英之(1978)シナプスを介する入力に対するウサギ海馬錐体細胞の活動様式. *日医大誌* 45, 59-67

国立公衆衛生院生理衛生学部

- 1)* 浅野牧茂 (1977.10) 受動的喫煙の身体的影響. *日本医事新報* 2788, 137
- 2)* 小川庄吉, 長田泰公, 栃原 裕, 大中忠勝, 山崎信也, 大池東茂子, 吉田敬一, 浅見雅子 (1977.12) 軽作業時の温冷感に関する研究. *公衛院研報* 26(3.4), 142-151
- 3)* Osada, Y., Ohkubo, C., & Miyazaki, K. (1977.12) Vasoconstricting Effect and Perceived Noisiness of Intermittent Noise. *Bull. Inst. Publ. Health* 26(3.4), 171-177
- 4) 長田泰公(1978.1)健康被害に関する証言—公衆衛生の立場から—. *公害研究* 7(3), 17-25
- 5) 長田泰公(1978.1)いわゆる近隣公害の特徴とその影響. *東京都公害局実務研修テキスト* 22
- 6) 浅見牧茂(1978.2)微小循環1. 微小循環研究の歴史. *Medical Tribune*(2.2), 25-26
- 7) 浅見牧茂(1978.3)微小循環2. 微小循環の生理学的研究法-1. *Medical Tribune*(3.2), 17-18
- 8) 浅見牧茂(1978.3)末梢血流におよぼす薬物の作用. *トキシコロジー(浦口健二編)* 地人書館 515-540
- 9) 浅野牧茂(1978.3)末梢血管における透過性におよぼす薬物の作用. *トキシコロジー(浦口健二編)* 地人書館 540-561
- 10) 浅野牧茂(1978.3)生体顕微鏡法により観察された血漿分離流. 文部省科研費特定研究「心臓血管系の基礎研究」Ⅲ. (吉田常雄編) 253-259
- 11) 浅野牧茂, 大久保千代次(1978.3)喫煙の循環系におよぼす研究(7). ウサギの経鼻的喫煙時における薬理的自律神経遮断の影響. 第51回日本薬理学会総会要旨集 152
- 12) 浅野牧茂(1978.4)微小循環3. 微小循環の生理学的研究法-2. *Medical Tribune*(4.6), 17-18
- 13) 浅野牧茂(1978.4)ヒト皮膚における微小循環動態. *脈管学* 18(2), 119-126
- 14) 浅野牧茂, 大久保千代次(1978.4)喫煙の CO-Hb レベルおよび心臓血管系機能ならびに精神神経機能におよぼす影響について. *日衛誌* 33(1), 346
- 15) 浅野牧茂, 大久保千代次 (1978.4) Rabbit ear chamber 内微細循環調節機転の局在性に関する研究 (7) Vitamin E 投与時における微細循環動態. *日本生理誌* 40(8,9), 322
- 16) 浅野牧茂, 大久保千代次, 宮崎藏敏(1978.4)外科的侵襲を伴わない動物用定量的喫煙装置の開発およびその応用(3). 昭和52年度喫煙と健康に関する委託研究報告概要(Ⅱ)(日本専売公社) 249-260
- 17) Asano, M. (1978.4) Cutaneous microcirculation in man. *脈管学* 18(2), 187-188
- 18) 長田泰公(1978.4)公衆衛生院における教育訓練の動向. *公衆衛生* 42(4), 254-259
- 19) 浅野牧茂(1978.5)微小循環4. 微小循環系の基本的構造. *Medical Tribune* (5.4), 17-18
- 20) 浅野牧茂(1978.5)微小循環動態の血行力学的計測について. 第3回流体計測部会資料(計測自動制御学会) 23-32
- 21) 浅野牧茂(1978.6)微小循環5. 微小循環系の生理的血行力学-1. *Medical Tribune*(6.1), 17-18
- 22) 浅野牧茂(1978.6)生体顕微鏡法により観察した生理的条件下の微細循環系血管内血球成分の挙動について. *日本バイオレオロジー学会. 第1回年会講演予稿集* 44
- 23) 浅野牧茂(1978.6)ヘモレオロジー研究における生体顕微鏡法. *日本バイオレオロジー学会. 第1回年会講演予稿集* 51
- 24) 大久保千代次(1978.6)ヒトにおけるたばこ主流煙および副流煙の呼吸循環系におよぼす影響. *日薬理誌* 74(8), 174-175
- 25) 長田泰公 (1978.6) 水泳プール管理の実際. (プールの維持管理に関する委員会編) *KKぎょうせい* 199(総頁数)
- 26) 長田泰公(1978.6)新訂. 公害防止の技術と法規(騒音編). (公害防止の技術と法規編集委員会編) 産業公害防止協会, 319(総頁数)
- 27) 浅野牧茂(1978.7)微小循環6. 微小循環系の生理的血行力学-2. *Medical Tribune*(7.6), 17-18
- 28) 浅野牧茂(1978.8)微小循環7. 微小循環系血管内における血球成分の挙動. *Medical Tribune* (8.3), 17-18
- 29) 浅野牧茂(1978.8)パイプ, 葉巻, 紙巻たばこ喫煙の比較. *日本医事新報* 2835, 140-141
- 30) 浅野牧茂, 大久保千代次 (1978.8) 受動的喫煙 (Passive Smoking) に関する研究. *ビルの環境衛生管理*(2), 52-54

- 31) 長田泰公, 小川庄吉, 吉田敬一(1978.8)安静時と作業時の至適温度条件の比較. 日本生理誌 **40** (8.9), 261
- 32) 浅野牧茂(1978.9)微小循環8. 局所循環における血漿分離流. *Medical Tribune*(9.7), 21-22
- 33) 浅野牧茂(1978.9)毛細血管の解剖と生理(訳書). 地人書館 300(総頁数)
- 34) 浅野牧茂, 大久保千代次(1978.9) Trimetazidine の皮膚微細循環動態におよぼす影響について. *脈管学* **18**(6), 815
- 35) Asano, M. (1978.9) Visualized physiological state of microcirculation. *Asian Med.* **21**(9), 61-64
- 36) 大久保千代次, 長田泰公(1978.9)間欠騒音の睡眠影響. *日本公衛誌* **25**(10), 342
- 37) 浅野牧茂(1978.10)微小循環9. 実験的ショック時の生体顕微鏡的微小循環所見. *Medical Tribune*(10.5), 21-22
- 38) 浅野牧茂(1978.10)妊娠および出産後の喫煙の影響. *Medical News* **209**, 26-28
- 39) 浅野牧茂, 大久保千代次(1978.10)受動的喫煙(pas:ive smoking)における主流煙と副流煙の急性作用の比較. *日本公衛誌* **25**(10), 578
- 40) 浅野牧茂(1978.11)微小循環10. 微小循環系血行動態におよぼす薬物の作用. *Medical Tribune* (11.2), 21-22
- 41) 浅野牧茂(1978.12)生体顕微鏡法により観察された Low flow state. *脈管学* **18**(8), 927-934
- 42) 浅野牧茂(1978.12)インスリン低血糖時における微小循環. *Diabetes J.*, **6**(4), 189-193
- 43) 浅野牧茂(1978.12)喫煙の生体影響. *生活教育* **22** (12), 10-21
- 44) 浅野牧茂, 大久保千代次(1978.12)ウサギ皮膚微細循環(microcirculation, MC)におよぼす経鼻的シガレット吸煙の影響について. (2)正常時における主流煙と副流煙の比較. *循環器科* **4**(6), 511
- 45) Asano, M. (1978.12) Microcirculatory low flow state under insulin-induced hypoglycemia observed by vital microscopy. *脈管学* **18**(8), 1011
- 46) Asano, M. & Ohkubo, C. (1978.12) Studies on cardiovascular and microvascular effects of smoking on man and animals. (7) Effects of autonomic blockade on cardiopulmonary responses to nasal inhalation of cigarette smoke in the rabbit. *Jap. J. Pharmacol.* **28**(Suppl), 110
- 47) 長田泰公(1978.12)騒音の心身への影響. *建築技術* **328**, 163-169
- 2) Sakata, H. & Iwamura, Y. (1978.5) Cortical Processing of tactile information in the first somatosensory and parietal association areas in the monkey. *Active Touch* 55-72
- 3) 佐藤昌康(1978.7)受容器電位と受容物質. *神経研究の進歩* **22**, 660-661
- 4) 島村宗夫, 平岡満里(1978.7)ヒトの反射性瞬目の筋電図学的分析. *脳波と筋電図* **6**, 117-126
- 5) 酒田英夫(1978.7)大脳皮質の機能的構造. *神経研究の進歩* **22**, 664-665
- 6) 酒田英夫(1978.7)頭頂連合野の研究. 感覚と知覚(脳の統御機能) **3**, 99-112
- 7) 島崎久仁子, 佐藤昌康, 竹上 勉(1978.8)ラット舌抽出タンパク質と ¹⁴C-ショ糖との結合. 第12回味と匂のシンポジウム発表論文集 5-7
- 8) 島崎久仁子, 佐藤昌康(1978.9)マカク舌のじ状, 有かく乳頭内の甜味受容タンパク質. *日本生理誌* **40**, 293
- 9) 島村宗夫(1978.9)脳幹網様体脊髓路細胞の諸性質について. *日本生理誌* **40**, 239
- 10) 小池宏之(1978.9)甲殻類・光受容器細胞からの光刺激による GABA の放出. *日本生理誌* **40**, 234
- 11) 渋谷英敏, 酒田英夫, 河野憲二(1978.9)頭頂連合野ニューロンの視覚性運動に対する反応. *日本生理誌* **40**, 284
- 12) Sakata, H., Shibutani, H. & Kawano, K.(1978.9) Parietal neurons with dual sensitivity to real and induced movement of visual target. *Neurosci. Letters* **9**, 165-169
- 13) 島村宗夫(1978.9)感覚と運動系の実験法. *医用電子と生体工学* **16**, 363-366
- 14) 島村宗夫(1978.10)ヒトの脳の緩電位変動. *脳波と筋電図* **6**, 167-175
- 15) Koike, H. & Tsuda, K.(1978.11)Acetylcholine synthesis in a stretch receptor cell of crayfish in vivo. *Integrative Control Function of the Brain* **1**, 36-37
- 16) Mano, N. & Yamamoto, K.(1978.11)Automatic and reliable discrimination between simple and complex spikes of a cerebellar Purkinje cell. *Integrative Control Functions of the Brain. Vol. 1*, 212-214
- 17) Hiraoka, M. & Shimamura, M.(1978.11)EMG study of human reflex blinking by air puff stimulation. In: *Integrative Control Functions of the Brain.* **1**, 205-206
- 18) 島村宗夫, 平岡満里(1978.11)ベル現象における脳幹網様体の関与について. *脳波と筋電図* **6**, 14
- 19) 島村宗夫, 木暮いく子(1978.11)歩行運動の際の四肢の体重移動について. *脳波と筋電図* **6**, 38
- 20) 酒田英夫(1978.12)身体像と空間視の神経機構—頭頂連合野を中心にして—. *神経系の統合機構(モダンバイオロジーシリーズ)* **36**, 164-185

東京都神経科学総合研究所神経生理学部門

- 1) 佐藤昌康, 森元克士(1978.1)味覚を司るトランスミッター. *日本臨床* **36**, 112-118

東京都神経科学総合研究所病態神経生理学部門

- 1) Inubushi, S., Kobayashi, T., Oshima, T. & Torii, S. (1978) Intracellular recordings from the motor cortex during EEG arousal in unanaesthetized brain preparations of the cat. *Jap. J. Physiol.* **28**, 669-688
 - 2) Inubushi, S., Kobayashi, T., Oshima, T. & Torii, S. (1978) An intracellular analysis of EEG arousal in cat motor cortex. *Jap. J. Physiol.* **28**, 689-708
 - 3) Illert, M. & Tanaka, R. (1978) Integration in descending motor pathways controlling the forelimb in the cat 3. Convergence on propriospinal neurones transmitting disinaptic excitation from the corticospinal tract and other descending tracts. *Exp. Brain Res.* **29**, 323-346
 - 4) Illert, M. & Tanaka, R. (1978) Integration in descending motor pathways controlling the forelimb in the cat. 4. Corticospinal inhibition of forelimb motoneurons mediated by short propriospinal neurones. *Exp. Brain Res.* **31**, 131-141
 - 5) Illert, M., Lundberg, A., Padel, Y. & Tanaka, R. (1978) Integration in descending motor pathways controlling the forelimb in the cat. 5. Properties of and monosynaptic excitatory convergence on C3-C4 propriospinal neurones. *Exp. Brain Res.* **33**, 101-130
 - 6) 田中勳作, 柳沢信夫(1978)ヒトの脊髄反射一屈筋Ib線維による下腿三頭筋H波への相反性抑制効果について. 文部省特定研究, 脳の統御機能報告書(1) 85-86
 - 7) 大嶋知一, 篠崎和行(1978)予告期間と反応時間. 脳波と筋電図 **6**, 38-39
 - 8) 田中勳作(1978)急速な運動切り替え時に見られる拮抗筋抑制の機序について. 脳波と筋電図 **7**, 30
 - 9) 川合述史, 丹羽昭子(1978)活動電位ブロック後の神経筋伝達について. *日本生理誌* **40**, 228
 - 10) 川合述史, 堀真一郎, 丹羽昭子, 阿部 岳(1978)ハチ毒ペプチド(E)のシナプス伝達に対する作用. *生化学* **50**, 692
 - 11) 阿部 岳, 堀真一郎, 辰野 高, 丹羽昭子, 川合述史(1978)ハチ毒ペプチド(E)の精製とその構造. *生化学* **50**, 693
- 東京都神経科学総合研究所心理学研究室
- 1)* Azumi, K., Shirakawa, S. & Takahashi, S. (1977) A proposal of new classification for body movement during sleep. —Variations of body movement through a week—. *Sleep Res.* **6**, 44
 - 2)* Takahashi, Y., Higuchi, T., Takahashi, K., Niimi, Y. & Miyasita, A. (1977) Twenty-four-hour secretory patterns of growth hormone, prolactin and cortisol in REM narcoleptic patients. *Sleep Res.* **6**, 89
 - 3)* 高橋康郎, 海老原成光, 中村芳子, 高橋清久(1977)イヌにおける睡眠時成長ホルモン(CGH)分泌の研究第4報:自動装置による強制覚醒の長さ,時刻の影響と再現性. *日本内分泌誌* **53**, 498
 - 4)* Niimi, Y. (1977) Skin potential level and sleep. XVIII International Congress of Neurovegetative Research Proceedings. 233-235
 - 5)* 大川匡子, 玉川公子, 佐々木日出男, 篠崎 猛, 高橋清久, 高橋康郎(1977.12)失脳患者の日内リズム. 第1回日本睡眠学会定期学術集会抄録集 **18**
 - 6)* 阿住一雄, 白川修一郎, 角園敏洋, 大浜永俊(1977.12)夜間睡眠における紡錘波活動とその臨床. 第1回日本睡眠学会定期学術集会抄録集 **15**
 - 7) 海老原成光, 高橋康郎, 中村芳子, 高橋清久(1978)実験室条件下でのイヌの睡眠特性. 脳波と筋電図 **6**, 59
 - 8) 宮下彰夫, 新美良純, 犬上 牧, 谷田部真由美, 市原 信, 宮内 哲, 石原金由(1978)夜間睡眠におよぼす昼間睡眠の影響. 脳波と筋電図 **6**, 61
 - 9) 市原 信, 石原金由, 宮内 哲, 宮下彰夫, 新美良純(1978)昼間睡眠の入眠時刻と皮膚電位活動. 脳波と筋電図 **6**, 61
 - 10) 高橋康郎, 海老原成光, 中村芳子, 高橋清久(1978)イヌにおける睡眠時成長ホルモン(CGH)分泌の研究第3報:自動装置による強制覚醒の長さ,時刻の影響と再現性. 脳波と筋電図 **6**, 62
 - 11) 白川修一郎, 大浜永俊, 阿住一雄(1978)睡眠紡錘波の7夜における解析. 脳波と筋電図 **6**, 62
 - 12) 樋口輝彦, 高橋康郎, 高橋清久, 新美良純, 宮下彰夫, 中村芳子(1978)ナルコレプシーにおける血漿成長ホルモン, コルチゾール, プロラクチンの24時間変動. *臨床脳波* **20**, 95-103
 - 13) 高橋康郎, 高橋清久(1978)イヌにおける睡眠時成長ホルモン分泌の実験モデル第3報:自動強制覚醒装置による強制覚醒の長さ,時刻の影響と再現性. *脳研究会誌* **4**, 144-145
 - 14) 大浜永俊, 白川修一郎, 阿住一雄(1978)睡眠薬による睡眠紡錘波の反応. *脳研究会誌* **4**, 152-153
 - 15) 角園敏洋, 白川修一郎, 阿住一雄(1978)入眠期における緩徐, 眼球運動の時間的推移. *脳研究会誌* **4**, 154-155
 - 16) 海老原成光, 高橋康郎, 中村芳子, 西千恵子, 高橋清久(1978.4)イヌにおける12時間強制覚醒後の睡眠段階変化. 日本獣医学会85回大会講演要旨 **153**
 - 17) 阿住一雄, 白川修一郎, 大浜永俊, 小栗 貢(1978.5)各種睡眠示標といわゆる“first night effect”との関連について,とくに紡錘波出現率を中心に. 日本睡眠学会第2回定期学術集会抄録集 **6**
 - 18) 高橋康郎, 海老原成光, 中村芳子, 西千恵子, 高橋清久(1978.5)イヌの12時間強制覚醒後にみられ

- る高振幅徐波睡眠と REM 睡眠の時間的分布差—ヒト睡眠との類似性について. 日本睡眠学会第2回定期学術集会抄録集 8
- 19) 大川匡子, 玉川公子, 佐々木日出男, 篠原 猛, 高橋清久, 高橋康郎(1978.5)ヒトの日内リズムとその中枢機構. 日本睡眠学会第2回定期学術集会抄録集 14
 - 20) 白川修一郎, 阿住一雄, 大浜永俊, 小栗 貢(1978.5)Benzodiazepine 系睡眠薬および Meth-aqualone による睡眠紡錘波の増加について. 日本睡眠学会第2回定期学術集会抄録集 31
 - 21) 白川修一郎, 角園敏洋, 阿住一雄(1978.6)正常睡眠における体動について—その定量的解析. 臨床脳波 **20**, 386-393
 - 22) 高橋康郎, 樋口輝彦, 高橋清久, 中村芳子(1978.6)入眠時の血漿成長ホルモンとプロラクチン値の上昇と脳波の周波数帯域別パワーの変動との時間的対応. 日本内分泌誌 **50**, 325
 - 23) 新美良純(1978.7)皮膚の電気現象. 電気学会誌 **98**, 620-624
 - 24) 高橋康郎, 高橋清久(1978.8)睡眠覚醒サイクルと内分泌機能. 脳の統御機能ワークショップ“脳機能研究のストラテジーについて”抄録集 7-10
 - 25) 宮下彰夫, 新美良純(1978.10)Skin Potential Activity の研究(4)—徐波睡眠と自発性 SPR—. 日本心理学会42回大会論文集 124-125
 - 26) 宮下彰夫, 市原 信, 宮内 哲, 石原金由, 新美良純(1978)夜間睡眠におよぼす昼間睡眠の影響. 脳波と筋電図 **6**, 183-191
 - 27) Takahashi, Y., Ebihara, S., Nakamura, Y., Nishi, C. & Takahashi, K.(1978)Temporal distributions of delta wave sleep and REM sleep during recovery sleep period after 12-hr enforced wakefulness in the dog. IBRO News **6**, 30
 - 28) 平井富雄, 阿住一雄, 白川修一郎(1978)睡眠薬の睡眠紡錘波におよぼす影響(第2報)—紡錘波自動分析装置を用いて—. 精神薬療基金年報 **9**, 155-163
 - 29) 高橋康郎, 海老原成光, 中村芳子, 高橋清久(1978)ナルコレプシー治療薬のスクリーニング法について—午前, 午後2回反復記録法による薬物効果の検定—精神薬療基金年報 **9**, 201-209
 - 30) 高橋康郎, 樋口輝彦, 高橋清久(1978)睡眠覚醒リズムに関係する下垂体前葉ホルモン分泌—特に徐波睡眠と成長ホルモン分泌の相関について. 最新医学 **32**, 1791-1799
 - 31) 高橋康郎, 高橋清久(1978)睡眠覚醒サイクルと内分泌機能. 伊藤正男, 入沢宏, 小幡邦彦, 鳥居鎮夫, 松尾裕(編)脳の統御機能1巻, 生体リズム医歯薬出版 117-144
 - 32) 高橋康郎, 大川匡子, 高橋清久(1978)睡眠・覚醒と静止・活動のリズム. 佐々木隆, 千葉喜彦(編)時間の生物学 朝倉書店 151-178
- ★ 東京医科歯科大学難治疾患研究所
神経生理学部門**
- 1) 村田計一(1978.2)聴覚生理学の現状とその展望. 国立生理学研究所シンポジウム
 - 2) Hashimoto, T., Murata, K., Minami, S., Taniguchi, I. & Katayama, Y. (1978.3) Computer-Aided group audiometry. J. Auditory Res. **17** (No.2) 59-76
 - 3) 勝木保次, 村田計一, 柳沢慧二(1978.3)聴覚中枢とその情報伝達. 文部省特定研究「脳の統御機能」研究報告書 (1) 29-30
 - 4) 村田計一(1978.4)両耳刺激の蝸牛での干渉について. 日本生理誌 **40**(8.9), 286-287
 - 5) 橋本 享, 村田計一, 谷口郁雄(1978.4)音声情報の特徴抽出. 日本生理誌 **40**(8.9), 288
 - 6) Murata, K. (1978.5) Coding and processing of speech sounds in the auditory pathway. 国立生理学研究所シンポジウム
 - 7) 村田計一(1978.6)聴覚の生理機構. 第2回日本蝸電図研究会
 - 8) 棚橋汀路, 村田計一(1978.6)ニューロン活動よりみた蝸電図 AP. 第2回日本蝸電図研究会
 - 9) 村田計一(1978.6)聴覚末梢でのフィードバック機構について. 日本音響学会聴覚研究会資料, 資料番号 H-51-3
 - 10) Watanabe, T. & Sakai, H.(1978.7)Responses of the cat's collicular auditory neuron to human speech. J. Acoust. Soc. Amer, **64**(No.1), 333-337
 - 11) 村田計一(1978.9)¹⁴C デオキシグルコースによる聴覚伝導路のマッピング. 第25回日本生理学中部談話会予稿集 34
 - 12) 村田計一, 堀川順生, 棚橋汀路(1978.10)対側音刺激による蝸牛神経放電の抑制. Audiology Jap. **21**(No.5), 507-508
 - 13) Murata, K. & Tanahashi, T.(1978.11)Suppression of auditory nerve discharges by contralateral stimulus. J. Acoust. Soc. Amer. **64** Suppl. 1, 136
- 東京都精神医学総合研究所神経生理部門**
- 1) 鈴木二郎(1978.1)疾患モデルとしてのスナネズミ(Mongolian gerbil). 実験動物 **27**(1), 21-24
 - 2) 鈴木二郎(1978.1)てんかんモデルとしてのスナネズミの育種学的純化と発作誘発法改良. 文部省研究報告集録(昭52実験動物) 103-105
 - 3) 鈴木二郎, 松岡佳子, 岡崎守博(1978)スナネズミの発作発現. 脳波と筋電図 **6**(1,2), 83-84
 - 4) 鈴木二郎, 中本百合江(1978)El マウス発作の誘発刺激特異性. 脳波と筋電図 **6**(1,2), 57
 - 5) 鈴木二郎(1978.7)てんかん治療・最近の進歩. 臨床精神医学, 最新のトピックス, 石川 毅編(星和書店) 159-187
 - 6) Iwamura, Y., Okuno, A., Nakamoto, Y. & Suzuki, J. (1978.9) Blood Pressure and Rem Sleep in

- Normotensive and Spontaneously Hypertensive Rats. Proc. 3rd Int. Symp. on SHR & Related Studies 44
- 7) Suzuki, J. & Nakamoto, Y. (1978.9) Abnormal Plasticity in the Mutant El Mouse of a Sensory Precipitating Epilepsy. Proc. Epilepsy Int. Symp. 158
 - 8) Suzuki, J. & Nakamoto, Y. (1978.4) Sensory Precipitating Epilepsy Focus in El Mice and Mongolian Gerbils. Folia Psychiat. Neurol. Jap. 32(3), 349-350
 - 9) 鈴木二郎(1978)感覚誘発性遺伝てんかんマウスにおける異常可塑性. 日本生理誌 40(8,9), 268
 - 10) 鈴木二郎, 中本百合江(1978) El マウスおよびスナネズミにおける感覚誘発性てんかん焦点. てんかんに挑む, 堀 浩編(国際てんかん学会日本支部) 11
 - 11) 宇野正威, 小沢信幸, 山本健一(1978)視床髄板内核から VL 核への投射について. 日本生理誌 40(8,9), 248
 - 12) Uno, M., Ozawa, N. & Yoshida, M. (1978) The mode of pallido-thalamic transmission investigated with intracellular recording from cat thalamus. Exp. Brain Res. 33, 493-507
 - 13) Uno, M., Ozawa, N. & Yamamoto, K. (1978) Antidromic responses of thalamic VL neurons to cortical stimulation in cats. In: M. Ito, N. Tsukahara, K. Kubota & K. Yagi (Eds), Integrative Control Functions of the Brain, Vol. 1, Kohdansha, Tokyo/Elsevier, Amsterdam (1978) 196-198
- 東京都老人総合研究所生理学部基礎第一研究室**
- 1)* Iriki, M., Kozawa, E., Korner, P. I. & Dorward, P. (1977. 11) Baroreflex "resetting" in various regional sympathetic efferents during arterial hypoxia in normal and decerebrated rabbits. Proc. of XVIII Int. Cong. Neurovegetative Res. 92-94
 - 2) 長崎絃明, 入来正躬(1978.5) DSIP (睡眠ペプチド) の効果. 日本睡眠学会第2回定期学術集会抄録集 19
 - 3) Uchizono, K., Nagasaki, H., Iriki, M., Inoué, S., Ishikawa, M. & Komoda, Y. (1978.6) Humoral Control of Sleep. Neurohumoral Correlates of Behaviour 3, 35-49
 - 4) 長崎絃明, 入来正躬, 東 晃史, 本多和樹, 井上昌次郎, 菟田泰夫, 石川正幸, 内藺耕二(1978.9) マウス脳波の自動分析による睡眠ペプチドの効果検定. 日本生理誌 40(8,9), 267
 - 5) 本多和樹, 井上昌次郎, 菟田泰夫, 石川正幸, 長崎絃明, 入来正躬, 東 晃史, 内藺耕二(1978.9) 睡眠促進物質の生理効果. 日本生理誌 40(8,9), 273
- 6) 入来正躬, 永井正則(1978.9) 魚類における温度刺激と末梢血流. 日本生理誌 40(8,9), 363
 - 7) Iriki, M. & Simon, E. (1978.9) Regional differentiation of sympathetic efferents. Integrative control functions of the brain, Ed. M. Ito, Kodansha 1, 221-238
 - 8) 入来正躬, 古沢恵美, 井口敏男(1978.11) 温度刺激に対する無麻酔家ウサギ腎交感神経活動性の応答. 日生氣誌 15, 7
 - 9) 入来正躬, Riedel, W. (1978.11) 発熱時の交感神経地域性反応. 第31回日本自律神経学会総会抄録集 35
 - 10) 古沢恵美, 入来正躬(1978.11) 無麻酔家ウサギ腎交感神経活動性に対する Propranolol の作用. 第31回日本自律神経学会総会抄録集 52
 - 11) 野本茂樹, 入来正躬(1978.11) 冬眠動物の生理機能—耐寒性を中心として—. 第4回動物生理学シンポジウム予稿集 23
 - 12) 野本茂樹, 入来正躬(1978.12) 冬眠動物の耐寒性. 動物学雑誌 87(4), 415
 - 13) Nagai, M. & Iriki, M. (1978.12) Autonomic response of the fish to pyrogen. Experientia 34, 1177-1178
 - 14) Nagai, M. & Iriki, M. (1978.12) Body colour response of the carp (cyprinus carpio) during asphyxia. Jap. J. Physiol. 28, 265-273
 - 15) Hales, J. R. S., Iriki, M., Tsuchiya, K. & Kozawa, E. (1978.12) Thermally-induced cutaneous sympathetic activity related to blood flow through capillaries and arteriovenous anastomoses. Pflügers Arch. 375, 17-24
- 東京都老人総合研究所基礎第二生理研究室**
- 1) Calaresu, F. R., Kim, P., Nakamura, H. & Sato, A. (1978.3) Electrophysiological demonstration of a reno-renal reflex. Proc. of 18th Int'l Congr. of Neurovegetative Res. 90-91
 - 2) Sato, A., Sato, Y. & Schmidt, R. F. (1978.3) Autonomic reflexes elicited by stimulation of muscle afferent nerves in the cat. Proc. of 18th Int'l Congr. of Neurovegetative Res. 106-108
 - 3) Coote, J. H. & Sato, A. (1978.3) Supraspinal regulation of spinal reflex discharge into cardiac sympathetic nerves. Brain Res. 142, 425-437
 - 4) 伊藤憲一, 加世田正和, 佐藤昭夫, 鳥瀧裕子(1978.3) ネコの脊髄レベルで見出された皮膚電気反射の興奮性および抑制性反応について. 臨床生理 8, 149-156
 - 5) 佐藤昭夫(1978.4) 体性神経刺激で誘発される自律神経反射. 自律神経 15, 88-96
 - 6) 佐藤昭夫, 亀谷秀樹, 中村は江(1978.6) 自律神経系の解剖と生理. 総合リハビリテーション 6, 397-402
 - 7) 佐藤昭夫, 佐藤優子, Schmidt, R. F., 鳥瀧裕子

- (1978.9) 脊髄性律動的膀胱排尿収縮におよぼす体性感覚神経の刺激効果. 日本生理誌 **40**, 319
- 8) 佐藤昭夫, 佐藤優子, Schmidt, R. F.(1978.9) 心臓および膀胱機能におよぼす骨格筋求心性神経の刺激効果. 日本生理誌 **40**, 319
- 9) 佐藤昭夫, 島田文代, 遠藤朝彦 (1978.10) 皮膚—内臓反射. 産婦人科 Mook 3 (婦人の心身症) 金原出版 101-108
- 10) Calaresu, F. R., Kim, P., Nakamura, H. & Sato, A.(1978.10) Electrophysiological characteristics of renorenal reflexes in the cat. *J. Physiol.* (Lond.) **283**, 141-154
- 11) Aihara, Y., Nakamura, H., Sato, A. & Simpson, A. (1978.12) Relations between various fiber groups of vagal and splanchnic nerves and gastric motility in rats. *Neuroscience Letters* **10**, 281-286
- 12) Kametani, H., Sato, A., Sato, Y. & Ueki, K. (1978.12) Reflex facilitation and inhibition of gastric motility from various skin areas in rats. In: Integrative Control Functions of the Brain, Vol. 1 M. Ito(ed.), Kodansha, Tokyo. 285-287
- 13) Ito, K., Kaseda, M., Sato, A. & Torigata, Y. (1978.12) Excitatory and inhibitory electrodermal reflexes evoked by cutaneous stimulation in acute spinal cats. *Jap. J. Physiol.* **28**, 737-747
- 7) 三浦玲子, 木谷健一, 金井節子(1978.2) ラットにおける腹部血流動態の薬剤による変化……特に門脈・肝動脈血流比について. 肝臓 **19**, 228
- 8) 木谷健一(1978.3) 特発性門脈高圧症における脾臓の関与について. 厚生省特定疾患 特発性門脈圧亢進症調査研究班 昭和52年度研究報告書 (班長杉浦光雄) 80-82
- 9) 木谷健一(1978.3) ラットにおけるブコロームの利胆機序. 日本生理誌 **40**, 342
- 10) Kitani, K., Kanai, S. & Miura, R. (1978.5) Increased biliary excretion of ouabain induced by bucolome in the rat. *Clin. Exp. Pharmacol. Physiol.* **5**, 117-124
- 11) 木谷健一 (1978.5) 肝色素代謝と加齢. 肝臓 **19**, 523
- 12) Kitani, K. & Iuchi, M.(1978.7) Age related differences in the liver size of schistosomiasis with positive skin test but without liver diseases. *Research in filariasis and schistosomiasis. M. Yokogawa(ed.)* **3**, 55-59
- 13) 井内正彦, 木谷健一, 新発田杏子 (1978.8) RIA-gnost® AFP (PEG法) の基礎検討及び慢性日本住血吸虫症に合併する肝疾患における血清 AFP 含量. 核医学 **15**, 591-597
- 14) 川口新一郎, 飯尾正宏, 木谷健一, 簗田由季子, 三浦玲子 (1978.10) ^{99m}Tc 標識 Pyridoxylideneisoleucine (Pi) の胆汁内排泄に及ぼすブコロームの効果. 核医学 **15**, 836

東京都老人総合研究所臨床第一生理研究室

- 1)* Kitani, K., Murata, H. & Iio, M. (1977.9) The roles of the liver and lungs on the plasma clearances of immune complexes of human serum albumin (HSA) and of human serum albumin microaggregates (MIAA). The difference between rats and dogs. Abstracts of the International Kupffer Cell Symposium 27
- 2)* Kitani, K. (1977) Functional aspects of the ageing liver. *Liver and Ageing* F. K. Schattauer Verlag Stuttgart-New York Ed. D. Platt 5-17
- 3) 木谷健一, 井内正彦, 新発田杏子(1978.1) 慢性日本住血吸虫症に合併する肝疾患における血中甲状腺ホルモン. 肝臓 **19**, 67-73
- 4) 木谷健一, 金井節子, 三浦玲子, 土屋美威子, 森田良子 (1978.1) イヌの毛細胆管胆汁産生, BSP Tm におよぼす利胆剤の効果セクレチン, タウロコール酸, ブコロームの比較. 肝臓 **19**, 33-42
- 5) Kitani, K., Kanai, S., Miura, R., Morita, Y. & Kasahara, M.(1978.1) The effect of ageing on the biliary excretion of ouabain in the rat. *Exp. Gerontol.* **13**, 9-17
- 6) 金井節子, 木谷健一, 三浦玲子, 土屋美威子, 森田良子 (1978.1) 肝生理機能におよぼす加齢の影響 5: ラットの ICGt1/2 と maximal removal capacity(MRC) の不一致の要因. 日本老年医学会雑誌 **15**, 87
- 15) 木谷健一, 三浦玲子, 辻野大二郎, 関田則昭, 千田麗子, 佐々木康人, 染谷一彦, 高橋孝子 (1978.10) ^{99m}Tc-HIDA の胆汁内排泄に及ぼすフェノバルビタールの促進効果. 核医学 **15**, 836
- 16) 木谷健一, 佐々木康人, 新発田杏子, (1978.10) 健常日本人成人男子の甲状腺ホルモン値の検討. 核医学 **15**, 856
- 17) 木谷健一, 三浦玲子, 金井節子, 簗田由季子, 川口新一郎, 飯尾正宏, 千田麗子, 佐々木康人, 染谷一彦 (1978.10) ^{99m}Tc 標識胆道造影物質の排泄機序 HIDA と Pi(pyridoxylideneisoleucine) の差. 核医学 **15**, 890
- 18) 三浦玲子, 木谷健一, 金井節子, 川口新一郎, 飯尾正宏 (1978.10) 有機陰イオン, BSP とタウロコール酸の胆道排泄経路の撰択性. 核医学 **15**, 906
- 19) 金井節子, 木谷健一, 三浦玲子, 野久保宗孝 (1978.10) 肝生理機能に対する加齢の影響 6. コルヒチンのラット胆汁内排泄に及ぼす加齢効果. 日本老年医学会雑誌 総会号 **15**, 35
- 20) 木谷健一, 簗田由季子, 佐々木康人, 染谷一彦 (1978.11) ^{99m}Tc HIDA の胆汁内排泄に及ぼす BSP (sulfobromophthalein) の阻害効果. 核医学 **15**, 999-1003
- 21) 野久保宗孝, 土屋美威子, 木谷健一 (1978.11) Blue Sepharose CL-6B を用いる HMG-CoA

- reductase の精製. 生化学 **50**, 660
- 22) Murata, H., Kitani, K., Iio, M., Yamada, H., Chiba, K., Matsui, K. & Kawaguchi, S. (1978. 11) Lung uptake of technetium-99m microaggregated human albumin in the rat after treatment with microaggregated human albumin or macroaggregated human albumin. *Eur. J. Nucl. Med.* **3**, 257-261
- 23) Kitani, K., Suzuki, Y. & Miura, R. (1978. 12) Differences in the effects of secretin and glucagon on the blood circulation of unanesthetized rats. *Acta hepatogastroenterol.* **25**, 470-473
- 24) Kitani, K. (1978. 12) Liver and Aging-1978 Elsevier/North-Holland Biomedical Press. Amsterdam-New York-Oxford.
- 25) Kitani, K., Kanai, S. & Miura, R. (1978. 12) Hepatic metabolism of sulfobromophthalein (BSP) and indocyanine green (ICG) in aging rats. Liver and Aging-1978 Elsevier/North-Holland Biomedical Press Amsterdam-New York-Oxford Ed. K. Kitani 145-156
- 26) Kitani, K., Miura, R. & Kanai, S. (1978. 12) Difference in the effect of bucolome on the hepatic transport maximum of sulfobromophthalein and indocyanine green. *Tohoku J. exp. Med.* **126**, 247-256
- 27) 木谷健一 (1978. 12) 特発性門脈高圧症……諸外国の症例, 診断, 及びその病態と病因についての一考察. *肝臓* **19**, 1192-1194
- 東京都老人総合研究所臨床第二生理研究室**
- 1) 松田 保 (1978. 1) 脳血管障害における凝固. *脳と神経* **30**, 13-25
- 2) 松田 保 (1978. 1) 血液凝固. 線溶異常の判定. *臨床生理* **8**, 70-75
- 3) 松田 保 (1978. 1) DIC. 検査と技術 **6**, 6-11
- 4) 松田 保 (1978. 2) DIC (血管内凝固症候群) のすべて, 内科領域から(総論). *臨床病理, 臨時増刊* **32**, 85-100
- 5) 松田 保, 嶋田裕之 (1978. 2) DIC (血管内凝固症候群) のすべて, 病理面から (DICの病理). *臨床病理, 臨時増刊* **32**, 217-226
- 6) 松田 保 (1978. 2) 心筋硬塞と血液凝固. *心臓* **10**, 231-236
- 7) 松田 保, 平林直子, 小河原緑, 関 俊子 (1978. 3) Hyperviscosity syndrome の治療. *循環器科* **3**, 212-219
- 8) 松田 保, 小河原緑, 児玉直子, 松崎俊久, 村上元孝 (1978. 3) 老年者の凝固, 線溶一加令と凝固線溶阻止因子ならびにプラスミノゲン. *血液と脈管* **9**, 35-40
- 9) 松田 保, 右見正夫 (1978. 6) DIC 症候群. *臨床検査* **22**, 622-629
- 10) 松田 保 (1978. 6) 血管内凝固症候群 (DIC). *内科* **41**, 1238-1245
- 11) 松田 保 (1978. 6) 凝固阻止因子の消費. *日血会誌* **41**, 597-603
- 12) 松田 保 (1978. 6) DIC の病態生理. 高久史磨編: 血液疾患最近の進歩(金原出版) 364-371
- 13) 村上元孝, 松田 保 (1978. 7) 虚血性心疾患の内科治療—抗凝血薬療法—. *内科* **42**, 9-15
- 14) 松田 保 (1978. 7) 生理的凝固線溶阻止物質の臨床—成人病(動脈硬化, 心筋硬塞, 糖尿病). *臨床血液* **19**, 947-952
- 15) Matsuda, T. & Murakami, M. (1978. 8) Disseminated intravascular coagulation (DIC) in the elderly. Abstracts for sectional sessions of the XIth International Congress of Gerontology 118
- 16) Matsuda, T. (1978. 9) Effects of elevated hematocrit values on thrombosis. *Excerpta Medica International Series No. 415*, 750-752
- 17) 松田 保, 小河原緑, 平林直子, 関 俊子, 村上元孝 (1978. 9) 諸種疾患における血漿中 α_2 -マクログロブリンおよび α_1 -アンチトリプシンの変動. *医用酵素* **3**, 13-19
- 18) 松田 保 (1978. 9) 抗凝血薬療法のコントロール狭心症, 心筋硬塞. *内科セミナー永井書店* 390-404
- 19) Matsuda, T. (1978. 9) Effects of antiplatelet drugs or oral anticoagulants on platelet function or levels of antithrombin III in plasma. Abstracts I for VIII World Congress of Cardiology 34
- 20) 松田 保 (1978. 10) ショックと DIC. *ICU と CCU* **2**, 833-839
- 21) 松田 保 (1978. 10) DIC の概念. *臨床病理* **26**, 836-839
- 22) 松田 保, 小河原緑, 平林直子, 関 俊子 (1978. 11) 種々のウロキナーゼ製剤の血栓溶解能の比較—Chandler's loop 法を用いた検討. *臨床と研究* **55**, 3719-3721
- 23) 松田 保 (1978. 11) 蛇毒療法. *臨床成人病* **8**, 1687-1694
- 24) Matsuda, T. (1978. 12) DIC (disseminated intravascular coagulation) in the aged. *Acta Haem. Jap.* **41**, 1094-1101

虎の門病院生理学科

- 1) 江部 充 (1978. 1) 臨床検査室要覧(分担). *科学新聞社* 483-492
- 2) 本間伊佐子 (1978. 1) 臨床検査室要覧(分担). *科学新聞社* 483-492
- 3) 橋本 勲, 石山陽事, 戸塚元吉 (1978. 1) 聴覚性脳幹反応による脳幹障害の局在診断の試み. *脳波と筋電図* **6**, 12-13
- 4) 本間伊佐子, 矢島一枝 (1978. 2) 脳波の A B C (22) 小児科的疾患. *日本医事新報 No. 2807*, 79-82

- 5) 石山陽事(1978.2)医療電子機器標準化における基準のあり方. 日本電子工業振興協会, 調査報告書 **52**, 33-43
- 6) 石山陽事(1978.2)医療電子機器信頼性における病院調査. 日本電子工業振興協会: 調査報告書 **52**, 52-58
- 7) 石山陽事, 本間伊佐子, 江部 充(1978.4)基準電極の活性化と視覚誘発反応波形. 第55回日本生理学会大会予稿集 98
- 8) 江部 充(1978.4)脳波のABC(24). 日本医事新報 No. 2815, 79-82
- 9) 江部 充(1978.5)異常脳波の見方. 臨床病理 **26**(5), 437-438
- 10) 橋本 勲, 石山陽事, 江部 充, 戸塚元吉(1978.5)聴覚性脳幹反応(記録法と臨床応用). 脳神経外科 **6**(5), 431-436
- 11) 江部 充(1978.6)医用電子生体工学, ME事典(分担執筆). 日本ユム・イー学会編, コロナ社
- 12) 石山陽事, 本間伊佐子, 江部 充(1978.7)頭部外基準電極法の記録における心電図の除去法. 医用電子と生体工学 **16**, 143
- 13) 本間伊佐子(1978.9)脳波の賦活試験. 検査と技術 **6**(9), 713-719
- 14) 江部 充(1978.9)病院設備総覧. 産業調査会 405-413
- 15) 本間伊佐子(1978.9)病院設備総覧. 産業調査会 405-413
- 16) 橋本 勲, 石山陽事, 戸塚元吉(1978.9) Monitoring Brainstem Function during Posterior Fossa Surgery with Brainstem AEPS. International Evoked Potential Symposium Proceeding.
- 17) 川名ふささ, 松林賢治, 石山陽事, 本間伊佐子, 江部 充(1978.10)コンピュータによる脳波所見処理. 第8回日本脳波筋電図学会予稿集 62
- 18) 石山陽事, 江部 充, 本間伊佐子(1978.10)基準電極部位の脳波電位の波及について. 第8回日本脳波筋電図学会予稿集 65
- 19) 本間伊佐子, 石山陽事, 江部 充(1978.10)体表より導出した脊髄誘発電位の性質. 第8回日本脳波筋電図学会予稿集 38
- 20) 石山陽事, 江部 充, 本間伊佐子(1978.10)臨床脳波記録における基準電極の役割. 脳波と筋電図 **6**(4), 192-198
- 21) 本間伊佐子(1978.10)表面電極による筋電図波形. Medical Technology **6**, 846-848
- 22) 遠藤和彦, 江部 充, 蒲田英明, 田村昌士(1978.11)各種肺疾患における肺弾性収縮力の検討. 臨床病理 **26**, 568
- 23) 橋本 勲, 石山陽事, 戸塚元吉(1978.10)聴覚性脳幹反応のTopographic recording. 第8回日本脳波筋電図学会大会予稿集 155
- 24) 塩沢瞭一, 田辺 等, 野沢胤美, 本間伊佐子(1978.10)神経原性筋萎縮における単一線維筋電図, 組織学的所見との対比を中心として. 第8回日本脳波筋電図学会大会予稿集 140
- 25) 石山陽事, 坂本省介(1978.11)生理機能検査と写真技術. 臨床検査 **22**, 1402-1409
- 26) 本間伊佐子(1978.11)正常筋電図と異常筋電図. Medical Technology **6**, 919-922
- 27) 本間伊佐子(1978.12)異常筋電図. Medical Technology **6**, 1019-1021

三菱化成生命科学研究所脳神経化学研究室

- 1) Amano, T. (1978.8) Establishment of mouse neuroblastoma clone N18, rat glioma clone C6, and rat striated muscle clone 16 in serum-free, chemically defined medium. National Cancer Institute Monograph **48**, 347-350
- 2) Miyake, M. (1978.10) The development of action potential mechanism in a mouse neuronal cell line in vitro. Brain Res., **143**, 349-354
- 3) Arimatsu, Y., Seto, A. & Amano, T. (1978.11) Localization of α -bungarotoxin binding sites in mouse brain by light and electron microscopic autoradiography. Brain Res., **147**, 165-169

三菱化成生命科学研究所脳神経生理学研究室

- 1) Urano, A. & Kobayashi, H. (1978.1) Effect of noradrenaline and dopamine injected into the supraoptic nucleus on urine flow rate in hydrated rats. Exp. Neurol. **60**, 140-150
- 2) Inouye, S. T., Noguchi, S. & Kawamura, H. (1978.1) Circadian rhythm of multiple unit activity in the rat hypothalamic island. IBRO News **6**, 27
- 3) 井上慎一, 鷺尾 宏(1978.4)細胞内・外・昆虫筋微小電位の統計的性質. 日本生理誌 **40**, 227
- 4) 川村 浩(1978.5)ヒトの感覚機能. 生物としてのヒト. 講座・現代の医学1, 253-267
- 5) 井上慎一, 川村 浩(1978.7)視交叉上核と脳内神経活動のサーカディアンリズム. 日本生理誌 **40**, 427
- 6) 川村 浩(1978.8)古典的条件づけの神経機構. 神経研究の進歩 **22**, 915-925
- 7) Kawamura, H. & Inouye, S. T. (1978.9) Circadian oscillation of multiple unit activity in the hypothalamic island. Abstracts of the Naito International Symposium on "Biorhythm and its Central Mechanism" 51
- 8) Washio, H. M. & Inouye, S. T. (1978.10) The effect of calcium and magnesium on the spontaneous release of transmitter at insect motor nerve terminals. J. Exp. Biol. **75**, 101-112
- 9) 川村 浩(1978.10)運動と知覚・感覚. 新体育 **11**, 13-17
- 10) 山元大輔, 鷺尾宏(1978.10)昆虫骨格筋における

スパイク発生のイオン機構。動物学雑誌, 第49回
日本動物学会大会号 78, 401

- 11) 鷺尾 宏, 山元大輔 (1978.11) 昆虫筋・興奮性接
合部電位に対する L-グルタミン酸エステルの作用。
第4回動物生理学シンポジウム抄録集 S-34

三菱化成生命科学研究所生理心理学研究室

- 1) Kawamura, H. & Ibuka, N. (1978.1) The search
for circadian rhythm pacemakers in the light
of lesion experiments. *Chronobiologia* 5, 69-88
- 2) 川村 浩, 井深信男 (1978.4) 生体時計の局在と機
能。脳の統御機能 I, 生体リズム 13-29
- 3) 池上司郎, 川村 浩 (1978.4) ネコ眼球垂直運動オ
ペラント条件づけの“罰領域”自己刺激効果。日
本生理誌 40, 269
- 4) 井深信男, 川村 浩, 関口茂久 (1978.7) サーカデ
ィアンリズムの発現と同調機構。続・バイオリズ
ムとその機構 168-189
- 5) 斎藤喜人 (1978.10) 眼球運動学習に対する薬物の
作用, —L-DOPA と Chlorpromazine—。関西心
理学会第90回大会発表論文集 36
- 6) 花田安弘, 川村 浩 (1978.10) 感覚系誘発電位の
日周リズム。日本心理学会第42回大会発表論文集
84
- 7) 斎藤喜人, 川村 浩 (1978.10) 眼球運動学習に対
する薬物の作用, —コリン作動性薬物の効果—。
日本心理学会第42回大会発表論文集 88
- 8) 野口節子, 川村 浩 (1978.10) メスラットの脳の
周期的活動。日本心理学会第42回大会発表論文集
134
- 9) 池上司郎, 川村 浩 (1978.10) 三叉神経前橋部切
断ネコにおける眼球運動のオペラント条件づけ,
—暗黒条件下における視覚野・上丘の誘発電位の
分析—。日本心理学会第42回大会発表論文集 142

NHK放送科学基礎研究所視聴科学研究室

- 1) 斎藤秀昭, 深田芳郎 (1978.4) 網膜神経節細胞の受
容野における抑制機構。日本生理誌 40, 278
- 2) Toyama, K., Tanaka, K. & Kimura, M. (1978)
On-Line Computer System for Vision Experi-
ments: Control of Visual Stimuli and Analysis
of Neuronal Signals. *Brain Theory Newsletter*
3, 170-172
- 3) Tanaka, K. & Toyama, K. (1978) Computer-
Controlled Visual Stimulator for Electrophys-
iological Experiments. *Vision Res.* 18, 743-
745
- 4) Fukada, Y. & Saito, H. (1978.9) Inhibitory
Processes in the Receptive Field of the Cat's
Retinal Ganglion Cell. VIth Internat. Biophysics
Congress Abstr. 24

財団法人明治生命厚生事業団体力医学研究所

- 1)* 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 浅見高明, 芳
賀脩光 (1977.11) 柔道国際試合強化選手の立位姿

勢の特徴。武道学研究 10(2), 51-54

- 2) 江橋 博, 芝山秀太郎 (1978.1) 長時間走における
生理的諸変量の変化。体育の科学 28(1), 34-41
- 3) 荒尾 孝, 生山 匡, 小山内博 (1978.1) 線維素溶
解能および血液凝固能におよぼす最大運動の影
響。体力研究 38, 1-12
- 4) 堤 達也, 後藤芳雄, 喜多尚武 (1978.1) 運動能力
および代謝的変動におよぼす筋 glycogen 消耗の
影響。体力研究 38, 13-25
- 5) 芝山秀太郎, 江橋 博 (1978.1) 運動による身体機
能の生理的評価。体力研究 38, 26-52
- 6) 西島洋子, 芝山秀太郎, 江橋 博, 浅野哲男
(1978.3) 中学校柔道部員における体力の推移と練
習後の疲労。第5回東京体育学会総会予稿集 3-4
- 7) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 芳賀脩光,
浅見高明 (1978.3) Conformateur による柔道強化
選手の立位姿勢の解析。武道学研究 10(3), 28-
41
- 8) 生山 匡, 荒尾 孝, 小山内博 (1978.3) Benzidine
による Hepatoma 発生の運動による抑制に関す
る実験的研究(その2)。体力研究 39, 1-16
- 9) 江橋 博, 芝山秀太郎, 後藤芳雄, 西島洋子
(1978.3) 持久性運動時の生体反応に関する研究,
(3) スキー・ディスタンスについて。体力研究 39,
17-37
- 10) 後藤芳雄, 喜多尚武, 堤 達也, 江橋 博, 芝山
秀太郎 (1978.3) 長期トレーニングによる運動時の
代謝的変動および内分泌反応の変化。体力研究
39, 38-55
- 11) Shibayama, H., Ebashi, H., Kurata, H., Ohira,
Y. & Edgerton, V. R. (1978.3) A design of a
battery test for physical fitness and results of
its application to a small group. *Bull. Phys.
Fitness Res. Inst.* 39, 56-69
- 12) 芝山秀太郎, 江橋 博 (1978.3) 柔道における「絞
め」と末梢循環系の応答。講道館柔道科学研究会
紀要 5, 55-64
- 13) Shibayama, H. & Ebashi, H. (1978.3) The
SHIME (strangle hold) in judo and the re-
sponse of the peripheral circulatory system.
Bull. Ass. Sci. Stu. Judo 5, 61-70
- 14) 芝山秀太郎, 江橋 博 (1978.8) 壮年者の身体
training の効果と detraining の影響。日本生理
誌 40(8.9), 353
- 15) 江橋 博, 芝山秀太郎 (1978.8) Prolonged
exercise に関する研究(6)。日本生理誌 40(8.9),
353-354
- 16) 堤 達也 (1978.9) 運動と副腎皮質ホルモン。体育
の科学 28(9), 641-646
- 17) 芝山秀太郎, 江橋 博 (1978.10) 運動処方実践に
ともなう生理機能変化の機転。体育の科学 28
(10), 683-689
- 18) 生山 匡, 荒尾 孝, 小山内博 (1978.10) マウス
の肝細胞腫の発生に対する運動の抑制効果に関す

- る実験的研究. 体育の科学 28(10), 766-767
- 19) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 松沢真知子 (1978.10) スポーツ競技における心拍間隔の経時的変化, (4) 鍛練生の不整脈について. 第33回日本体力医学会総会抄録集 85
 - 20) 江橋 博, 芝山秀太郎, 西島洋子, 松沢真知子 (1978.10) 運動が高血圧中高年者の網膜血管径におよぼす影響. 第33回日本体力医学会総会抄録集 131
 - 21) 西島洋子, 芝山秀太郎, 江橋 博, 松沢真知子 (1978.10) 歩行が中高年者の有酸素的作業能におよぼす影響. 第33回日本体力医学会総会抄録集 169
 - 22) 生山 匡, 荒尾 孝, 今野広隆, 片岡幸雄, 和田光明, 佐野裕司, 小山内博 (1978.10) 青年, 青年長距離走鍛練者および中高年者の運動中の血圧変動特性について. 第33回日本体力医学会総会抄録集 173
 - 23) 後藤芳雄, 青木和江, 喜多尚武, 堤 達也 (1978.10) トレーニング中における運動負荷時の血中基質の変動. 第33回日本体力医学会総会抄録集 203
 - 24) 石河利寛, 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 小野三嗣, 伊藤 朗, 井川幸雄, 鈴木政登, 形本静夫 (1978.10) 持久走大会の結果について, 特に5年間連続参加者の結果を中心として. 第33回日本体力医学会総会抄録集 204
 - 25) 荒尾 孝, 生山 匡, 小山内博 (1978.10) 長時間走が血液凝固能および線維素溶解能におよぼす影響. 第33回日本体力医学会総会抄録集 205
 - 26) 喜多尚武, 後藤芳雄, 堤 達也 (1978.10) 中時間・中等強度の断続運動がおよぼす血漿 FFA・血中乳酸・血糖の変動. 第33回日本体力医学会総会抄録集 206
 - 27) 堤 達也, 後藤芳雄, 喜多尚武 (1978.10) 同じ時間, 同じ運動量の断続運動時の代謝的変動. 第33回日本体力医学会総会抄録集 208
 - 28) 江橋 博, 芝山秀太郎, 西島洋子 (1978.10) 持久的身体活動の生体反応に関する研究(4). 体力研究 40, 1-21
 - 29) 堤 達也, 後藤芳雄, 喜多尚武 (1978.10) 運動強度と総時間の同じ断続運動時の代謝的変動. 体力研究 40, 22-34
 - 30) 芝山秀太郎, 江橋 博 (1978.10) 簡易心拍動収録装置に関する試作と検討. 体力研究 40, 35-42
 - 31) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 浅野哲男 (1978.11) 中学校柔道部員における体力の推移と練習後の疲労. 東京体育学研究 5, 15-24
 - 32) 江橋 博, 芝山秀太郎, 西島洋子, 松沢真知子 (1978.11) 心拍応答を指標とした階段登高の運動処方. 人類働態学研究会第13回大会抄録集 3
 - 33) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 松沢真知子 (1978.11) 大学女子運動部員の摂取エネルギーの分類. 人類働態学研究会第13回大会抄録集 3
 - 34) Ebashi, H. & Shibayama, H. (1978.12) Effect of physical exercise on the diameters of retinal blood vessels in men of young and elder ages. Abstracts of Asian Congress of Sports and Health 9-10
 - 35) Shibayama, H. & Ebashi, H. (1978.12) A study on energy requirement and energy source in cross-country skiing. Abstracts of Asian Congress of Sports and Health 26
 - 36) 江橋 博, 芝山秀太郎, 西島洋子 (1978.12) 運動が高血圧中高年者の循環機能におよぼす影響. 日本体育学会第29回大会号 228
 - 37) 後藤芳雄, 堤 達也 (1978.12) 長期トレーニングによる all-out exercise の時間におよぼす代謝的変動. 日本体育学会第29回大会号 290
 - 38) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子 (1978.12) トレッドミル・テストからみた中学生の体力水準. 日本体育学会第29回大会号 428
 - 39) 芝山秀太郎, 江橋 博, 西島洋子, 浅野哲男 (1978.12) 呼吸循環機能からみた中学校の柔道授業. 日本体育学会第29回大会号 429
 - 40) 芝山秀太郎, 江橋 博, 後藤芳雄, 西島洋子 (1978.12) アイス・スケートを運動処方とするときの生理的機能の応答. 体育科学 6, 25-37

神奈川歯科大学生理学教室

- 1) Sugaya, E. & Onozuka, M. (1978) Intracellular calcium: its movement during pentylene tetrazole-induced bursting activity. Science 200, 797-799
- 2) Sugaya, E., Takato, M., Noda, Y. & Sekiya, Y. (1978) Glial cells and spreading depression. Dynamic Properties of Glial Cells. (Eds.: Schoffeniels et al.) Pergamon Press 305-314
- 3) Sugaya, E., Onozuka, M., Usami, M. & Sugaya, A. (1978) Ionic distribution changes during bursting activity induced by pentylene tetrazole in a single isolated snail neuron: tentative application of electron probe X-ray microanalyser to a single isolated neuron. Abnormal Neuronal Discharges. (Eds.: N. Chalazonitis & M. Boisson) Raven Press 407-418
- 4) Sugaya, A., Tsuda, T., Sugaya, E., Takato, M. & Takamura, K. (1978) Effect of Chinese medicine "Saiko-Keishi-To" on the abnormal bursting activity in snail neurons. Planta Medica 3, 294-298
- 5) Onozuka, M., Sugaya, E., Usami, M. & Sugaya, A. (1978) Intracellular calcium distribution map and chemical shift of neurons examined by computer controlled electron probe X-ray microanalyser. Proc. 9th International Congress on Electron Microscopy. (Tronto) II, 126-127
- 6) Onozuka, M., Sekiya, Y., Usami, M. & Sugaya,

- E. (1978) Calcium and pentylene-tetrazole induced bursting activity in a single isolated snail neuron. Proc. 6th International Biophysics Congress. 225
- 7) Onozuka, M., Kobori, T., Iwata, T., Mochida, A., Yamada, K. & Sugaya, E. (1978) Calcium and phosphorus content distribution map in human carious teeth by computer controlled electron probe X-ray microanalyzer. IRCS 6, 538
 - 8) Onozuka, M., Kobori, T., Iwata, T., Mochida, A., Yamada, K. & Sugaya, E. (1978) Chemical shift of CaK α in human carious teeth by computer controlled electron probe X-ray microanalyzer. IRCS 6, 544
 - 9) Onozuka, M., Kobori, T., Iwata, T., Mochida, A., Yamada, K. & Sugaya, E. (1978) Chemical shift of PK α in human carious teeth by computer controlled electron probe X-ray microanalyzer. IRCS 6, 545
 - 10) Sugaya, E. & Onozuka, M. (1978) Unequal distribution of calcium and magnesium of snail neuron. *Experientia* 34, 1229-1300
 - 11) Sugaya, E. & Onozuka, M. (1978) Intracellular calcium: its release from granules during bursting activity in snail neurons. *Science* 202, 1195-1197
 - 12) Sugaya, E. & Onozuka, M. (1978) Ion shower milling: its application to cell membrane removal. *Science* 202, 1197-1198
 - 13) 宇佐美正義, 野田行文, 菅谷愛子, 小野塚実, 菅谷英一(1978)カタツムリ神経細胞の I-V relation と麻酔薬および興奮薬. *日本生理誌* 40, 224
 - 14) 関谷雄一, 真下啓子, 山田清隆, 菅谷英一(1978)カタツムリ神経細胞の I-V relation とカルシウムイオン. *日本生理誌* 40, 224-225
 - 15) 小野塚実, 持田 昭, 小堀敏子, 菅谷英一(1978)カタツムリ神経細胞内カルシウム移動とbursting activity. *日本生理誌* 40, 225

神奈川歯科大学口腔生理学教室

- 1) 河野 肇, 大熊義和, 川本健蔵, 小阿瀬海司, 関園子(1978.9)サリノマイシンの毒性に関する研究(第1報). 第20回歯科基礎医学会学術大会予報抄録集 125
- 2) 関 園子, 難波啓泰, 湯山徳行, 川本健蔵, 河野肇, 大熊義和, 小阿瀬海司(1978.10)飲酒による唾液 pH の変動について(第1報). *アルコール研究* 13(4), 155-156
- 3) 小阿瀬海司, 川本健蔵, 長沢節代, 角谷隆司, 太田秀雄, 関 園子(1978.10)鶏卵保存期間と温度変化による孵化への影響(第1報). *家畜人工授精研究会誌* 1, 5-7
- 4) 関 園子, 河野 肇, 松崎源一, 渡辺哲郎, 鶴岡泰志, 湯山徳行(1978.10)鶏卵保存期間と温度変

化による孵化への影響(第2報). *家畜人工授精研究会誌* 1, 7-14

- 5) 大熊義和, 太田秀雄, 福井正佳, 湯山徳行, 難波啓泰, 関 園子(1978.12)サリノマイシンの毒性的研究(第2報). ニワトリ(白色レグホン種)における亜急性毒性試験一.

北里大学医学部生理学教室 (畠山研究室)

- 1) 畠山一平(1978.3)脈波波形とその成因. *臨床生理* 8(2), 96-105
- 2) 畠山一平(1978.3)循環調節系の制御特性. 心臓血管系の基礎研究(II)(文部省学術研究費特定研究) 58-64
- 3) 畠山一平, 金子弘毅(1978.7)流体能動素子理論にもとづく閉鎖循環系のシステム解析. *医用電子と生体工学* 16(特), 24
- 4) 畠山一平, 島田純一, 金子弘毅, 滝沢直定, 長谷川健治, 片倉 隆(1978.8)視床下部後部領域における呼吸リズム調節機序. *日本生理誌* 40(8.9), 341
- 5) 畠山一平, 金子弘毅, 片倉 隆(1978.8)システム論的に見た閉鎖循環系. *日本生理誌* 40(8.9), 325
- 6) Hasegawa, K., Katakura, T., Tanakadate, A. & Ishikawa, H. (1978) Component of Circadian Rhythm in Locomotive Activity in Paramecium. VIth Inter. Biophys. Congr. Abstract, 314
- 7) Takizawa, N. & Oonuki, M. (1978) Theoretical Curves for Evaluating the Density of Synapses. VIth Inter. Biophys. Congr. Abstract, 153.
- 8) 畠山一平(1978.10)循環調節とフルイディクス. *循環器学(メディカル出版)* 166-187
- 9) Simada, Z., Niimi, S., Hasegawa, K., Tanakadate, A. & Shitara, T. (1978.11) Larynx Height and Word Accent Distinction in Japanese. *J. Acoust. Soc. Am.*, Vol. 64, Supplement No. 1: S 89

北里大学医学部生理学教室 (加濃研究室)

- 1)* Kano, M. & Yamamoto, M. (1977.3) Development of spike potentials in skeletal muscle cells differentiated in vitro from chick embryo. *J. Cell. Physiol.* 90: 439-444
- 2)* 加濃正明, 山本三恵, 小島久幸(1977.9)培養骨格筋の活動電位の発達に対する神経性因子の効果. *日本生理誌* 39, 233-234
- 3)* 鈴木信之, 加濃正明(1977.9)ショウジョウバエ幼虫筋における電気興奮性の発達. *日本生理誌* 39, 234
- 4)* 滝沢直定, 大貫 信(1977.9)脊髓活動度の周期性. 16回日本生物物理学会予稿集 238
- 5)* 大貫 信, 滝沢直定(1977.9)中脳網様体構造の理論的解析. 16回日本生物物理学会予稿集 239
- 6)* 加濃正明(1977.10)骨格筋に対する神経の栄養的

- 効果に関する研究. 北里医学 7, 320
- 7*) Suzuki, N. & Kano, M. (1977.12) Development of action potential in larval muscle fibers in *Drosophila melanogaster*. J. Cell Physiol. 93, 383-388
- 8) 加濃正明, 鈴木信之, 山本三恵, 小島久幸 (1978.9) 培養骨格筋の電気興奮性の発達に対する RNA 合成阻害剤の効果. 日本生理誌 40, 223
- 9) Takizawa, N. & Oonuki, M. (1978.9) Theoretical Curves for Evaluating the Density of Synapses. Six International Biophysics Congress Abstracts 153
- 10) 加濃正明, 嶋田 裕 (1978.11) 骨格筋細胞と神経筋接合の培養と電気生理. 組織培養 4, 505-512
- 11) 大貫 信 (1978.12) 筋芽細胞膜表面変化と神経支配効果. 北里大学 8, 399
- 聖マリアンナ医科大学第一生理学教室**
- 1) Saito, T., Otoguro, M. & Matsubara, T. (1978.2) Electrophysiological studies on the mechanisms of electrically induced sustained rhythmic activity in the rabbit right atrium. Circ. Res. 42, 199-206
- 2) 藤本正昭, 外崎肇一, 豊田順一 (1978.3) 細胞内 K および Cl イオン電極の網膜細胞への応用. 聖マリアンナ医大誌 6, 57-64
- 3) Tomita, T., Fujimoto, M. & Miller, W. H. (1978.4) The ERG e-wave as a rod-specific c-wave. Invest. Ophthalmol. Visual Sci. Suppl p.109
- 4) Saito, T., Kondo, H. & Toyoda, J. (1978.5) Rod and cone signals in the on-center bipolar cell: Their different ionic mechanisms. Vision Res. 18, 591-595
- 5) Kondo, H. (1978.6) Efferent system of the Lateral Ocellus in the Dragonfly: Its Relationships with the Ocellar Afferent Units, the Compound Eyes, and the wing Sensory System. J. comp. physiol 125, 341-349
- 6) Toyoda, J., Saito, T. & Kondo, H. (1978.6) Three types of horizontal cells in the stingray retina: Their morphology and physiology. J. Comp. Neurol. 179, 565-580
- 7) Matsuura, T., Miller, W. H. & Tomita, T. (1978.7) Cone-specific c-wave in the turtle retina. Vision Res. 18, 767-775
- 8) 富田恒男 (1978.7) 網膜の構造と機能. 神経研究の進歩 22, 662-663
- 9) 斎藤建彦, 近藤博明, 豊田順一 (1978.8) コイ網膜における双極細胞の光応答とそのイオン機構. 日本生理誌 40, 275
- 10) 豊田順一, 外崎肇一 (1978.8) コイ網膜 2 種の水平細胞より双極細胞への情報伝達. 日本生理誌 40, 275-276
- 11) Saito, T., Kondo, H. & Toyoda, J. (1978.9) Electrical membrane properties of cone and rod dominant on-center bipolar cells in the carp retina. 6th International Biophysics Congress Abstracts IV-9(510), 176
- 12) Toyoda, J. & Tonosaki, K. (1978.9) Effect of polarization of horizontal cells on the on-center bipolar cell in the carp retina. 6th International Biophysics Congress Abstracts VII-9(510), 326
- 13) Toyoda, J. & Tonosaki, K. (1978.11) Effect of polarization of horizontal cells on the on-center bipolar cell of carp retina. Nature 276, 399-400
- 聖マリアンナ医科大学第二生理学教室**
- 1) 五十島長太郎 (1978.4) 骨格筋の横管側囊糸の興奮伝達に対する横管内イオンの効果. 日本生理誌 40, 302
- 鶴見大学歯学部生理学教室**
- 1) 田中康夫, 浅沼 厚, 柳沢慧二 (1978.2) ラセン器における蓋膜の付着様式と音受容. 内耳生化学 9, 70-72
- 2) Saeki, Y., Sagawa, K. & Suga, H. (1978.3) Dynamic stiffness of cat heart muscle in Ba²⁺-induced contracture. Circ. Res. 42(3), 324-333
- 3) 三枝木泰丈, 菅 弘之 (1978.7) 心筋力学特性の解析. 医用電子と生体工学 16(特別号), 10
- 4) 三枝木泰丈, 菅 弘之 (1978.9) 拘縮下における哺乳動物乳頭筋の力学特性. 日本生理誌 40(8,9), 309-310
- 5) 浅沼 厚, 田中康夫, 柳沢慧二 (1978.9) ラセン器における電位分布. 日本生理誌 40(8,9), 287
- 6) Sagawa, K., Saeki, Y., Loeffler, L. & Nakayama, K. (1978.9) Dynamic stiffness of heart muscle in twitch and contracture. Symposium on the Current Problems of Sliding Filament Model and Muscle Mechanics 12
- 7) Saeki, Y., Shiozawa, K. & Yanagisawa, K. (1978.9) Effects of replacement of calcium by barium on electrical and mechanical properties in rabbit papillary muscle. VIII World Congress of Cardiology Abstracts-1 562
- 8) 田中康夫, 浅沼 厚, 柳沢慧二 (1978.10) 中央階に注入した Ca²⁺ 除去剤の蝸牛電位に対する効果. Audiology Japan 21(5), 505-506
- 9) Yoshioka, T., Asanuma, A., Yanagisawa, K. & Katsuki, Y. (1978.10) The chemical receptive mechanism in the lateral-line organ. Jap. J. Physiol. 28, 557-567
- 10) Tanaka, Y., Asanuma, A., Yanagisawa, K. & Katsuki, Y. (1978.10) Electrical potentials within the organ of Corti in guinea pigs. J. Acoust. Soc. Am. 64 Suppl. No. 1, S133

- 11) Saeki, Y., Shiozawa, K. & Yanagisawa, K. (1978.12) Electrical phenomenon in rabbit papillary muscle during Ba⁺⁺-induced contraction. Proc. Japan Acad. 54 Ser. B(9), 565-568
- 12) 三枝木泰丈, 浅沼 厚, 塩沢光一, 山田恵美子, 柳沢慧二 (1978.12) 筋収縮機構の解析. 鶴見歯学 4(2), 165

東海大学医学部第一生理学教室

- 1)* 岡崎宏一, 鈴木和夫, 東野庄司 (1977.12) 細胞間連絡に対する糖質コルチコイドの保護効果. 日本細胞生物学会第30回大会予稿集 A-14
- 2)* 鈴木和夫, 岡崎宏一, 東野庄司 (1977.12) 細胞の機械的性質と細胞間連絡に対する種々の薬剤の効果. 日本細胞生物学会第30回大会予稿集 A-15
- 3) 高比良英輔 (1978.3) 生物科学における論理. 文明 22, 33-51
- 4) 高比良英輔 (1978.3) 後発射の生成機構—neuronal transductionの研究—. 東海大学産業科学研究所所報 8, 3-8
- 5) 東野庄司, 鈴木和夫, マナスサンワラシン, 光沢舜明, 本間隆夫 (1978.3) 細胞内調節 system における cell stiffness と cell communication の相関性について. 東海大学産業科学研究所所報 8, 11-16
- 6) 鈴木和夫, 田島知行, 飯島邦仁, 高比良英輔 (1978.12) 培養細胞の各増殖相における膜電位, 細胞の剛さ, 細胞間連絡について. 東海大学産業科学研究所所報 9, 83-86
- 7) 佐々木優 (1978.4) 網膜の遠心性制御に関する研究. 東海大学総合研究所機構報告 1, 22
- 8) Simpson, A. D., 市河三太, 白石武昌 (1978.6) 視床下部外側野ニューロン活動と胃酸分泌. 日本生理誌 40(6), 149-150
- 9) 白石武昌 (1978.9) 視床下部外側野刺激による迷走神経核および迷走神経の応答. 日本生理誌 40(8, 9), 249
- 10) 高橋日出彦, 宮下武美, 白石武昌 (1978.9) 視床下部における glucose-sensitive cell の分布と同定 (3報). 日本生理誌 40(8,9), 249
- 11) 佐々木優 (1978.9) ERG に対する網膜通電効果. 日本生理誌 40(8,9), 279

東海大学医学部第二生理学教室

- 1) 山内俊忠, 太田保世 (1978.1) 肺機能検査の理論と実際. 現代の診療 20(1), 11-15
- 2) 太田保世, 鈴木国功 (1978.3) 血液ガスの異常. 臨床呼吸器病講座第1巻 金原出版 1, 145-163
- 3) 鈴木国功, 太田保世 (1978.2) Aspiration pneumonia 臨床呼吸器病講座 金原出版 2, 177-186
- 4) 山内俊忠, 山林 一, 鈴木国功, 太田保世, 小高康子 (1978.4) 低機能的残気量とガス交換機能. 日胸疾会誌 16(増刊号), 44
- 5) 太田保世, 小高康子 (1978.4) 気道内気流状態の不

- 活性ガス洗い出しにおける意義. 日胸疾会誌 16(増刊号), 44-45
- 6) 山内俊忠, 山林 一, 鈴木国功, 太田保世 (1978.4) 換気運動・心拍動にともなう生体の重心移動の測定とその臨床応用の試み. 日胸疾会誌 16(増刊号), 120-121
- 7) 太田保世 (1978.6) 呼吸機能とその把握. 医用電子と生体工学 16, 280-288
- 8) 太田保世 (1978.6) 血液ガス測定の基礎. 血液ガス (山林 一, 河合 忠, 塚本玲三編) 医学書院 1-45
- 9) 太田保世, 吉田 稔, 大久保隆男, 川城丈夫, 福地義之助 (1978.7) 拡散. 呼吸と循環 26, 622-632
- 10) 太田保世 (1978.7) 生体と拡散現象. 呼吸と循環 26, 615-620
- 11) Ohta, Y. & Yamabayashi, H. (1978.7) Shift of the center of gravity of the body due to ventilation and to cardiac motion. Proc. XIII World Congress on Diseases of the Chest Kyoto 25
- 12) Aoyagi, T., Sugiyama, Y., Ohta, Y., Kanemoto, N. & Sasamoto, H. (1978.9) Non-invasive diagnosis of pulmonary hypertension by impedance plethysmography. VIII World Congress of Cardiology abstract I, 423
- 13) Sasamoto, H., Kanemoto, N., Ohta, Y., Yamabayashi, H., Fuse, M., Horikawa, M., Aoyagi, T. & Sugiyama, Y. (1978.9) Non-invasive evaluation of pulmonary circulation. VIII World Congress of Cardiology Abstract II, 46
- 14) 太田保世 (1978.11) 酸塩基平衡障害における代償と合併. 呼吸と循環 26, 1081-1086
- 15) Ohta, Y., Song, S. H., Groom, A. C. & Farhi, L. E. (1978.12) Is inert gas washout from the tissues limited by diffusion? J. Appl. Physiol. 45, 903-907

東海大学医学部生理学教室応用生理

- 1)* Yoshioka, T. & Nakano, S. (1977.10) Morphological features in transverse tubule and sarcoplasmic reticulum after denervated rat skeletal muscle. J. Clin. Electron Microscopy 10, 504-505
- 2) 吉岡利忠, 永見邦篤, 成沢三雄, 中野昭一 (1978.3) 骨格筋の種々環境における横行小管系の形態学的変化. 日本生理誌 40, 342
- 3) 中野昭一, 吉岡利忠 (1978.5) 腸管吸収に関する in-vitro の研究—無菌ラット腸管における吸収—. 第65回日本消化器病学会抄録集
- 4) 中野昭一, 吉岡利忠, 成沢三雄 (1978.6) 運動の各臓器におよぼす影響. 消化器および付属器, 内分泌臓器運動に対する生体反応・代謝. 運動療法, 朝倉書店 42-56, 180-209
- 5) 永見邦篤 (1978.6) 種々の反動動作とその効果に関

- する研究. 体力科学 27, 45-55
- 6) 中野昭一(1978.7)症候と診断. 看護技術 24, 18-26
 - 7) 中野昭一(1978.8)スポーツと内分泌. スポーツ医学, 杏林書院 82-101
 - 8) 吉岡利忠, 中野昭一(1978.9)幼弱ラット除神経筋およびステロイドミオパチーにおける筋小胞体の動向(II). 第10回日本臨床電顕学会予稿集 55
 - 9) Yoshioka, T., Nagami, K., Narusawa, M. & Nakano, S.(1978.9)Ultrastructure of sarcoplasmic reticulum, transverse tubule and bridge like structure of frog skeletal muscles placed in various circumstances. J. Physiol. Soc. Japan 40, 299
 - 10) 中野昭一, 成沢三雄, 永見邦篤, 吉岡利忠(1978.9)腸管壁通過に関する研究—無菌ラット, 腸内常在細菌の影響. 日本生理誌 40, 342
 - 11) 三田信孝, 森山安弘, 佐藤恒久, 中野昭一(1978.10)心拍数を規定した運動負荷について(第4報)—ST segment との関連—. 第33回日本体力医学会予稿集 135
 - 12) 永見邦篤, 成沢三雄, 吉岡利忠, 中野昭一, 森山安弘(1978.10)屈腕力発揮条件と弛緩にともなう上腕筋の対応. 第33回日本体力医学会予稿集 143
 - 13) 山並義孝, 宮崎康文, 中野昭一(1978.10)脊柱のひねりに関する検討. 第33回日本体力医学会予稿集 190
 - 14) 中原剛矢, 矢吹千佳子, 吉岡利忠, 中野昭一(1978.10)ラットの筋可溶性蛋白に関する研究(第2報). 第33回日本体力医学会予稿集 220
 - 15) 成沢三雄, 吉岡利忠, 永見邦篤, 中野昭一(1978.10)幼若期ラットの骨格筋線維数とその形態学的変化. 第33回日本体力医学会予稿集 277
 - 16) 吉岡利忠, 成沢三雄, 永見邦篤, 中野昭一(1978.11)腸管壁通過に関する研究(有・無菌ラットの腸管壁微細構造の変化について). 日本生理誌 40, 427
 - 17) 三田信孝, 富永 豊, 森山安弘, 中野昭一(1978.12)運動に対する呼吸循環機能の対応—規定心拍数運動中における心電図の変化—. 日本体育学会第29回大会号 213
 - 18) 成沢三雄, 吉岡利忠, 中野昭一(1978.12)運動時1回換気量とTraining 効果. 日本体育学会第29回大会号 232
 - 19) 宮崎康文, 遠藤和江, 鈴木秀子, 山並義孝, 中野昭一(1978.12)運動動作と筋電図との関連—アイス・ホッケーのショット動作—. 日本体育学会第29回大会号 326
 - 20) 遠藤和江, 宮崎康文, 鈴木秀子, 山並義孝, 中野昭一(1978.12)アイス・スケートの動作と筋電図—前進滑走—. 日本体育学会第29回大会号 476
 - 21) 神内弘行, 永井淳一, 山並義孝, 宮崎康文, 中野昭一(1978.12)立体的腰部の動きから見た運動機能障害者の異常歩行回復過程について. 日本体育学会第29回大会号 579
- 横浜市立大学医学部第一生理学教室**
- 1)* Pant, H. C., Yoshioka, T., Baumgold, J., Matsumoto, G. & Tasaki, I. (1977) Covalent labeling Studies of Proteins Associated with the Inner Surface of Squid Giant Axon. Biophys. J. 17, 27a
 - 2)* Pant, H. C. & Yoshioka, T. (1977) Phosphorylation of Proteins in the Squid Giant Axons. Society of Neuroscience 3, 321
 - 3) Yoshioka, T., Pant, H. C., Tasaki, I. & Gainer, H. (1978) Phosphorylation of Proteins in the Squid Giant Axon. Newsletter of the International Brain Research Organization 6, 7
 - 4) Yoshioka, T., Pant, H. C., Tasaki, I., Baumgold, J., Matsumoto, G. & Gainer, H. (1978) An Approach to the Study of Intracellular Proteins Related to the Excitability of Squid Giant Axon. Biochim. Biophys. Acta 538, 616-626
 - 5) Yoshioka, T., Takenaka, T., Horie, H., Inoue, H. & Inomata, K. (1978) Determination of Transmembrane Protein with Diazotized ¹²⁵I-Iodosulfanilic Acid in the Squid Giant Axon. Proc. Jap. Acad. 54-B, 310-315
 - 6) Takenaka, T., Yoshioka, T., Inoue, H., Inomata, K. & Horie, H. (1978) Incorporation of Thiamine into Membrane Proteins in the Squid Giant Axon. Proc. Jap. Acad. 54-B, 316-320
 - 7) Yoshioka, T., Asanuma, A., Yanagisawa, K. & Katsuki, Y. (1978) The Chemical Receptive Mechanism in the Lateral-line Organ. Jap. J. Physiol. 28, 557-567
 - 8) Tamiya, N., Ishikawa, Y., Menez, A., Hori, H. & Yoshida, A. (1978) The Structure of Snake Neurotoxins and their Affinity for the Acetylcholine Receptor. In Toxins: Animal, Plant and Microbial, Pergamon Press 243-253
 - 9) Gotoh, H., Aizawa, M. & Suzuki, S. (1978) Ionic Currents and Permselectivity in a Linseed Oil Membrane. J. Membrane Science 4, 267-273
 - 10) Takenaka, T., Horie, H. & Sugita, T. (1978) New Technique for Measuring Dynamic Axonal Transport and Its Application to Temperature Effects. J. Neurobiology 9, 317-324
 - 11) Takenaka, T., Yoshioka, T., Horie, H., Inoue, H. & Inomata, K. (1978.8) Physiological Role of Histidine Residues in the Inner Surface Membrane of the Squid Giant Axon. Internatl. Seminar on Structure and Function of Receptor and Ion Channels in Biological Membrane 18
 - 12) Yoshioka, T., Takenaka, T., Horie, H., Inoue, H. & Inomata, K. (1978.8) Chemical Modification of Membrane Proteins in the Squid Giant Axon.

- Internatl. Seminar on Structure and Function of Receptor and Ion Channels in Biological Membrane 23
- 13) Takenaka, T., Yoshioka, T., Horie, H., Inoue, H. & Inomata, K. (1978.9) The Role of Histidine Residues in the Excitable Membrane of the Squid Giant Axon. Six Intl. Biophys. Cong. Abstr. 225
 - 14) Yoshioka, T., Takenaka, T., Horie, H., Inoue, H. & Inomata, K. (1978.9) Incorporation of Thiamine into the Squid Giant Axon. Six Intl. Biophys. Cong. Abstr. 300
 - 15) Gotoh, H., Murota, M. & Kamiyama, A. (1978.9) Laser Microprobe and Relative Estimation of Elemental Contents in Biological Microareas. Six Intl. Biophys. Cong. Abstr. 204
 - 16) Inagaki, F., Miyazawa, T., Hori, H. & Tamiya, N. (1978.9) Conformation of Erabutoxins a and b in Aqueous Solution as Studied by Nuclear Magnetic Resonance and Circular Dichroism. Eur. J. Biochem. **89**, 433-442
 - 17) 竹中敏文(1978.1)神経の興奮と蛋白質. 理研シンポジウム「脂質, 蛋白質の相互作用と膜の機能」38-39
 - 18) 竹中敏文(1978.2)原形質滴の表面の膜. 表面 **16**, 82-86
 - 19) 竹中敏文, 杉田 徹, 堀江秀典(1978.6)軸索流の新しい測定法. 生体の科学 **29**, 212-216
 - 20) 後藤秀機, 竹中敏文, 堀江秀典(1978.6)サボニン処理によるイカ巨大神経 skinned axon の電顕的研究. 日本生理誌 **40**, 150-151
 - 21) 後藤秀機, 無漏田正雄, 上山章光(1978.6)レーザーマイクロプローブを用いた生体組織局所の元素分析法. 日本生理誌 **40**, 151
 - 22) 竹中敏文, 後藤秀機(1978.8)興奮性膜の生理学. 膜と神経・筋・シナプス(堀田健, 田中亮編)喜多見書房 43-76
 - 23) 田宮信雄, 堀 英明(1978.8)受容体. 膜と神経・筋・シナプス(堀田健, 田中亮編)喜多見書房 232-251
 - 24) 後藤秀機, 竹中敏文(1978.9)計算機実験による軸索輸送の Kinetics. 日本生理誌 **40**, 209
 - 25) 堀江秀典, 竹中敏文, 石間祥生(1978.9)高濃度 Na^+ , Ca^{2+} のイカ巨大神経線維の興奮性に対する効果. 日本生理誌 **40**, 220
 - 26) 竹中敏文, 堀江秀典(1978.9)神経とカルシウム. クリニカ **5**, 625-630
 - 27) 堀江秀典, 吉岡 亨(1978.10)神経興奮現象への分子論的アプローチ. 表面 **16**, 599-616
 - 28) 竹中敏文(1978.12)生体膜の分野から. 生物物理 **18**, 266-271
 - 卵巣ステロイド生成に対する針刺の影響. 医学のあゆみ **1**, 28-30
 - 2) 瀬戸勝男, 綱島紘治, 杉田暉道, 宍戸昌夫, 川上正澄(1978.1)肺のコハク酸代謝に対する亜硫酸ガス吸入の影響. 医学と生物学 **96**(1), 23-26
 - 3) 瀬戸勝男, 今田育秀, 坂西晴三, 斎藤秀郎, 有田順, 不下 潤, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.1)ウサギの卵巣ステロイド生成に対する海馬刺激の影響. 医学と生物学 **96**(1), 33-36
 - 4) 瀬戸勝男, 林 玲子, 有田 順, 綱島紘治, 川上正澄, 杉田暉道, 宍戸昌夫(1978.3)肺のクエン酸代謝に対するオゾン吸入の影響. 医学と生物学 **96**(3), 141-144
 - 5) 瀬戸勝男, 今田育秀, 坂西晴三, 斎藤英郎, 明間立雄, 中村裕子, 樋口 隆, 川上正澄, 木下潤, 土屋弘吉, 杉田暉道, 宍戸昌夫(1978.3)肺のコハク酸代謝に対する NO_2 および O_2 の混合気体吸入の影響. 医学と生物学 **96**(3), 187-189
 - 6) 瀬戸勝男, 菊池明江, 斎藤英郎, 明間立雄, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.3)下垂体破壊ウサギの卵巣ステロイド生成に対する海馬刺激の影響. 医学と生物学 **96**(3), 203-206
 - 7) Kawakami, M., Yoshioka, E., Konda, N., Arita, J. & Visessuvan, S.(1978.3)Data on the Sites of Stimulatory Feedback Action of Gonadal Steroids Indispensable for Luteinizing Hormone Release in the Rat. Endocrinology **102**, 791-798
 - 8) 植村次雄, 土橋招一, 塩島令儀, 川上正澄(1978.4) 17α -hydroxyprogesterone の脳内感受性部位について. 日本内分泌誌 **54**(4), 308
 - 9) 有田 順, 林 玲子, 川上正澄(1978.4)ラット LH, FSH 分泌調節における catecholamines および acetylcholine の関与. 日本内分泌誌 **54**(4), 309
 - 10) 貴邑富久子, 長瀬守治, 岩井篤子, 川上正澄(1978.4)給餌時間制限によるコルチコステロンとゴナドトロピン分泌リズムの解離. 日本内分泌誌 **54**(4), 330
 - 11) 瀬戸勝男, 今田育秀, 明間立雄, 中村裕子, 川上正澄, 杉田暉道, 宍戸昌夫, 土屋弘吉(1978.4)肺のブドウ糖代謝に対するオゾン吸入の影響. 医学と生物学 **96**(4), 261-264
 - 12) 瀬戸勝男, 林 玲子, 中村裕子, 斎藤英郎, 有田順, 明間立雄, 坂西晴三, 樋口 隆, 綱島紘治, 川上正澄(1978.4)ダイコクネズミの非発情第二日における Rhizopus 菌体成分の影響. 医学と生物学 **96**(4), 283-286
 - 13) 瀬戸勝男, 菊池明江, 斎藤英郎, 綱島紘治, 有田順, 林 玲子, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.5)肝の焦性ブドウ酸代謝に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 **96**(5)345-348
 - 14) 瀬戸勝男, 樋口 隆, 林 玲子, 中村裕子, 有田順, 明間立雄, 坂西晴三, 斎藤英郎, 綱島紘治,

横浜市立大学医学部第二生理学教室

- 1) 瀬戸勝男, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.1)ウサギの

- 木下 潤, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.5)視床下部破壊ウサギにおける *Rhizopus* 菌体成分の作用に対する卵巣ステロイド処理の影響. 医学と生物学 **96**(5), 373-377
- 15) 瀬戸勝男, 今田育秀, 斎藤英郎, 坂西晴三, 明間立雄, 有田 順, 網島紘治, 林 玲子, 川上正澄, 杉田暉道, 宍戸昌夫, 土屋弘吉(1978.5)肺のロイシン代謝に対する O₃ および SO₂ 吸入の影響. 医学と生物学 **96**(5), 389-391
- 16) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.6)視床下部破壊ウサギの酢酸代謝に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 **96**(6), 437-439
- 17) 瀬戸勝男, 毛利元彦, 斎藤英郎, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.6)肝の α -ケトグルタル酸代謝に対する反復寒冷曝露の影響. 医学と生物学 **96**(6), 441-443
- 18) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.7)分界条破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 **97**(1), 23-25
- 19) 川上正澄(1978)周期性排卵調節中枢機序. 横浜医学 **29**(6), 389-394
- 20) Kawakami, M., Sakuma, Y. & Akema, T.(1978.8) Effects of Estrogen and Aminergic on Thresholds of Medial Basal Hypothalamic Axons in the Median Eminence of the Rat. *Brain Res.* **151**, 533-544
- 21) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.8)分界条破壊ウサギの肝における酢酸代謝に対する反復緊縛負荷の影響. 医学と生物学 **97**(2), 99-101
- 22) 瀬戸勝男, 菊池明江, 斎藤英郎, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.8)視床下部弓状核破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復緊縛負荷の影響. 医学と生物学 **97**(2), 121-123
- 23) 明間立雄, 安藤慎太郎, 川上正澄(1978)内側視索前野の神経性入口におよぼすプロゲステロンの影響. 日本生理誌 **40**(8.9), 343
- 24) 樋口 隆, 川上正澄(1978.8.9)ゴナドトロピン分泌におよぼす抗 LH-RH 抗体の影響. 日本生理誌 **40**(8.9), 345
- 25) 樋口 隆, 松浦幹夫, 川上正澄(1978.9)緊縛ストレスとプロラクチン分泌. 日本内分泌学会東部部会講演要旨集 **15**, 33
- 26) 毛利元彦, 永坂鉄夫, 瀬戸勝男, 長瀬守治, 落合篤子, 川上正澄(1978.9)低酸素環境下連続曝露における副腎皮質ホルモンの変動について. 日本内分泌学会東部部会講演要旨集 **15**, 40
- 27) 川上正澄, 久保勝知, 植村次雄, 長瀬守治, 林玲子(1978.9)下垂体摘出雌ラットの卵巣ステロイド分泌に対する脳刺激の効果. 日本内分泌学会東部部会講演要旨集 **15**, 63
- 28) 瀬戸勝男, 菊池明江, 斎藤英郎, 樋口 隆, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.9)ウサギの卵巣ステロイド生成に対する扁桃核刺激の影響. 医学と生物学 **97**(3), 167-169
- 29) 瀬戸勝男, 毛利元彦, 斎藤英郎, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.9)視床下部弓状核破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復寒冷曝露の影響. 医学と生物学 **97**(3), 179-181
- 30) 瀬戸勝男, 樋口 隆, 斎藤英郎, 木下 潤, 林玲子, 中村裕子, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.9)ウサギにおける *Rhizopus* 菌体成分の作用に対する性腺刺激ホルモン処理の影響. 医学と生物学 **97**(3), 215-218
- 31) Kawakami, M., Arita, J., Yoshioka, E., Visessuvan, S. & Akema, T. (1978.9) Data on the Sites of the Stimulatory Feedback Action of Gonadal Steroids Indispensable for Follicle-Stimulating Hormone Release in the Rat. *Endocrinology* **103**, 752-759
- 32) 川上正澄(1978.9)ゴナドトロピン放出と脳内機序. 産婦人科 Mook No.3 婦人の心身症 72-83
- 33) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 樋口 隆, 林 玲子, 中村裕子, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.10)肝のイソクエン酸代謝に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 **97**(4), 251-254
- 34) 菊池明江, 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 樋口 隆, 林玲子, 中村裕子, 杉田暉道, 宍戸昌夫, 木下潤, 土屋弘吉(1978.10)肺のブドウ糖代謝に対する二酸化窒素吸入の影響. 医学と生物学 **97**(4), 283-285
- 35) 樋口 隆(1978.10)雌ラットにおける黄体化ホルモン放出ホルモン分泌. 日本内分泌誌 **54**, 1165-1186
- 36) 瀬戸勝男, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.10)暑熱曝露時におけるウサギ肝スライスのブドウ糖代謝に対する針刺の影響. 医学のあゆみ **107**(2), 103-105
- 37) 毛利元彦, 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 樋口 隆, 林玲子, 中村裕子, 川上正澄, 杉田暉道, 宍戸昌夫, 土屋弘吉(1978.10)肝のイソクエン酸代謝に対するオゾン吸入の影響. 医学と生物学 **97**(5), 307-309
- 38) 瀬戸勝男, 菊池明江, 斎藤英郎, 樋口 隆, 林玲子, 中村裕子, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.12)下垂体破壊ウサギの卵巣ステロイド生成に対する扁桃核刺激の影響. 医学と生物学 **97**(6), 389-392
- 39) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 樋口 隆, 林 玲子, 中村裕子, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.12)視床下部破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 **97**(6), 397-399
- 40) 斎藤英郎, 瀬戸勝男, 樋口 隆, 林 玲子, 中村裕子, 川上正澄, 土屋弘吉(1978.12)ダイコクネズミの非発情第1日における FSH 作用に対する卵巣ステロイド処理の影響. 医学と生物学 **97**(6), 401-404
- 41) 菊池明江, 樋口 隆, 柳下三郎, 木下 潤, 土屋

- 弘吉, 斎藤英郎, 瀬戸勝男, 久保勝知, 川上正澄 (1978.12) 中枢神経障害における生体の適応平衡成立に関する研究第二報, 脳の諸部位の破壊時の副腎皮質ホルモン生成に対するストレス負荷の影響. 神奈川県総合リハビリテーションセンター紀要 **5**, 34-38
- 42) 菊池明江, 樋口 隆, 柳下三郎, 木下 潤, 土屋弘吉, 斎藤英郎, 瀬戸勝男, 林 玲子, 中村裕子, 松田知恵, 川上正澄 (1978.12) 吸収性縫合糸の生体機能に対する作用第二報, 肝のACA サイクルに対する作用. 神奈川県総合リハビリテーションセンター紀要 **5**, 39-43
- 43) 網島紘治, 川上正澄 (1978) 大脳辺縁系の電気刺激と内側視索前野一前部視床下部温度感受性ニューロンの発火活動. 日生氣誌 **15**, 4
- 44) Kimura, F. & Kawakami, M. (1978) Reanalysis of the Preoptic Afferents and Efferents Involved in the Surge of LH, FSH and Prolactin Release in the Proestrous Rat. *Neuroendocrinology* **27**, 74-85
- 45) Kawakami, M. & Kimura, F. (1978) The Limbic Forebrain Structures and Reproduction. "Perspectives in Endocrine Psychobiology" Akademiai Kiado, Budapest 101-156
- 46) Kawakami, M., Yamaoka, S. & Matsushima, M. (1978) Effect of Sex Hormones on the Circadian Rhythm of Slow-Wave and Paradoxical Sleep in Female Rats. "Environmental Endocrinology" Springer-Verlag Berlin 132-136
- 47) Kawakami, M., Akema, T. & Konda, N. (1978) Development and Sex Difference in the Limbic-Forebrain System Controlling Gonadotropin Release in Immature Rats. "Hormones and Brain Development" 313-326
- 横浜市立大学体育医学教室**
- 1)* 遊佐清有 (1977.7) 体力の診断・評価に際して. 体力の診断と評価 (大修館書店), 23-44
- 2)* 片尾周造 (1977.7) ラボラトリーテストによる循環系の診断と評価. 体力の診断と評価 (大修館書店) 115-133
- 3)* 小川義雄 (1977.7) 防衛体力の診断と評価. 体力の診断と評価 (大修館書店) 181-207
- 4)* 玉木伸和, 小川義雄, 桑名俊一 (1977.8) 運動と指爪床部微細血管. 日本生理誌 **39**, 279
- 5)* 遊佐清有, 小川義雄, 里吉政子, 片尾周造 (1977.8) 骨格筋の筋線維と微細血管の計量的研究. 日本生理誌 **39**, 282
- 6)* 遊佐清有, 小川義雄, 里吉政子 (1977.10) 持久運動負荷が骨格筋の毛細血管と筋線維におよぼす影響について. 脈管学 **17**, 930
- 7)* Ogawa, Y. (1977.10) On the fine structural changes of the micro-vascular beds in the skeletal muscle. *The Journal of Yokohama City University, Series of Sports Sciences and Medicine* **6**(1), 1-19
- 8)* 片岡周造, 小川義雄, 遊佐清有, 里吉政子 (1977.10) 骨格筋の微細血管に関する計量的研究. 横浜市立大学紀要体力医学編 **6**(2号), 1-8
- 9)* 遊佐清有, 片尾周造, 玉木伸和, 谷嶋二三男, 宮崎義憲 (1977.10) 最小限項目テストの検討. 日本体育学会第28回大会号 464
- 10)* 宮崎義憲, 遊佐清有, 片尾周造 (1977.10) 反復横とび動作の映画解析. 日本体育学会第28回大会号 350
- 11)* 渡辺雅之, 小野三嗣, 春日規克, 谷嶋二三男 (1977.10) 運動中・後における血清 FFA の分画について. 日本体育学会第28回大会号 225
- 12)* 玉木伸和 (1977.10) 運動と呼吸の仕事. 体育の科学 **27**, 751-755
- 13)* 玉木伸和, 遊佐清有, 片尾周造, 宮崎義憲 (1977.11) 運動中の口呼吸および鼻呼吸に対する呼吸循環応答. 横浜市立大学紀要体力医学編 **6**(3号), 1-6
- 14)* Tamaki, N. (1977.11) Oxygen consumption of the respiratory muscles during exercise in trained and untrained subjects. 横浜市立大学紀要体力医学編 **6**(3号), 7-13
- 15)* 谷嶋二三男, 小野三嗣, 渡辺雅之, 春日規克 (1977.12) 1500m 走と個々の脂肪酸の消長について. 第32回日本体力医学会総会報告書 26
- 16)* 宮崎義憲, 遊佐清有, 片尾周造, 玉木伸和 (1977.12) 敏捷性の要因に関する検討 (第3報 全身反応時間について). 第32回日本体力医学会総会報告書 39
- 17)* 片尾周造, 小川義雄, 遊佐清有, 里吉政子, 玉木伸和 (1977.12) 持久運動負荷と微細血管系. 第32回日本体力医学会総会報告書 56
- 18)* 玉木伸和, 小川義雄 (1977.12) 筋線維のタイプと微細血管. 第32回日本体力医学会総会報告書 69
- 19) 小川義雄 (1978.1) 都市化と市民の体力・健康. 横浜市立大学経済研究所「経済と貿易」, **122**号, 1-15
- 20) 山下昭子, 遊佐清有, 片尾周造, 宮崎義憲, 玉木伸和, 他 (1978.5) 心拍応答から見た循環機能テストに関する検討. 日本体育学会神奈川支部会紀要「体育研究」 **11**号, 7-11
- 21) 小川義雄 (1978.6) 運動の各臓器・組織におよぼす影響, 「毛細血管」. 運動療法 (朝倉書店) 181-207
- 22) 小川義雄, 遊佐清有, 里吉政子, 片尾周造, 玉木伸和, 谷嶋二三男 (1978.8) 持久運動負荷と筋系微細血管. 日本生理誌 **40**, 355
- 23) 遊佐清有 (1978.8) 横浜市立大学における体力測定. 体育・スポーツ・レクリエーション **8**号, 9-11
- 24) 谷嶋二三男 (1978.10) 運動と血中遊離脂肪酸の消長について. 横浜市立大学紀要体力医学編 **7**, 1-8
- 25) 片尾周造 (1978.10) 持久運動負荷後の骨格筋筋線

- 維と毛細血管. 横浜市立大学紀要体力医学編 7, 9-16
- 26) 片尾周造, 小川義雄, 遊佐清有, 里吉政子, 玉木伸和, 谷嶋二三男 (1978.10) 運動負荷と毛細血管床. 第33回日本体力医学会大会議事録 139
- 27) 玉木伸和, 小川義雄 (1978.10) ラット横隔膜の筋線維構成と毛細血管分布. 第33回日本体力医学会大会議事録. 193
- 28) 遊佐清有, 片尾周造, 里吉政子, 玉木伸和, 谷嶋二三男, 宮崎義憲 (1978.12) 「反復横とび」の映画撮影と三方向力量計による動作解析. 日本体育学会第29回大会 402
- 29) 片尾周造 (1978.12) フィールドテストとラボテストの相互補完, 「フィールドテストの立場から, (テストを活かすために)」。日本体育学会第29回大会 622

[学会案内]

“The satellite symposium on thermal physiology”

XXVIIIth IUPS のサテライトシンポジウムとして上記シンポジウムが1980年7月7～20日ハンガリーのPÉCSで開催される。シンポジウムのトピックスは下記の通り。

1. Evolution from ectothermia towards endothermia.
2. Ontogenic aspects of temperature regulation (in utero, neonatal and senescence).
3. Fever.
4. Temperature regulation and the functional anatomy of CNS.
5. Selective brain cooling.

6. Sleep and temperature regulation.

7. Brown fat thermogenesis.

8. Peripheral effector mechanisms of temperature regulation.

9. Acclimatization.

10. Performance and ambient temperature.

参加御希望の方は下記に連絡して下さい。

Abstract の締切りは1979年12月15日です。

THE SATELLITE SYMPOSIUM ON THERMAL PHYSIOLOGY PÉCS

H-7643 PÉCS Szigeti út 12., Pf. 99.

Hungary

学術情報システムシンポジウム

——文部省科学研究費による特定研究

「情報システムの形成過程と学術情報の組織化」

に関するシンポジウム——

日時：昭和54年11月5日(月)、6日(火)、7日(水) 9:30～17:00

場所：機械振興会館(東京都)

主なテーマ

学術情報の入力処理システム
 学術情報の構造認識システム
 学術情報の蓄積・検索システム
 データベース・マネジメント・システム
 コンピュータ・ネットワーク
 学術情報利用体系に対するシステム科学的
 接近研究動向把握の方法の研究

<参加の申込み>

参加ご希望の方は、下記により参加の登録をお願いいたします。参加費、資料費等は無料です。資料は約400ページのプロシーディングを発行致します。

参加申込み切日 昭和54年9月3日(月)

宛先(連絡先) 〒113 東京都文京区弥生2-11-16

東京大学大型計算機センター

特定研究「学術情報システム」事務局

電話 03-812-2111 内線 2663

[お知らせ]

日本学術会議第12期会員選挙について

日本学術会議中央選挙管理会

昭和55年11月には、3年に一度の日本学術会議会員選挙が行われます。

この選挙は、会員を選挙する方も、会員に選挙される方も有権者でなければなりませんので、次

のことに御留意ください。

- (1) 新たに有権者としての登録を希望する方は、登録用カードを早めに提出してください。
- (2) 引き続き有権者の方は住所、勤務機関、勤務地等登録カード記載事項に変更があった場合は、すみやかに異動届を提出してください。

い。

以上について不明の点がございましたら、下記にお問い合わせください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議会員選挙管理事務局

03-403-6291

第11回（昭和54年度）内藤記念科学振興賞受賞候補者の推薦要領

1. テーマおよび候補者

- (1) 人類の健康に関する自然科学の基礎的研究、なかんずく、健康福祉の増進、疾病の治療と予防に寄与する独創テーマに取り組んで顕著な功績を挙げた研究者。
- (2) 受賞候補者は、単独であっても、または協同研究者を含めてもよい。

2. 推薦依頼先 昭和54年度は

- | | |
|-----------|----------|
| (1) 高分子学会 | 日本生物物理学会 |
| 日本遺伝学会 | 日本生理学会 |
| 日本ウイルス学会 | 日本動物学会 |
| 日本栄養・食糧学会 | 日本農芸化学会 |
| 日本解剖学会 | 日本醸酵工学会 |
| 日本化学会 | 日本ビタミン学会 |
| 日本がん学会 | 日本病理学会 |
| 日本細菌学会 | 日本物理学会 |
| 日本獣医学会 | 日本免疫学会 |
| 日本植物生理学会 | 日本薬学会 |
| 日本生化学会 | 日本薬理学会 |

以上の22学会（50音順）の代表者に受賞候補の推薦を依頼する。

- (2) 当財団の理事および評議員に、受賞候補の推薦を依頼する。

3. 候補推薦件数

1推薦者から1件に限る。

4. ほう賞の金額

昭和54年度の内藤記念科学振興賞（ほう賞）は1件とし、正賞（賞品）ならびに副賞（200万円）を贈呈する。

5. 推薦方法

所定（別紙）の用紙に必要事項を記入し、当財

団あて送付する。

6. 推薦書の締切日

昭和54年12月10日とする。

7. 選考の方法

下記委員からなる選考委員会を設けて、昭和55年1月上旬に選考し、評議員会の承認を求め、理事会で決定する。

選考委員（敬称略）

飯島宗一	池田庸之助	石井信一
石田名香雄	井上博之	井林博
宇野豊三	遠藤実	大村裕
尾上薫	上代淑人	粕谷豊
五島雄一郎	芝哲夫	志村憲助
杉村隆	南雲仁一	野島庄七
浜口浩三	村地孝	(50音順)

8. 受賞者決定の報告

昭和55年2月中旬に推薦者あて採否を報知する。

9. ほう賞の贈呈

ほう賞決定者にたいしては、昭和55年3月下旬に内藤記念科学振興賞を贈呈する。

10. ほう賞の用途

ほう賞金の用途にたいしては条件をつけない。

11. 本賞の英文名

The Naito Research Prize for 1979 とする。

推薦書提出先および連絡先

財団法人 内藤記念科学振興財団

〒112 東京都文京区小石川4丁目6番10号

電話 (03) 813-3005 (直通)

(03) 813-1151 (内線511)

大会号抜刷りについて

本年度日本生理学会大会号は本誌8, 9合併号としてオフセット印刷進行中です。本大会号の英文アブストラクトの抜刷り御希望の方は下記事務局あてハガキで御注文下さい。但し6演題一緒のペラ抜刷りです。30部御要望に応えられます。代

金は送料共500円、また期限は本年10月末日で締切ります。

〒113 東京都文京区本駒込2-28-21
東洋文庫内
日本生理学会事務局

【編集後記】

41巻6号をお届けします。

今年は空梅雨で、6月からすでにうだるような暑さがつづきましたが、石油危機とかで冷房が思うように使えず、夏が来る前にすでに夏ばて気味の方もいらっしゃるのではないかと懸念しています。

昨今、新聞でもラジオでも「省エネルギー」という言葉が盛んに使われています。「エネルギー節約」の方がずっとすっきりした日本語だとは思いますが、そんなことにはお構いなしに、「省エネルギー」や「省エネ」はすでに今年の流行語になってしまったことに間違いないようです。

この省エネルギーの御時世にふさわしい夏の服装として「省エネ・ルック」なるものが、今年の春頃から新聞、ラジオ等で紹介されました。半袖ワイシャツにネクタイ、そして半袖の背広を着用するというもので、私などはその珍奇さに肝をつぶしたものです。御上の御声掛けで、こんなものが流行るとしたら、夢も希望もない大変な世の中だと思っていきましたら、省エネ・ルックを着用に及んでいるのは通産大臣だけとかで、中年男性諸氏はワイシャツにネクタイ、そして長袖の背広を腕にかかえるという相変らずのスタイルで抵抗している様子なので、ほっと胸を撫で下ろしています。省エネ・ルックが総スカンを食った理由については、この秋に評論家諸氏があらゆる角度から分析して見せてくれるはずですが、半袖の背広着用によって暑さをしのぐという考え方は、私には全然思いつきませんでした。しかし、背広にネクタイ着用という条件下で、涼しくしようとすれば、すでにワイシャツは半袖になっているのです

から、背広の袖を切ってしまうという着想はごく自然でありましょう。しかし、前述の条件を外してしまえば、涼しい服装といえば、ネクタイなしの半袖シャツというのがごく自然でしょう。事実、我が国でも、夏季にはこの形の省エネ・ルックが以前から存在しているではありませんか。昔は、それは開衿シャツと呼ばれていました。若者達の間では、Tシャツにジーンズが、彼らの世代の標準的スタイルとしてすでに定着しています。この世代では、半袖背広という発想は、よほど奇を衒うのでない限りは浮かんで来ないでしょう。つまり、半袖背広は、背広を着用しないとうも気分が落ちつかないというメンタリティーの持ち主の考え出した涙ぐましい作品のようです。しかし、まことに不様に見えます。この省エネ・ルックが流行らないとは、さすが日本の中年男性諸氏の美意識も相当なものだと思いたいのですが、実は、これら中年諸氏があまりの珍奇さに辟易して、どうしても着用する勇気が出なかったというのが真相に近いようです。

しかし、省エネ・ルックは目に見えますから笑っていられますが、この世の中には、目に見えぬ省エネ・ルックが充満しているのではないのでしょうか。省エネ・ルックを笑っているこの私自身にしても、仕事の上では、気づかずに省エネ・ルックを着用し、しかも懸命にその宣伝につとめているのではないかと、チョッピリ我が身を振り返っているところです。

4月から村田計一氏の後をうけて編集に参加しましたが、本号ではとりたてて触れねばならぬ事項もありませんので、駄文を草して後記としました。

(7月12日 中村嘉男)

— 編 集 委 員 —

塚 田 裕 三 (幹 事)	馬 詰 良 樹	植 村 慶 一
大 島 知 一	上 山 章 光	中 村 嘉 男
菅 野 富 夫 (北 海 道)	中 浜 博 (東 北)	新 島 旭 (關 東)
角 忠 明 (中 部)	品 川 嘉 也 (近 畿)	村 上 憲 (中・四 国)
河 田 溥 (九 州)		

静動協の受託試験研究所

医薬，食品添加物，農薬，化粧品，化学物質等の諸物質に
関する安全性試験をお引受けいたします。

生産から試験終了まで、一貫してSPF施設で実施

〈 受 託 項 目 〉

- ◇ 一般毒性試験
- ◇ 発癌性試験
- ◇ 刺激性試験
- ◇ 催奇性試験
- ◇ 世代試験
- ◇ 組織標本の作成並びに検査



株式会社 生物科学技術研究所

〒430 静岡県浜松市葵町95番地の10 TEL(0534)36-9021

Technical Research Laboratory of Biological Science Co.,Ltd.

Barrier System (SPF) 実験動物の生産販売

SPF動物

クローズドコロニー		近交系	
マウス Slc :ddY	(国立予防衛生研究所)	マウス BALB/cCr Slc	(東大医科学研究所)
マウス Slc :ICR	(Charles River Lab.)	マウス C57BL/6Cr Slc	(")
マウス Slc :C3H/He	(東大医科学研究所)	マウス C3H/He Slc	(")
マウス Slc :C57BL/6	(")	マウス DBA/2Cr Slc	(")
マウス Slc :DBA/2	(")	交雑群	
ラット Slc :SD	(Charles River Lab.)	マウス SLC-CDF ₁	(東大医科学研究所)
ラット Slc :Wistar	(東大医科学研究所)	マウス SLC-BDF ₁	(")
ラット Slc :Wistar/ST	(")	マウス SLC-B6C3F ₁	(")
ラット Slc :Fischer	(Charles River Lab.)	ミュータント	
ラット HOS®:Donryu	(星野試験動物飼育所)	ヌードマウスBALB/c- ^{nu} Slc	(東大医科学研究所)
		ヌードマウスBALB/c- ^{nu} Slc	(")

Conventional 動物

クローズドコロニー		モルモット Std :Hartley	(国立予防衛生研究所)
マウス Std :ddY	(国立予防衛生研究所)	ハムスター Std :Golden	(")
ラット Std :Wistar	(東大医科学研究所)	イヌ FUJ:Beagle	(富士アニマル)
ラット Std :Wistar/ST	(")	カニクイザル	
		アカゲザル	輸入検疫9週間経過後出荷



静岡県実験動物農業協同組合

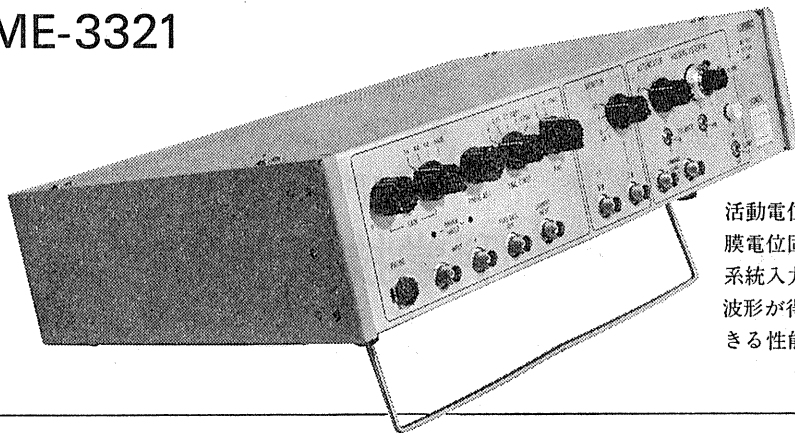
〒435 静岡県浜松市小池町1616番地 TEL(0534)63-0865(代)

Shizuoka Agricultural Cooperative Association
for Laboratory Animals.

膜電位固定法に必要な機能をフルに搭載

ボルテージクランプユニット

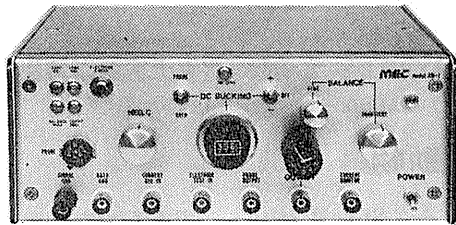
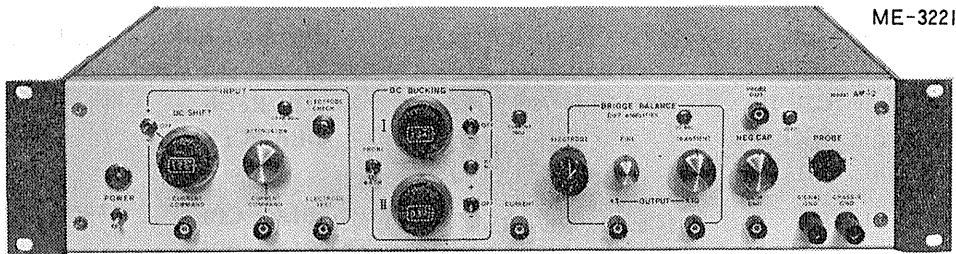
ME-3321



活動電位発生メカニズムを追求する膜電位固定法のための専用装置で、2系統入力を組み合わせた複雑なクランプ波形が得られ、高抵抗の電極を使用できる性能をもっています。

電極抵抗の高い実験にも抜群の威力

微小電極用増幅器 ME-3200シリーズ



ME-3211

ME-3221 通電回路・DCシフト・2ch DCバッキングつき

ME-3211 通電回路つき

- 細胞電位の研究をおこなうために特に設計された装置で、1000M Ω までと広範囲の電極が使用できます。
- 差動増幅器を内蔵しています。
- ME-3221は、色素注入が可能なDCシフトなど、高度な機能を盛り込んでいます。



株式会社

エム・イー・コマーシャル

本社：〒166 東京都杉並区和田3-54-11

☎(03)317-1451(代表)

大阪営業所：〒564 大阪府吹田市江坂町2-2-20 ☎(06)380-2601(代)

福岡営業所：〒814 福岡市西区茶山5-12-18

☎(092)863-2757

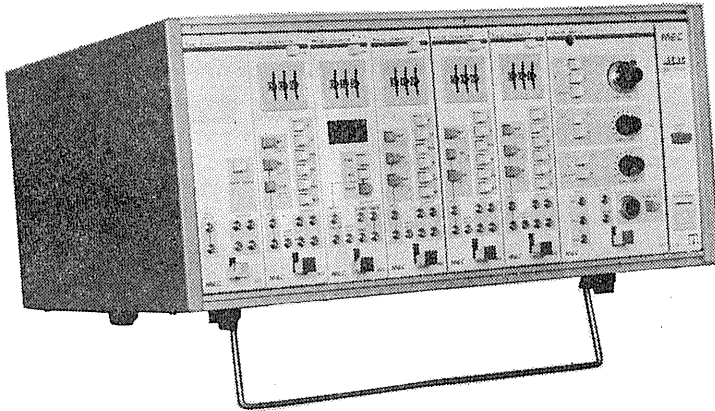
工場：〒419-01 静岡県田方郡函南町平井597-2

☎(05597)8-7658

ME機器の機能をシステムデザイン

MEAC

メアックシステム
ME-2100シリーズ



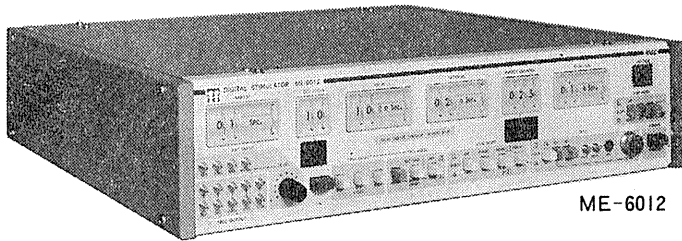
個々の装置として別れていた専用機能を有機的にユニット化し、用途に応じてひとつの装置として組みあげることができるシステムです。

★構成ユニット

- 301—トリガ
- 302—パルスジェネレータ
- 303—プリセットカウンタ
- 304—パワーアンプ-A
- 305—ステップパルスジェネレータ
- 306—プログラブルジェネレータ
- 307—タイムマーカ
- 308—パワーアンプ-B
- 309—オーディオモニタ
- 310—ウインドディスクリミネータ
- 311—マルチカウンタ
- 312—パワーアンプ-C

高度化する電気生理学に対応する

デジタル刺激装置 ME-6000シリーズ



ME-6012

研究用高級機 ME-6012

- 階段波やステップ波に至る4種の刺激電圧パターンを持っています。
- 各設定部をトリガで作動させることができ、豊富な刺激時間パターンをつくりだせます。
- 出力電圧がデジタル設定できます。

実用機 ME-6052

- 水晶発振子とデジタルスイッチの使用により、波形精度そのものは高級機と同一できわめて高精度です。
- 設定された時間間隔のダブルパルスが得られます。
- 外部装置との組み合わせが容易です。



ME-6052



株式会社

エム・イー・コマーシャル

本社：〒166 東京都杉並区和田3-54-11 ☎(03)317-1451(代表)

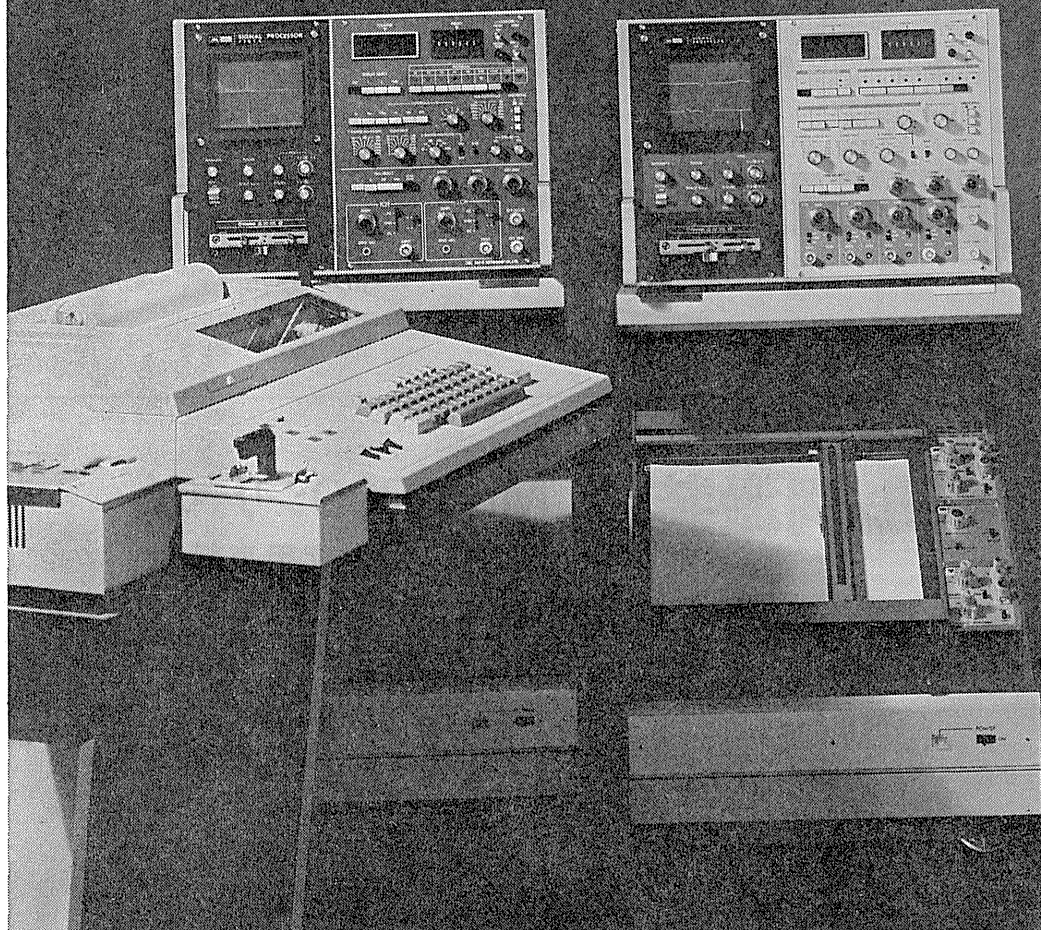
大阪営業所：〒564 大阪府吹田市江坂町2-2-20 ☎(06)380-2601(代)

福岡営業所：〒814 福岡市西区茶山5-12-18 ☎(092)863-2757

工場：〒419-01 静岡県田方郡函南町平井597-2 ☎(05597)8-7658

ますます機能が拡張、データ処理装置の決定版

シグナルプロセッサ



7T07A ●メモリ4K ●入力数2ch.

7T08 ●メモリ8K ●入力数4ch.

ソフトウェアがさらに充実、処理プログラムは100種類を突破しました。メモリは最大16Kまで内蔵可能で、ほとんどのアナログデータの統計処理が可能です。

主なプログラム/アペレイジ (アーチファクトクリア付、オルタネート加算、CNVなど各種)、パワースペクトル(2ch)、コリレーション、ヒストグラム及びバリエーション(各種)、フーリエ変換・逆フーリエ変換、回帰直線係数、スペクトルアレイ等。

明日の健康と福祉を守る

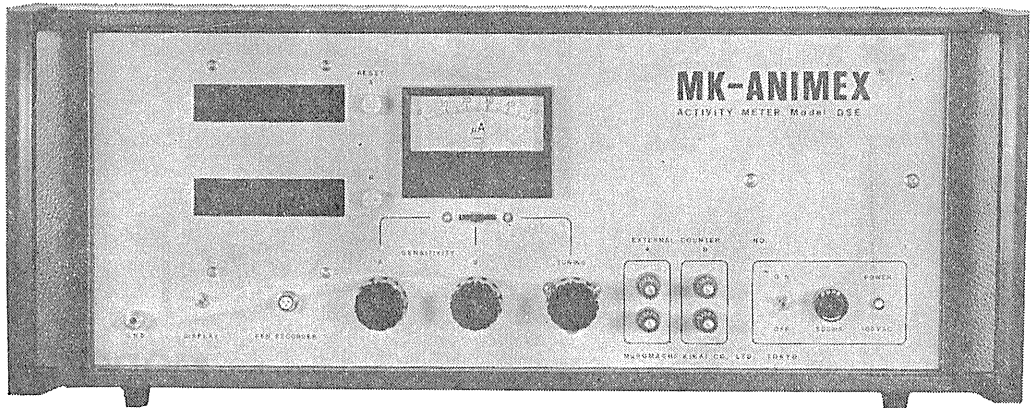
AM SAN-EI 三栄測器

本社 東京都新宿区西大久保2-223-2 〒160 ☎03 (209)0811(代)
工場 東京都小平市天神町1-57 〒187 ☎0423(41)0821(代)

実験動物運動量測定装置

MK-ANIMEX

MODEL DSE

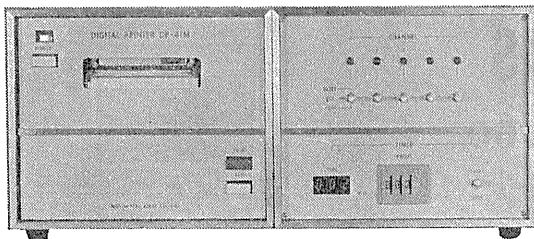


国産化により お求めやすくなりました

MK-ANIMEX は薬理学、一般生理学、神経科学、心理学、動物学等の分野における実験動物の自発運動量及びあらゆる動作についての比較計測を感応コイルを利用して自動的にデジタル計測する装置です。

性能は無論、価格的にも国産化によりお求めやすくなりました。

プリンタ



- 測定用ケージは、金属以外はどんなものでも使用できます。特別なテストケージは必要ありません。
- ケージの床敷や食餌、尿、排泄物も測定には影響しませんので、長時間のテストも食餌習慣を妨害することなく行なえます。
- 外部の光線状態に関係なく、夜行性の動物の運動も暗黒中で測定できます。
- 光電、又は赤外線検出法のように一本の光路中で二匹の動物が運動した場合、一匹によって他の一匹の運動が測定されない様なことはありません。
- アナログ信号の出力も備えておりますのでペンレコーダに接続して、運動の種類を分析することも可能です。

プリンタ

MK-ANIMEX 専用のデジタル・プリンタです。

1～5チャンネル。

カウンタ、タイマ内蔵。

積算、印字後リセット切替え可能。

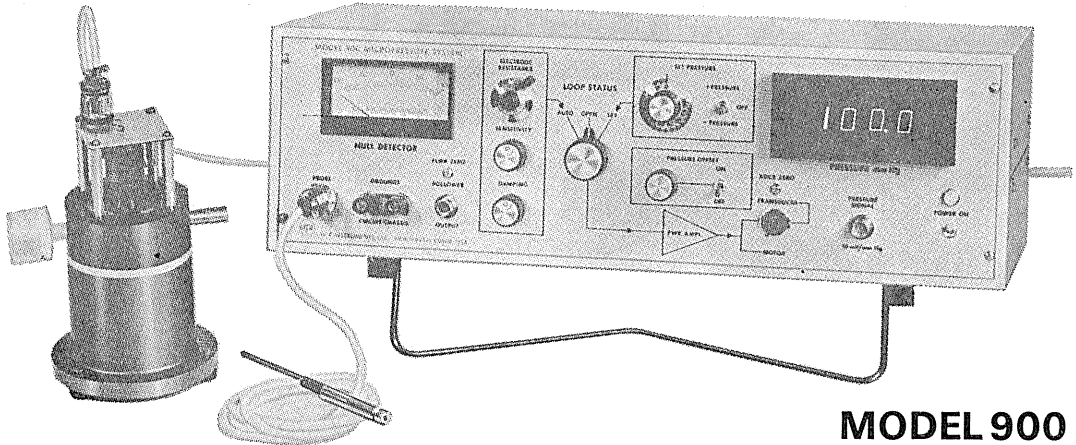
製造発売元

室町機械株式会社

東京都中央区日本橋室町4-3(大辻ビル)
〒103 電話(03)241-2444

生体の微小圧力を正確にキャッチする全く新しいシステム!!

MPI マイクロプレッシャー・システム



MODEL 900

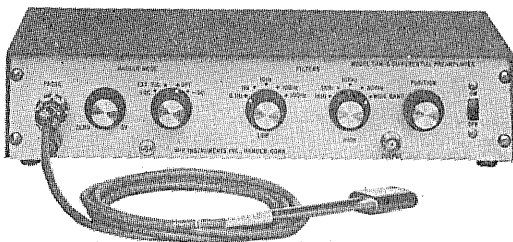
本装置は、小さい組織・細胞の生体圧力を測定するためのシステムで、 $-70 \sim +100$ mmHgまで測定でき、精度は0.1mmHgと極めて高くなっています。

- 圧力と電位を同時に測定できます。
- センサーは2~3ミクロンの微小ガラス電極を使用。
- 腎尿細管、毛細血管、細胞等の圧測定に最適。

細胞外研究に最適の高性能アンプ

差動型交流増幅器

MODEL DAM-5A



本装置はユニット電位、細胞電位等の細胞外研究に適したバッテリー駆動の差動アンプです。

《特長》

- 超小型プローブとユニークなマーカ回路を装備
 - 高入力抵抗、低ノイズ、高利得の高性能アンプ
- #### 《仕様》
- 利得：100~1000倍
 - 入力抵抗：500MΩ以上
 - ノイズ：10μVp.p以下
 - 最大出力：10V
 - 電源：12Vバッテリー(2ヶ)

薬物・色素の微量注入に便利なシステム

MICRO-IONTOPHORESIS PROGRAMMER MODEL 160

本装置は微小電極を通じて、薬物または色素をイオン電気導入法によって細胞内へ注入するための定電流発生装置です。

《主な仕様》

- モード：Eject 又は Retain
- 出力：0~100nA, 0~1000nA
- コンプライアンス：100V



日本総代理店



株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

本社：東京都千代田区内神田3-2-12クリハビル
千101 電話 (03)254-0052(代表)
営業所：大阪(06)787-0544/福岡(092)472-3800

BASICで 生体データをオンライン処理

ATAC-450

データ処理装置

特長

- BASIC言語でオンライン処理のプログラム作成可
- プログラム選択はデジタル・カセットでワンタッチ
- ユーザが作成したプログラムをデジタル・カセットに収録可能
- 処理後のデータもデジタル・カセットにファイル可
- CRT上の2本（縦・横）のカーソルを使って時間・振幅の計測可能



主な規格

入力チャンネル：4チャンネル

A/D変換：10ビット 10 μ sec

記憶容量：24kw（1語長16ビット）

補助記憶装置：デジタル・カセット約50kw

CRTディスプレイ：文字及び図形表示と入力信号モニタ



NIHON KOHDEN

日本光電工業株式会社

〒161 東京都新宿区西落合1-31-4 ☎03(953)1181

J. Physiol. Soc. Japan Vol. 41, No. 6 (1979)

Short communication

SUGANO, Y. and NAGASAKA, T. : Effect of huddling on heat losses in
infant dogs.....145

昭和五十四年五月二十日印刷

編集兼
発行人

東京都文京区湯島二丁目二
三番六号
日本生理学会
塚田裕三

印刷者

山形県鶴岡市山王町一四の二四
三浦経夫
印刷株式会社

発行所

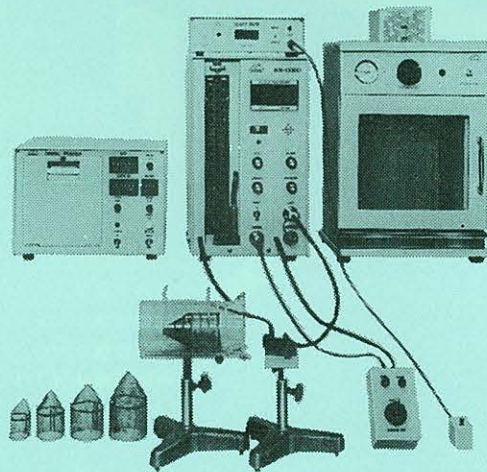
東京都文京区本駒込二丁目二
三番六号
日本生理学会

電話
九四五一二八四〇
三六四三三
百五十三
円〇〇



ラット尾動脈圧測定装置 KN-209

非観血的にラットの尾動脈圧を測定するデジタル血圧計です。



実験動物解剖器具・一般研究実験器械器具・動物実験器械器具・動物飼育管理器具

株式会社 夏目製作所

東京都文京区湯島2丁目18番6号
電話 03(813)3251(代表)